



平成25年度
高知県学力定着状況調査結果の概要



平成26年3月
高知県教育委員会

— 目 次 —

はじめに

1	調査の概要	1
2	教科に関する調査結果	3
3	教科別調査結果	
	(1) 小学校国語	7
	(2) 小学校算数	12
	(3) 小学校理科	17
	(4) 中学校国語	20
	(5) 中学校社会	25
	(6) 中学校数学	30
	(7) 中学校理科	35
	(8) 中学校外国語(英語)	40
4	調査問題等の活用	
	・ 調査結果の分析から授業改善へ	45
	・ 各教科の指導改善のポイントについて	46
	・ 小学校国語指導改善のポイント(第5学年)	47
	・ 小学校算数指導改善のポイント(第5学年)	49
	・ 小学校理科指導改善のポイント(第5学年)	51
	・ 中学校国語指導改善のポイント(第2学年)	53
	・ 中学校社会指導改善のポイント(第2学年)	55
	・ 中学校数学指導改善のポイント(第1学年)	57
	・ 中学校理科指導改善のポイント(第1学年)	59
	・ 中学校外国語(英語)指導改善のポイント(第2学年)	61
	・ 調査結果等を活用した学力の定着を図る取り組み	63

はじめに

高知県学力定着状況調査は、これまでの学力調査結果から明らかになった小学校中学年の二極化や中1ギャップによる学力低下など、本県の子どもたちの様々な学力課題を解決するために実施しています。

調査問題は、各教科の知識や技能を問う問題や、それらを活用して考えたり表現したりする力を問う問題で構成しており、子どもたちの学習の定着状況を把握するとともに、学習指導の充実や指導方法の改善に生かし、学習内容の確実な定着を図っていただきたいと考えています。

今回の調査結果から、国語の表現の技法や算数・数学の用語の意味理解など、基礎的・基本的な知識や技能の定着においては改善傾向にあり、指導改善のポイントを押さえた取り組みがなされていることがうかがわれます。しかしながら、複数の資料を関連付けて読み取ったり、根拠を明らかにして自分の考えを書いたりすることなどには前回調査に引き続き課題が見られます。

本報告書では、調査結果と、その分析を基に、本県の課題を踏まえた具体的な指導の在り方を「授業アイデア例」として示しています。各学校においては、本報告書を活用して、調査結果の要因を分析し、課題の焦点化・対策の明確化を図り、さらなる授業改善を進めていただきたいと考えています。また、単元テストや学習シートなども効果的に活用しながら、各教科における指導方法の改善や質の高い授業づくりに取り組んでいただきたいと思えます。加えて、学校全体でことばの力を育成することを重視し、これらの取り組みを「学校経営計画」に位置付け、組織的な改善を図っていただきますようお願いいたします。

最後に、今回の調査の実施に当たり、御尽力いただいた全ての皆様に心より御礼申し上げます。

平成26年3月 高知県教育委員会

平成 25 年度高知県学力定着状況調査の概要

I. 調査の目的

本県の学力課題である小学校中学年の二極化、中1ギャップによる学力の低下に対応するために、小学校第4・5学年及び中学校第1・2学年の児童生徒の学力の定着状況を把握し、学習指導の充実や指導方法の改善に生かすとともに、各学校及び各教育委員会の学力向上検証改善サイクルを確立することを目的とする。

II. 調査の対象

(1) 小学校調査

市町村（学校組合）立小学校第4・5学年

(2) 中学校調査

市町村（学校組合）立中学校第1・2学年

県立中学校第1・2学年

◇小学校解答児童数

第4学年

国語 5, 678人 算数 5, 677人

第5学年

国語 5, 847人 算数 5, 846人 理科 5, 848人

◇中学校解答生徒数

第1学年

国語 5, 025人 社会 5, 027人 数学 5, 030人

理科 5, 027人 外国語（英語） 5, 024人

第2学年

国語 4, 969人 社会 4, 971人 数学 4, 975人

理科 4, 977人 外国語（英語） 4, 968人

III. 調査事項

(1) 教科

小学校第4学年…国語・算数

小学校第5学年…国語・算数・理科

中学校第1・2学年…国語・社会・数学・理科・外国語（英語）

※外国語（英語）は、音声を聞いて答える問題も出題

(2) 内容

- ・基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等をみる問題
- ・選択式・短答式・記述式の問題形式

IV. 調査実施日

平成26年1月9日（木）

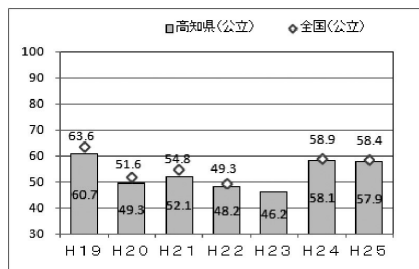


これまでの学力調査結果等から明らかになった本県の課題と高知県学力定着状況調査作成の意図

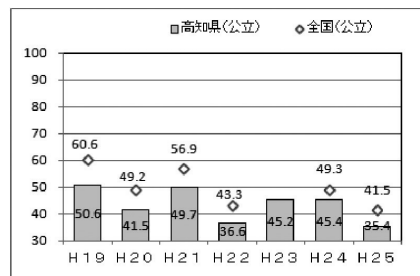
1 全国学力・学習状況調査結果（平均正答率の経年変化）

基礎的・基本的な知識・技能を活用することや思考したことを表現することに課題が見られる。

小学校算数B

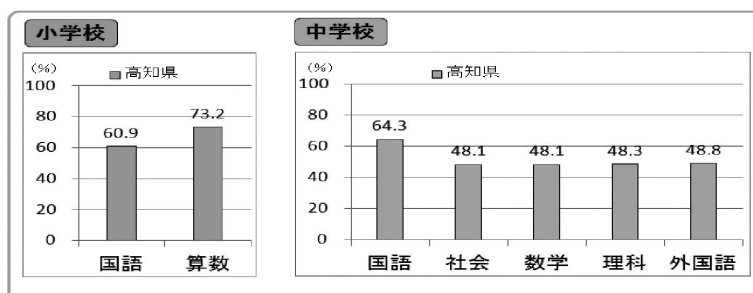


中学校数学B



2 平成24年度高知県学力定着状況調査結果

基礎的な知識・技能の定着は改善傾向にあるものの、知識・技能を実生活の場面に活用する力に課題が見られる。



小学校

- 国語 ◆文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえること
- 算数 ◆単位量当たりの大きさを比較し、どちらがお買い得かを説明すること

中学校

- 国語 ◆複数の情報を関連付けて、分かりやすく説明すること
- 社会 ◆様々な資料を分類・考察し、視点をもってまとめ、表現すること
- 数学 ◆与えられた事象における2つの数量の関係をとらえること
- 理科 ◆知識を活用して、実験方法を検討し、正しい実験方法を説明すること
- 外国語 ◆条件に基づいてまとまりのある文を書くこと

★基礎基本の定着 ★記述式の問題への対応 ★思考力・判断力・表現力等を育む言語活動の充実

高知県学力定着状況調査 作成の意図

- 過去の調査問題における課題改善の取り組みの検証を図る問題
- 複数の情報を関連付けて理解・解釈する問題
- 資料や情報に基づいて自分の考えを表現する問題 等



※調査結果の詳細については、『平成24年度高知県学力定着状況調査結果の概要』を参照。

2 教科に関する調査結果

小学校

<第4学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成25年度	53.7	61.4	28.4	32.2	65.0

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成25年度	58.3	65.6	56.3	60.5	51.2

<第5学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成25年度	56.2	48.5	34.6	42.7	66.9
	平成24年度	60.9	68.8	56.7	38.6	65.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と計算	量と測定	図形	数量関係
算数	平成25年度	45.3	48.7	52.9	56.4	36.8
	平成24年度	73.2	74.8	61.0	87.4	73.3

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成25年度	64.1	78.7	59.0	59.2	51.0

中学校

<第1学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成25年度	66.7	74.6	55.5	46.5	76.1

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			世界の様々な地域	歴史のとらえ方	古代までの日本
社会	平成25年度	44.8	46.6	36.6	43.9

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成25年度	52.7	57.1	54.0	41.6	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成25年度	49.6	38.8	41.2	57.0	

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成25年度	63.2	78.7	63.1	49.1

<第2学年>

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語 の特質に関する事項
国語	平成25年度	49.6	36.8	22.6	32.5	63.1
	平成24年度	64.3	56.8	62.5	49.7	70.4

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界
社会	平成25年度	31.5	33.3	35.1	26.2	35.6
	平成24年度	48.1	66.7	42.4	39.8	

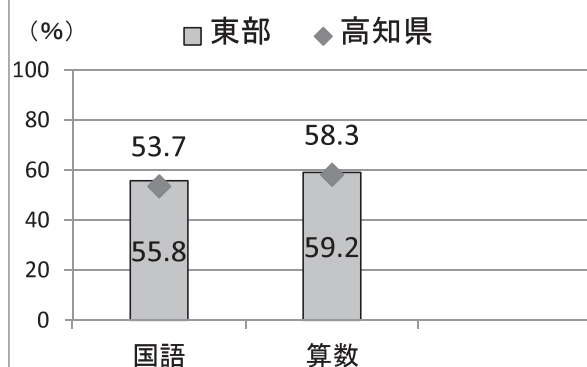
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			数と式	図形	関数	資料の活用
数学	平成25年度	44.4	44.7	61.6	34.7	28.2
	平成24年度	48.1	55.6	59.0	37.1	44.2

		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)			
			エネルギー	粒子	生命	地球
理科	平成25年度	29.1	24.7	12.9	41.2	34.2
	平成24年度	48.3	27.7	45.1	64.7	52.2

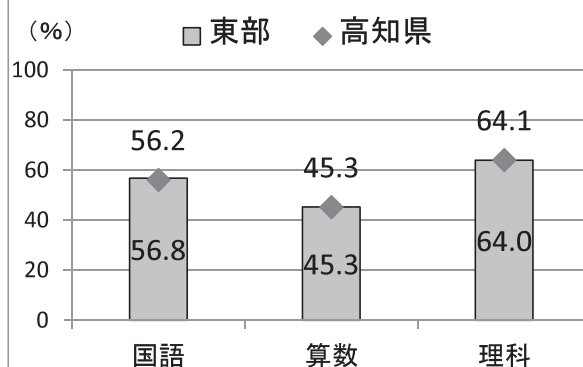
		高知県平均 正答率(%)	正答率(領域・内容)		
			聞くこと	読むこと	書くこと
外国語(英語)	平成25年度	52.1	73.5	60.4	28.4
	平成24年度	48.8	54.5	51.5	38.6

東部教育事務所

小学校第4学年

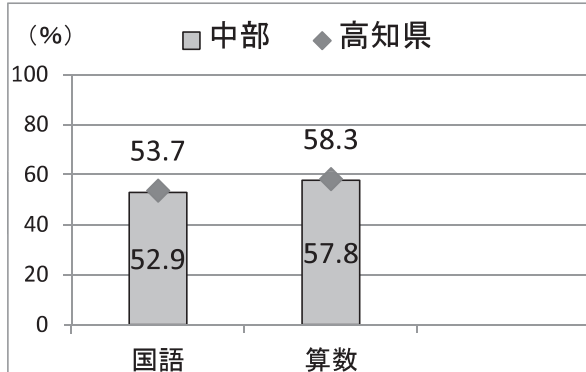


小学校第5学年

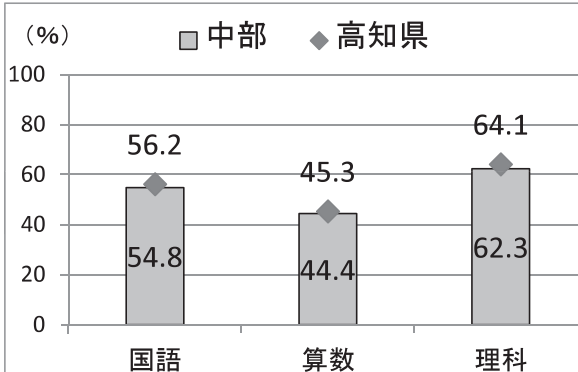


中部教育事務所

小学校第4学年

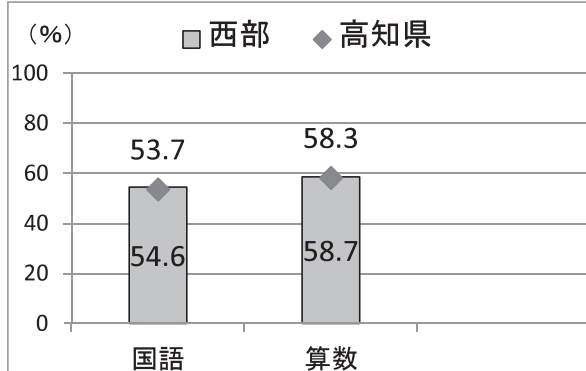


小学校第5学年

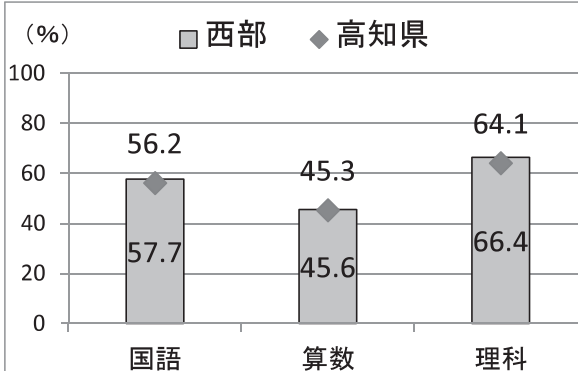


西部教育事務所

小学校第4学年

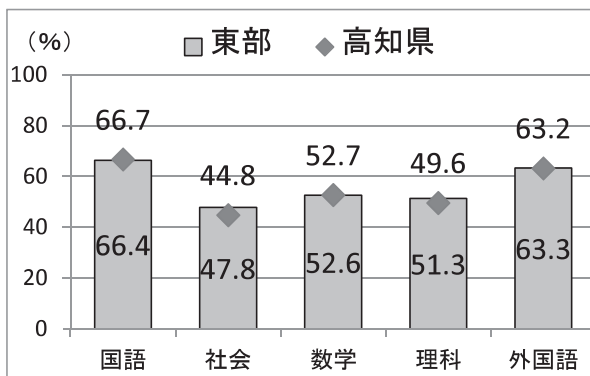


小学校第5学年

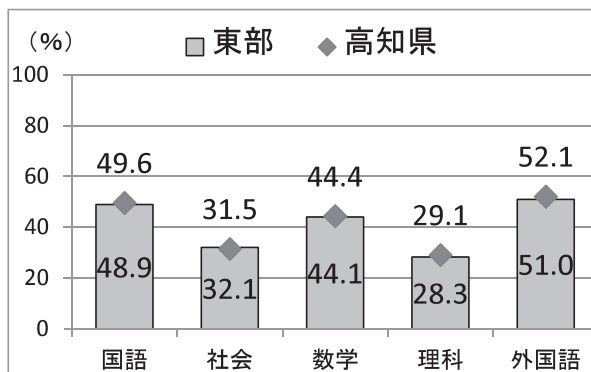


東部教育事務所

中学校第1学年

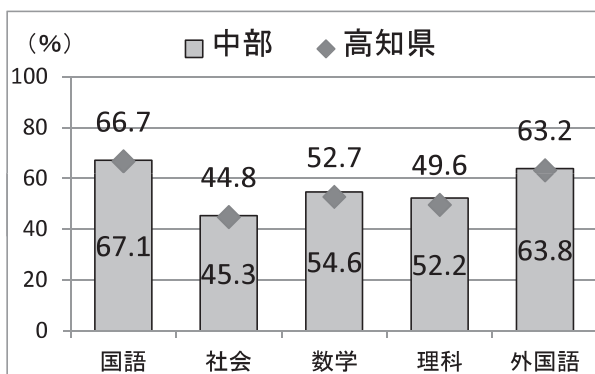


中学校第2学年

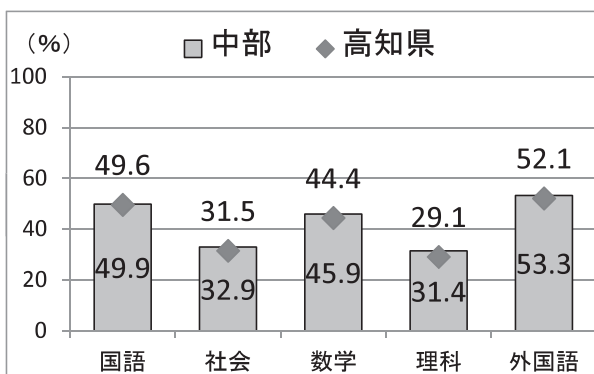


中部教育事務所

中学校第1学年

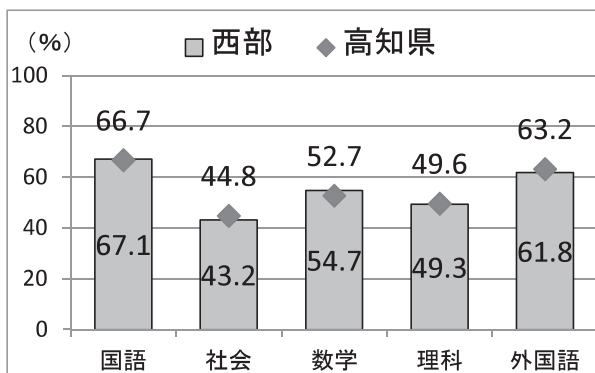


中学校第2学年

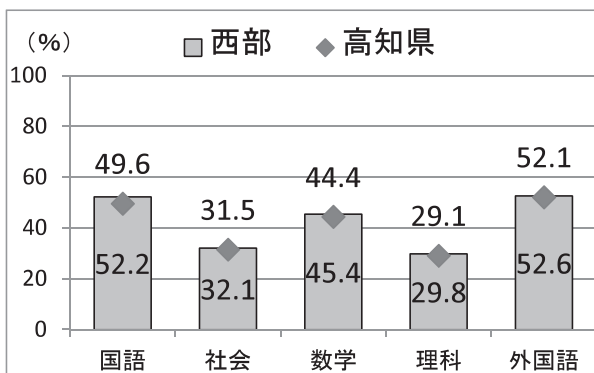


西部教育事務所

中学校第1学年



中学校第2学年



3 教科別調査結果

今回の調査から見える ○成果 ●課題
経年比較による ☆成果 ★課題

(1) 小学校国語

話すこと・聞くこと

第4学年	第5学年
○6二の正答率は78.3%で、会話の流れに沿って適切な言葉づかいで質問をすることについては、相当数の児童ができています。 ●6一の正答率は44.6%で、目的に応じ、具体的な事柄を挙げながら、筋道を立てて話すことについては、課題が見られる。	★6の正答率は52.1%で、相手の話の内容を十分に聞き取った上で、発表原稿をまとめ直すことについては、過去の全国学力・学習状況調査と同様の課題が見られる。(H24B2二：県52.4%) →P.47「小学校国語指導改善のポイント」へ

書くこと

第4学年	第5学年
●7一の正答率は39.3%、二の正答率は17.0%で、目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書いたり、文の構成や表現（敬体と常体）を確かめ、整った文章になるように推敲したりすることについては、課題が見られる。 ●8二の正答率は29.0%で、目的や必要に応じて、文章を引用し、自分の考えをまとめることについては、課題が見られる。	★8一の正答率は39.6%で、手紙の依頼内容を、条件に即して書くことについては、本年度の全国学力・学習状況調査と同様の課題が見られ、無解答率は19.8%で、全設問の中で最も高い。(B2三：県18.5%) また、二の正答率は20.5%で、手紙の構成を理解し、後付けを書くことについても、過去の全国学力・学習状況調査と同様の課題が見られる。 (H24B1三：県23.5%)

読むこと

第4学年	第5学年
●9一の正答率は19.9%、二の正答率は22.6%で、目的に応じて、文章の要点に注意しながら読み、要約したり、中心となる語や文を捉えて、文章の内容や構成を把握したりすることについては、課題が見られる。	★7一の正答率は3.6%で、叙述と関係付けて、内面にある主人公の心情を捉えることについては、過去の全国学力・学習状況調査と同様の課題が見られる。 (H19A10：県62.5%、H20B2三：県37.1%) ★9二の正答率は35.9%で、情報を関連付けながら必要な情報を収集・整理することについては、過去の全国学力・学習状況調査と比べても課題が見られる。(H22B4：県63.9%)

伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

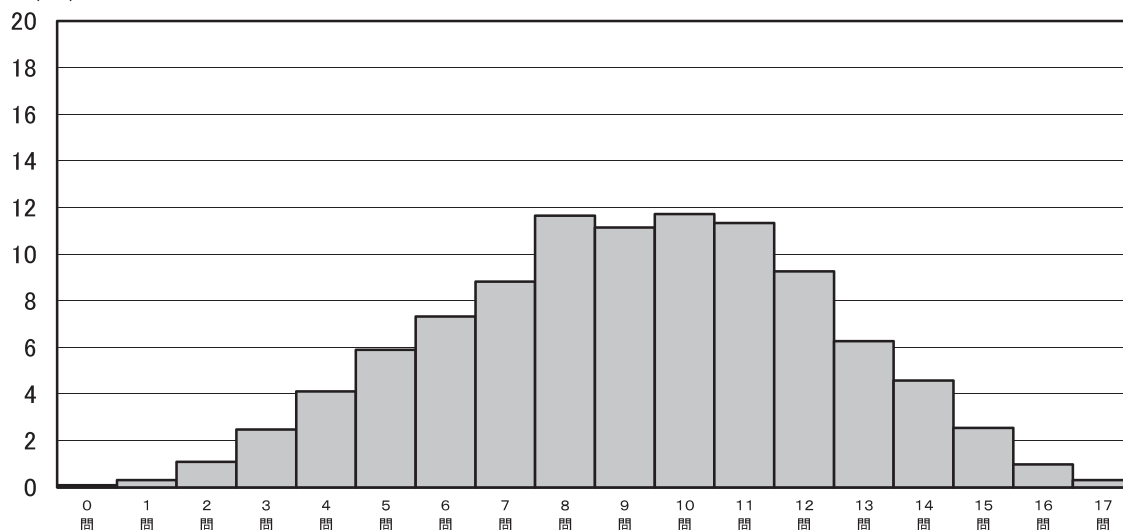
第4学年	第5学年
○1一の正答率は(1)99.2%、(2)91.3%で、文脈に即して漢字を正しく読むことについては、相当数の児童ができている。 ★21の正答率は28.7%で、濁音の含まれた単語をローマ字で正しく書くことについては、課題が見られ、無解答率は19.4%で、全設問の中で最も高い。過去の全国学力・学習状況調査、昨年度調査と同様の課題が見られる。 (H21A2一2：県36.7%、H2432：50.1%)	○7二の正答率は86.5%で、叙述に着目して、伝聞の文章表現であることを理解することについては、相当数の児童ができている。 ☆3一の正答率は78.5%で、比喩の含まれている文における修飾と被修飾の関係を理解することについては、過去の全国学力・学習状況調査と比べて改善傾向にあり、相当数の児童ができている。 (H21A5：県54.7%) ★4の正答率は30.5%で、日常生活で使われている慣用句の意味を正しく理解することについては、過去の全国学力・学習状況調査と比べても課題が見られる。(H24A8：県80.4%)

小学校第4学年 国語
【分類・区分別の状況】

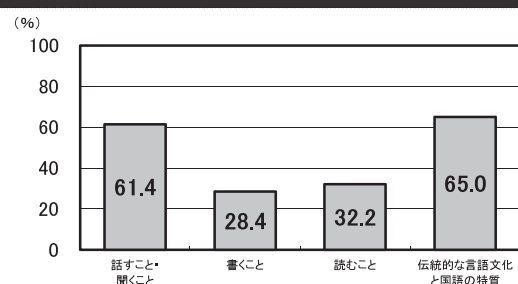
	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,678	9.1 / 17	53.7

正答数 (割合(%))	
0問	0.1
1問	0.3
2問	1.1
3問	2.5
4問	4.1
5問	5.9
6問	7.3
7問	8.8
8問	11.7
9問	11.1
10問	11.7
11問	11.3
12問	9.3
13問	6.3
14問	4.6
15問	2.6
16問	1.0
17問	0.3

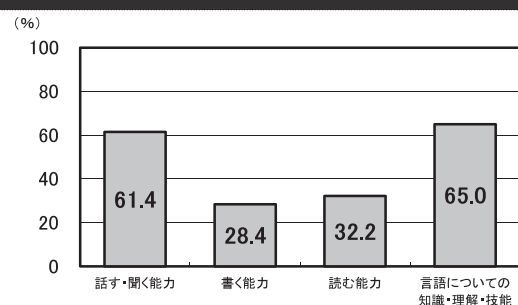
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)
(%)



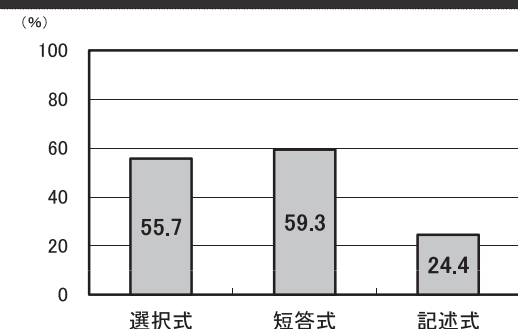
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○国語の平均正答率は53.7%で、例えば、次のような課題が見られた。

・目的や必要に応じて、文章を引用し、自分の考えをまとめること

[8二 正答率29.0%、無解答率4.3%]

わたしは、写真の写真をえらびます。理由は、

(条件)

- アカイのどちらかの写真をえらんで、解答用紙の写真にその記号を書くこと。
- 「わくわく新聞」に書かれているフチハイエナの特ちょうの中から、どの特ちょうを伝えたいかを入れること。
- 書き出しの言葉に続けて、五十字以上、七十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくみません。
- 「くからず。」で書き終わること。

(書くときの注意)
※左の解答用紙は下書きなので、使っても使わなくても構いません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※どちらの行でも構いません。続けて書きましょう。

四年一組では、遠足で行った高知動物公園のことを新聞に、校内の「新聞コンクール」に出すことにしました。西田さんたちが書いた「わくわく新聞」を読んで、あとの問いに答えましょう。

二 西田さんたちは、新聞の中の写真に、写真を一まいのせることにしました。フチハイエナの特ちょうを伝えるために、あなたなら、二まいの写真のうち、アとイのどちらの写真を使いますか。あとの(条件)に合わせて、あなたがえらんだ写真の記号と、えらんだ理由を書きましょう。◎

※学習シート等との関連・参考
国語学習シート No.85・88

【設問別正答率】 小学校第4学年国語

問題番号		主として「知識」「読解」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との 関連	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
大	小						話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率
1	一	(1)	○	漢字を正しく読む 飛行機が 高知龍馬空港に着陸した	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む	第3・4学年 仮(1)ウ(4)			○				○		○			99.2	0.3
		(2)	○	漢字を正しく読む コップに水を 注ぐ	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む	第3・4学年 仮(1)ウ(4)			○				○		○			91.3	0.5
	二		○	漢字を正しく書く 水曜日の午後三時に はいしやに 行く	前学年までに配当されている漢字を正しく書く	第3・4学年 仮(1)ウ(4)			○				○		○			53.5	6.0
	三		○	漢字を正しく書く 服そうを ととのえる	前学年までに配当されている漢字を正しく書く	第3・4学年 仮(1)ウ(4)			○				○		○			71.9	9.6
2	1		○	ローマ字で書く(だるま)	濁音の含まれた単語をローマ字で正しく書く	第3・4学年 仮(1)ウ(7)			○				○		○			28.7	19.4
	2		○	ローマ字を読む(enpitu)	撥音、半濁音の含まれたローマ字表記を正しく読む	第3・4学年 仮(1)ウ(7)			○				○		○			73.9	16.4
3			○	文の中における述語の主語に当たるものを選ぶ	文の中における主語と述語とを照應する	第3・4学年 仮(1)イ(4)			○				○	○				38.2	0.7
4			○	文脈にふさわしい同じ読み言葉の意味を選ぶ(あける)	文脈に適した多義語の意味を理解する	第3・4学年 仮(1)イ(4)			○				○	○				79.1	0.7
5			○	カメラ、楽器、家庭、歌手の中から、国語辞典に最初に出てくる語句を選ぶ	国語辞典を利用して語句を調べる方法を理解する	第3・4学年 仮(1)イ(4)			○				○	○				69.9	0.4
6	一		○	電話のやりとりとして、ふさわしい内容を選ぶ	目的に応じ、具体的な事柄を挙げながら、筋道を立てて話す	第3・4学年 A(1)イ 仮(1)イ(4)	○		○	○			○	○				44.6	1.4
	二		○	電話のやりとりにおいて、会話の流れにふさわしい質問を選ぶ	会話の流れに沿って適切な言葉づかいで質問をする	第3・4学年 A(1)エ	○			○					○			78.3	1.1
7	一		○	里芋ようかんの作り方として、気をつけることを書く	目的や意図に応じ、必要となる事柄を整理して簡潔に書く	第3・4学年 B(1)ウ		○			○				○			39.3	3.0
	二		○	自由研究のまとめ方として、統一した文末表現になるように書き直す	文の構成や表現(敬体と常体)を確かめ、整った文章になるように推敲する	第3・4学年 B(1)エ・オ		○			○				○			17.0	13.5
8	一		○	新聞の構成を説明したものを選ぶ	新聞記事の組み立てを捉える	第3・4学年 C(1)イ			○			○			○			57.2	3.4
	二		○	二枚の写真の中から、新聞に取り入れたい写真を選び、選んだ理由を書く	目的や必要に応じて、文章を引用し、自分の考えをまとめる	第3・4学年 B(1)ウ C(1)エ		○	○			○	○			○		29.0	4.3
9	一		○	説明文を読んで、段落の内容を要約する	目的に応じて、文章の要点に注意しながら読み、要約する	第3・4学年 C(1)エ			○			○				○		19.9	17.5
	二		○	文章全体から段落の関係をとらえる	中心となる語や文を捉えて、文章の内容や構成を把握する	第3・4学年 C(1)イ			○			○		○				22.6	18.2

「太字」は、高知県正答率80%以上

「白抜き」は、高知県正答率40%未満

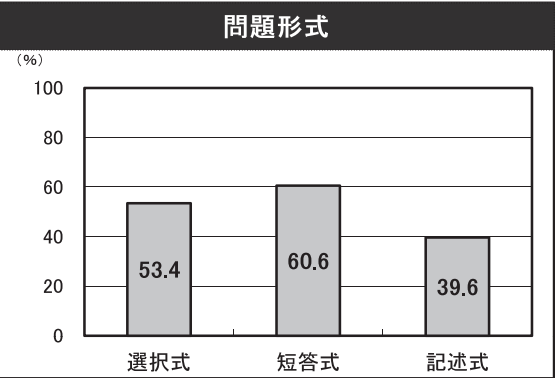
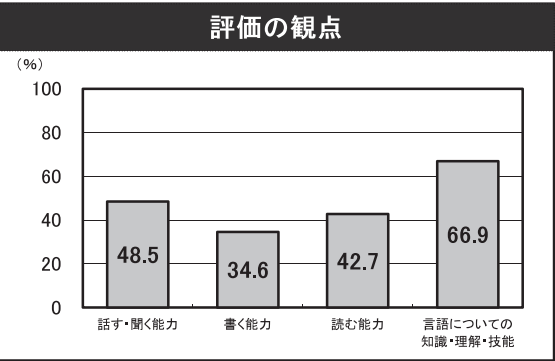
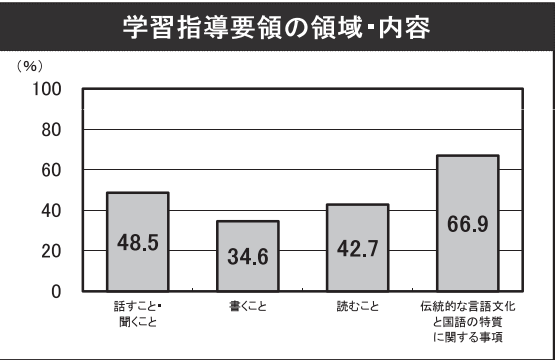
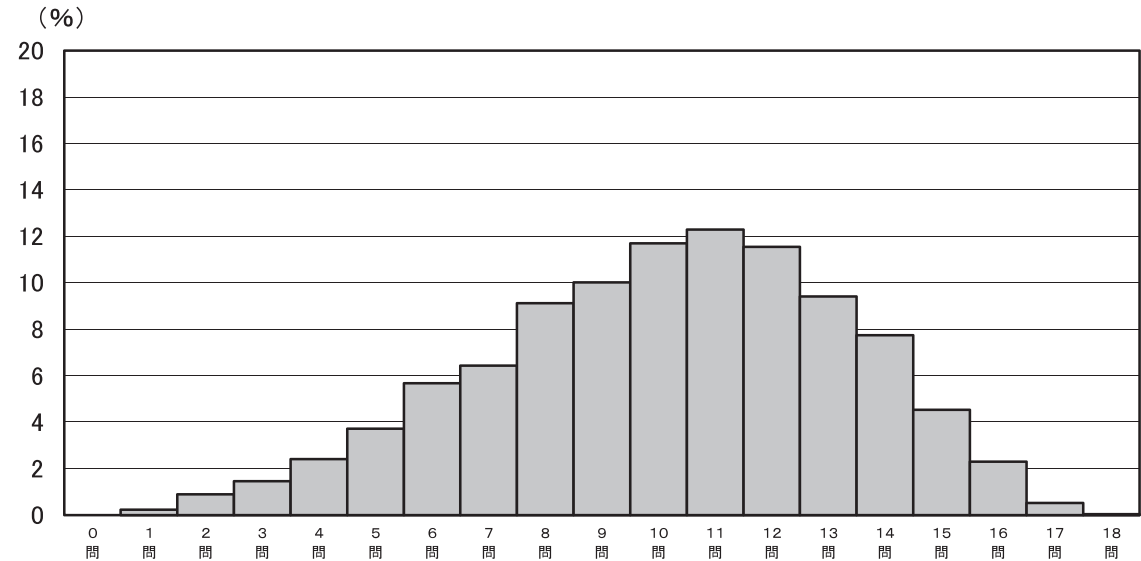
「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

小学校第5学年 国語
【分類・区分別の状況】

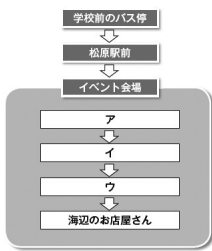
	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,847	10.1 / 18	56.2

正答数 (割合(%))	
0問	0.0
1問	0.2
2問	0.9
3問	1.5
4問	2.4
5問	3.7
6問	5.7
7問	6.4
8問	9.1
9問	10.0
10問	11.7
11問	12.3
12問	11.5
13問	9.4
14問	7.7
15問	4.5
16問	2.3
17問	0.5
18問	0.0

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



○国語の平均正答率は56. 2%で、例えば、次のような課題が見られた。
・情報を関連付けながら必要な情報を収集・整理すること [9二 正答率35. 9%、無解答率11. 0%]



4 3 2 1
砂浜ステーション
ビーチサンダルは大会の参加申し込み
はがき作りコーナー

二
ワ
山下さんたちは、イベント会場をどのような順番でまわる予定です。
ア
イ
書きましよう。



9
山下さんと川村さんは、五月に行われる町のイベントに参加したいと思い、インターネットで調べています。二人が見つけた次の「イベント情報の一部」と、それを見ながら話している二人の会話を読んで、あとの問いに答えましょう。
二人の会話

【設問別正答率】 小学校第5学年国語

問題番号		大	小	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		高知県	
							話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語に関する知識・技能	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率
1	一	(1)	○	漢字を正しく読む 校庭が 風にはためいている	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む	第3・4学年 広(1)ウ(イ)			○			○		○	○		74.0	2.9
		(2)	○	漢字を正しく読む 自由研究に時間を 費やす	当該学年までに配当されている漢字を正しく読む	第3・4学年 広(1)ウ(イ)			○			○		○	○		100.0	0.0
	二		○	漢字を正しく書く ひこうきが 高知龍馬空港に着陸した	前学年までに配当されている漢字を正しく書く	第3・4学年 広(1)ウ(イ)			○			○		○	○		67.9	3.2
	三		○	漢字を正しく書く 希望者が手を あげる	前学年までに配当されている漢字を正しく書く	第3・4学年 広(1)ウ(イ)			○			○		○	○		69.0	5.6
2	1		○	ローマ字で書く(四国)	頭文字を大文字とする固有名詞をローマ字で正しく書く	第3・4学年 広(1)ウ(イ)			○			○		○	○		55.9	6.2
	2		○	ローマ字を読む(Taiheiyō)	長音の含まれた固有名詞のローマ字表記を正しく読む	第3・4学年 広(1)ウ(イ)			○			○		○	○		73.8	11.6
3	一		○	主語「雨が」をくわしく表している言葉を選ぶ	比喩の含まれている文における修飾と被修飾の関係を理解する	第5・6学年 広(1)イ(甲)・ウ(イ)			○			○	○				78.5	0.9
	二		○	接続語を使って、一文を二文に分けて書く	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	第5・6学年 B(1)ウ 第3・4学年 広(1)イ(イ)		○	○	○	○	○	○	○	○		43.6	6.9
4			○	慣用句の使い方としてふさわしいものを選ぶ	日常生活で使われている慣用句の意味を正しく理解する	第3・4学年 広(1)ア(イ)			○			○	○				30.5	0.8
5			○	「必」の文字を書くときの筆の運びとしてふさわしいものを選ぶ	「穂先の動き」と「点画のつながり」を意識して、正しい筆順で書く	第5・6学年 広(2)ウ			○			○	○				55.9	0.3
6			○	資料や話し合いの内容から、発表原稿を見直したものととしてふさわしいものを選ぶ	相手の話の内容を十分に聞き取った上で、発表原稿をまとめ直す	第5・6学年 A(1)イ・エ C(1)ウ	○	○	○	○	○	○	○				52.1	0.9
7	一		○	物語を読んで、主人公の考えを書く	叙述と関係付けて、内面にある主人公の心情を捉える	第5・6学年 C(1)エ		○			○				○		3.6	7.3
	二		○	文末の表現として、ふさわしいものを選ぶ(らしい)	叙述に着目して、伝聞の文章表現であることを理解する	第5・6学年 広(1)イ(甲)			○			○	○				86.5	1.7
	三		○	登場人物の関係の移り変わりについて、ふさわしいものを選ぶ	物語の展開にかかわる言動を押さえながら、人物相互の関係を捉える	第5・6学年 C(1)エ		○			○			○			67.5	1.8
8	一		○	資料を読んで、願う手紙に具体的な内容を書く	手紙の依頼内容を、条件に即して書く	第5・6学年 B(1)ウ C(1)ウ		○	○		○	○			○		39.6	19.8
	二		○	手紙の後付けに必要な日付け、しよ名、あて名のそれぞれの位置を選ぶ	手紙の構成を理解し、後付けを書く	第5・6学年 B(1)イ		○			○			○			20.5	7.8
9	一		○	イベント情報の一部と会話から、Tシャツアート展に参加する日を書く	話の中心や話し手の意図を捉えながら聞き、必要な情報を取り出す	第5・6学年 A(1)エ C(1)ウ	○	○	○	○	○			○			57.5	10.0
	二		○	イベント情報の一部と会話から、イベント会場をまわる順番を選ぶ	情報を関連付けながら必要な情報を収集・整理する	第5・6学年 A(1)エ C(1)ウ	○	○	○	○	○	○					35.9	11.0

※1～(2)の問題は、全員を正解としています。

「太字」 は、高知県正答率80%以上

「白抜き」 は、高知県正答率40%未満

「白抜き」 は、10ポイントをこえる高知県無解答率

(2) 小学校算数

今回の調査から見える ○成果 ●課題
経年比較による ☆成果 ★課題

数と計算

第4学年	第5学年
☆1 (5) の正答率は 77.5% で、加法と乗法の混合した整数の計算をすることについては、昨年度調査と比べて改善傾向にある。 (H241 (4) : 71.7%) ●1 (3) の正答率は 52.7% で、乗法の計算をすることについては、課題が見られる。	○1 (7) の正答率は 75.4% で、小数と分数の減法の計算をすることはできている。 ●8 (3) のお姉さんの見積りの仕方と判断したわけについての正答率は 12.3%、無解答率は 30.6% で、目的に応じて計算の結果の見積もりをし、計算の仕方や結果について判断することについては、課題が見られる。 →P. 49「小学校算数指導改善のポイント」へ

量と測定

第4学年	第5学年
○4 (1) のゆかさんの考え方にあてはまるものを選ぶ問題の正答率は 87.9% で、L字型の図形の面積の求め方の説明と対応する図と式の組み合わせを考えることについては、相当数の児童ができています。 ●3 の正答率は 47.0% で、与えられた条件を基に、目的の時刻までに到着するための出発時刻を求めることについては、課題が見られる。	○4 (1) のみさきさんの考え方にあてはまるものを選ぶ問題の正答率は 80.2% で、直方体を組み合わせた図形の体積の求め方の説明と対応する図と式の組み合わせを考えることについては、相当数の児童ができています。

図形

第4学年	第5学年
○6 (1) の正答率は 86.9% で、与えられた図において平行四辺形を見だし、その性質を利用することについては、相当数の児童ができています。 ●7 (1) の正答率は 34.9% で、円の中心について理解することについては、課題が見られる。	●5 (2) の正答率は 56.1% で、展開図で示された直方体の面に垂直な面を理解することについては、課題が見られる。 ●5 (1) の正答率は 56.8% で、直方体の辺に平行な辺を理解することについては、課題が見られる。

数量関係

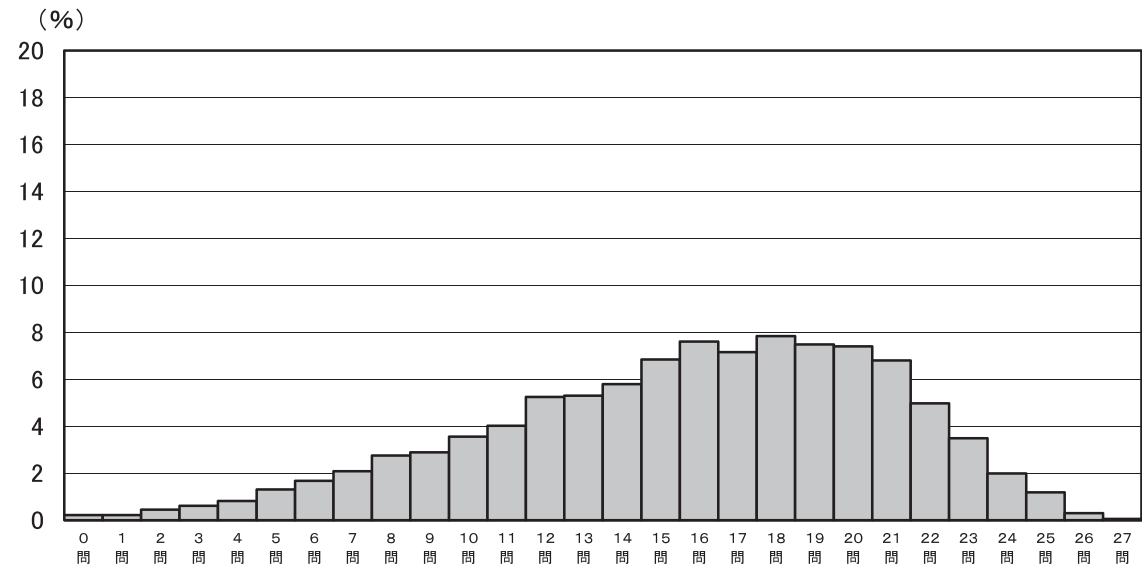
第4学年	第5学年
●4 (2) の正答率は 1.1% で、L字型の図形の面積の求め方を表す式を読み取ることについては、課題が見られる。 ●10 (2) の正答率は 8.6% で、目盛りの付け方の違いによる変化の様子の違いを比較することについては、課題が見られる。 ●10 (3) の正答率は 9.0% で、グラフの特徴を基に、折れ線グラフと棒グラフを関連付けてとらえ、両者の違いを数学的に表現することについては課題が見られ、無解答率は 38.5% で、全設問の中で最も高い。	●7 (1) の「2」の意味についての正答率は 3.1% で、式に示された数の意味を理解することについては、課題が見られる。 ●4 (2) の正答率は 3.2% で、直方体を組み合わせた図形の体積の求め方を表す式を読み取ることについては、課題が見られ、無解答率は 31.5% で、全設問の中で最も高い。

小学校第4学年 算数
【分類・区分別の状況】

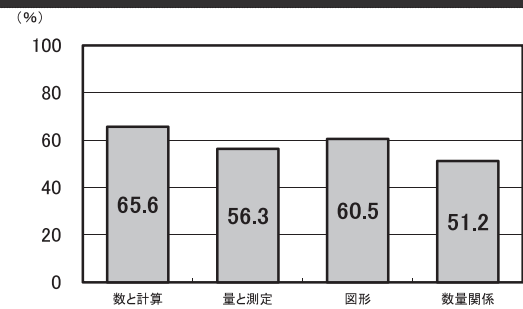
	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,677	15.7 / 27	58.3

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.2
2問	0.4
3問	0.6
4問	0.8
5問	1.3
6問	1.7
7問	2.1
8問	2.7
9問	2.9
10問	3.6
11問	4.0
12問	5.2
13問	5.3
14問	5.8
15問	6.8
16問	7.6
17問	7.2
18問	7.8
19問	7.5
20問	7.4
21問	6.8
22問	5.0
23問	3.5
24問	2.0
25問	1.2
26問	0.3
27問	0.1

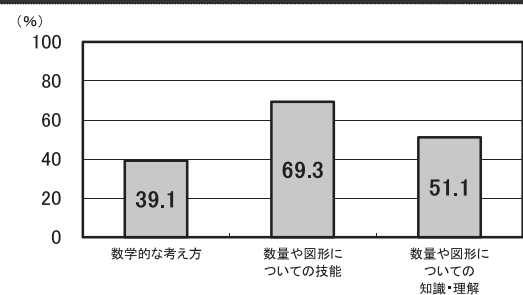
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



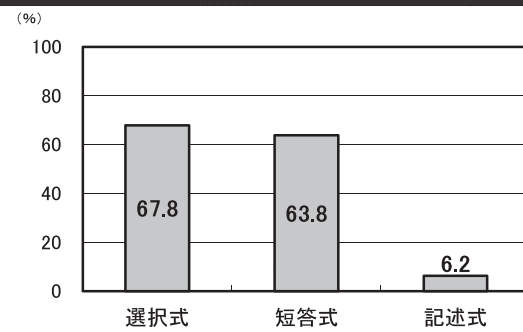
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



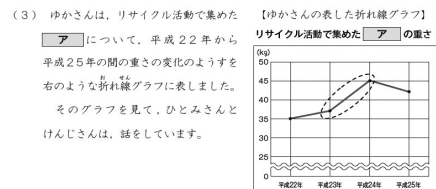
問題形式



○算数の平均正答率は58.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

・グラフの特徴を基に、折れ線グラフと棒グラフを関連付けてとらえ、両者の違いを数学的に表現すること

[10(3) 正答率9.0%、無解答率38.5%]

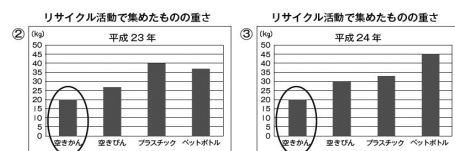


ゆかさんの表した折れ線グラフは、何の重さの変化のようすを表したグラフかしら。

ひとみ

ゆかさんの表した折れ線グラフの②の部分と、②と③のほうグラフの○の部分を見ると、折れ線グラフは空かんを表したものではないことがわかるよ。

けんじ



けんじさんが、「空かんを表したものではない」とわかったのは、ゆかさんが表した折れ線グラフの②の部分の変わり方と、②と③のほうグラフの○の部分の重さをくらべて、どのようなちがいがあるからですか。それぞれのグラフを見て、そのちがいを言葉や数を使って書きましょう。

※学習シート等との関連

小学校4年算数シート No.16・17
変わり方をグラフに表そう(1)(2)

【設問別正答率】 小学校第4学年算数

問題番号			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学 連 習 指 導 要 領 と の	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
大	小	数と計算						量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	知識・理解	数量や図形についての技能	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率	
1	(1)		○		659 + 342 を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	第3学年A(2)ア	○					○			○		94.5	0.1	
	(2)		○		1002 - 94 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	第3学年A(2)ア	○					○			○		79.2	0.4	
	(3)		○		6800 × 750 を計算する	乗法の計算をすることができる	第4学年A(4)	○					○			○		52.7	1.4	
	(4)		○		570 ÷ 19 を計算する	除法の計算をすることができる	第4学年A(3)ア	○					○			○		81.0	2.9	
	(5)		○		3 + 7 × 8 を計算する	加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる	第4学年D(2)ア					○				○		77.5	0.6	
	(6)		○		6.35 + 28.6 を計算する	小数の加法の計算をすることができる	第4学年A(5)イ	○					○			○		69.9	1.0	
	(7)		○		$2\frac{3}{7} - 1\frac{4}{7}$ を計算する	同分母の帯分数の減法の計算をすることができる	第4学年A(6)イ	○					○			○		64.4	2.5	
2	(1)		○		数直線上に示された1万より大きい数を読み取る	数直線上に示された1万より大きい数を読み取ることができる	第3学年A(1)ア	○					○			○		57.9	0.7	
	(2)		○		99×7=(<u>ア</u>)×7の <u>ア</u> にあてはまる式を書く	四則に関して成り立つ性質について理解している	第4学年D(3)ア					○				○		54.7	5.9	
3			○		目的の時こくまでに到着するための出発時こくを書く	与えられた条件を基に、目的の時刻までに到着するための出発時刻を求めることができる	第3学年B(3)イ		○				○			○		47.0	2.4	
4	(1)	しおり	○		しおりさんの正方形と長方形を組み合わせた図形の面積のもとめ方にあてはまる図と式の組み合わせをえらぶ	L字型の図形の面積の求め方の説明と対応する図と式の組み合わせを考えることができる	第3学年D(2)ア 第4学年B(1)イ		○		○	○				○		76.5	2.0	
	(1)	ゆか	○	ゆかさんの正方形と長方形を組み合わせた図形の面積のもとめ方にあてはまる図と式の組み合わせをえらぶ				○		○	○			○			87.9	2.2		
	(2)		○		式をもとに、正方形と長方形を組み合わせた図形の面積をどのようにもとめたのか、考え方を書く	L字型の図形の面積の求め方を表す式を読み取ることができる	第3学年D(2)ア 第4学年B(1)イ		○		○	○				○	1.1	33.2		
5			○		90度より大きい角の大きさを測定する場面で、分度器の目もりを読む	90度より大きい角の大きさを測定する場面で、分度器の目盛りを読むことができる	第4学年B(2)アイ		○				○			○		68.8	0.9	
6	(1)		○		地図上にいくつかの平行四辺形を見つけだし、平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいという性質を利用して、㊸の長さを書く	与えられた図において平行四辺形を見だし、その性質を利用することができる	第4学年C(1)アイ				○			○		○		86.9	2.8	
	(2)		○		㊸の四角形には、平行な直線の組がいくつあるかを書く	平行四辺形の向かい合った2組の辺が平行であるという性質を理解している	第4学年C(1)イ				○			○		○		61.3	3.4	
7	(1)		○		示された半円をかくために、コンパスの針をさす場所を答える	円の中心について理解している	第3学年C(1)ウ				○			○	○			34.9	6.9	
	(2)		○		示された半円をかくために、コンパスの開いている長さを答える	円の半径について理解している	第3学年C(1)ウ				○			○		○		59.0	6.6	
8	(1)		○		表にあてはまる資料の個数を答える	資料を2つの観点から分類整理し、表を用いて表すことができる	第4学年D(4)ア					○		○		○		60.2	3.1	
	(2)		○		表にあてはまる資料の個数が表していることについて、ふさわしいものをえらぶ	資料を2つの観点から分類整理し、表を用いて表したものを読み取ることができる	第4学年D(4)ア					○		○	○			73.6	3.4	
9	㊲		○		㊲の場面を表している図をえらび、リボンの長さをもとめる式を書く	示された場面における二つの数量関係を図に表し、場面に適した演算を用いることができる	第3学年A(3)イ 第3学年D(2)ア 第4学年A(3)イ	○				○	○		○		○	41.8	7.8	
	㊳		○		㊳の場面を表している図をえらび、リボンの長さをもとめる式を書く			○				○	○		○		○	49.1	9.7	
10	(1)	ひとみ	○		二人の会話に対応しているグラフを、示されたぼうグラフの中から、それぞれふさわしいものをえらぶ	示された棒グラフを読み取ることができる	第3学年D(3)ア					○		○	○			65.1	8.4	
	(1)	けんじ	○										○		○	○			68.8	9.2
	(2)		○		目もりのつけ方のちがいがによって、変化のようすがらがうように見えるわけを書く	目盛りの付け方の違いによる変化の様子の違いを比較することができる	第3学年D(3)ア 第4学年D(1)ア					○	○		○		8.6	22.7		
	(3)		○		リサイクル活動で集めたものの重さの変化を表す折れ線グラフの一部と、2つのぼうグラフの一部をくらべて、そのちがいを書く	グラフの特徴を基に、折れ線グラフと棒グラフを関連付けてとらえ、両者の違いを数学的に表現することができる	第3学年D(3)ア 第4学年D(1)ア					○	○		○		9.0	38.5		
	(4)		○		あたえられた折れ線グラフが、何の重さを表したのかを書く	グラフの特徴を基に、与えられた折れ線グラフが何の重さの変化の様子を表したものであるかを判断することができる	第3学年D(3)ア 第4学年D(1)ア					○		○		○		42.5	27.3	

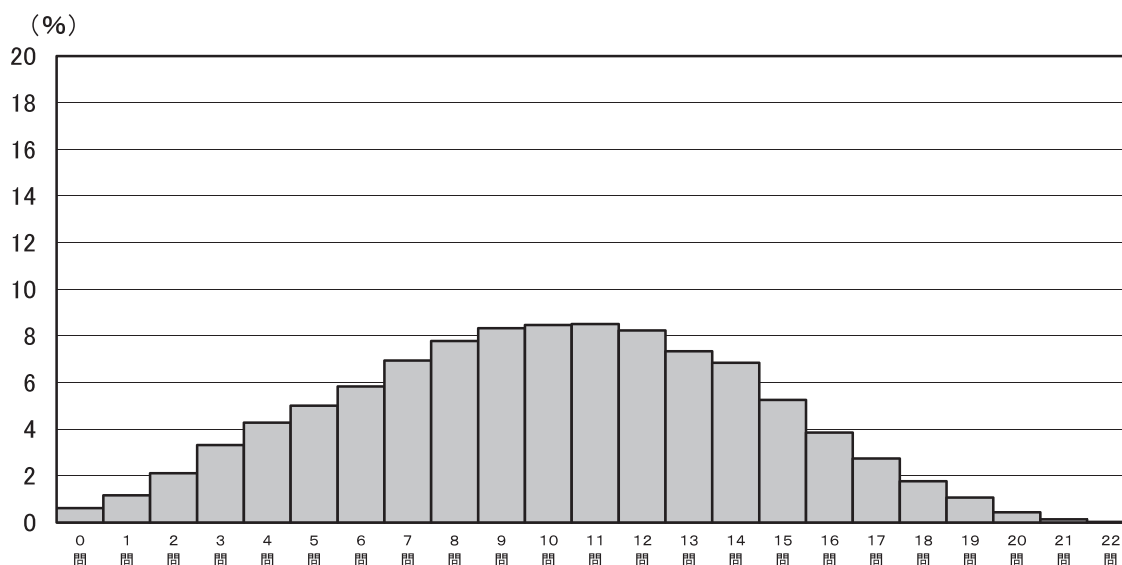
「太字」は、高知県正答率80%以上
「白抜き」は、高知県正答率40%未満
「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

小学校第5学年 算数
【分類・区分別の状況】

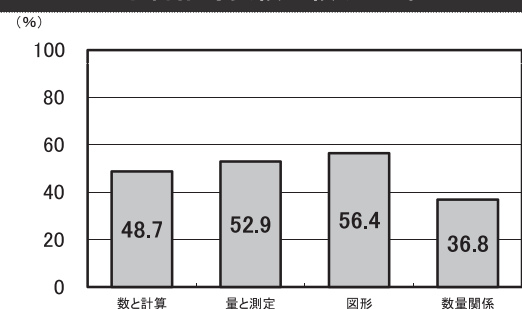
	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,846	10.0 / 22	45.3

正答数 (割合(%))	
0問	0.6
1問	1.2
2問	2.1
3問	3.3
4問	4.3
5問	5.0
6問	5.8
7問	6.9
8問	7.8
9問	8.3
10問	8.5
11問	8.5
12問	8.2
13問	7.3
14問	6.8
15問	5.3
16問	3.8
17問	2.7
18問	1.8
19問	1.1
20問	0.4
21問	0.1
22問	0.0

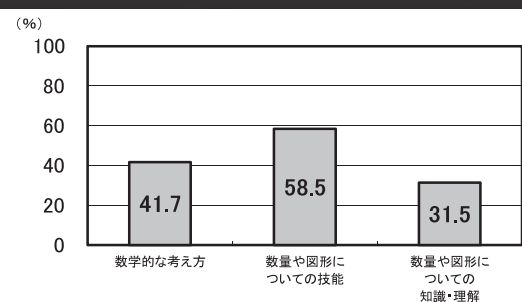
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



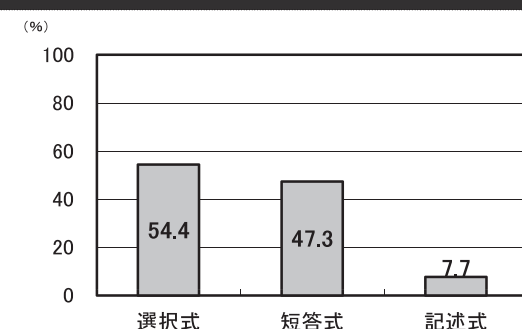
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○算数の平均正答率は45.3%で、例えば、次のような課題が見られた。

・目的に応じて計算の結果の見積もりをし、計算の仕方や結果について判断すること

[8(3)わけ 正答率12.3%、無解答率30.6%]

(3) ほのかさんとお姉さんは、1500円以内で買えるものを「店長おすすめはこちら」の中から選んで買ってくるようにと、お母さんにたのまれて、9日(土)の午後2時に、お店に行きました。



二人は、カップケーキ2個、シュークリーム1個、マンゴープリン2個を買うことに決めました。

そこで、ほのかさんは1500円以内で買えるかどうかを考えました。

すると、お姉さんが、「こういうときは、それぞれのねだんを200円、300円、400円と考えるといいよ。そうすると、合計が1500円になるから、1500円以内で買える」と判断できるよ。」と言いました。



なるほど。お姉さんのように考えると、1500円以内で買えると、すぐにわかるね。

お姉さんは、どのような見積もりのしかたをして、「1500円以内で買える」と判断したのでしょうか。

お姉さんの見積もりのしかたと判断したわけを言葉と数を使って書きましょう。

また、この日、ほのかさんとお姉さんは、何個のスタンプをおしてもらえましたが、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 2個
- 2 3個
- 3 6個
- 4 9個

【設問別正答率】 小学校第5学年算数

問題番号		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学連習指導要領との	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
大	小						数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	数量や図形についての技能	知識・理解	数量や図形についての技能	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率
1	(1)		○	9.16 + 83.7 を計算する	小数の加法の計算をすることができる	第4学年A(5)イ	○				○				○			64.0	0.5
	(2)		○	3 + 2 × 4.5 を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	第4学年D(2)ア 第5学年A(3)イウ	○			○	○					○		51.1	0.4
	(3)		○	8.1 - 2.1 ÷ 3 を計算する	減法と除法の混合した整数と小数の計算をすることができる	第4学年D(2)ア 第4学年A(5)イウ 第5学年A(3)ウ	○			○	○					○		51.5	0.8
	(4)		○	0.5 × 0.4 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる	第5学年A(3)イ	○				○					○		66.8	0.5
	(5)		○	90 ÷ 0.6 を計算する	整数と小数の除法の計算をすることができる	第5学年A(3)イ	○				○					○		63.9	1.7
	(6)		○	$2\frac{5}{6} - \frac{7}{8}$ を計算する	異分母の帯分数と真分数の減法の計算をすることができる	第5学年A(4)オ	○				○					○		68.3	3.1
	(7)		○	$0.7 - \frac{4}{9}$ を計算する	小数と分数の減法の計算をすることができる	第5学年A(4)アオ	○				○					○		75.4	5.4
2			○	12, 18, 36 の公約数をすべて書く	公約数を求めることができる	第5学年A(1)イ	○				○					○		66.2	3.8
3			○	小数のかけ算やわり算の式で、計算の答えとかけられる数やわられる数との関係を正しく説明しているものを選ぶ	小数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している	第5学年A(3)アイ	○					○	○					37.3	5.7
4	(1)	あおい	○	あおいさんの直方体を組み合わせた図形の体積の求め方にあてはまる図と式の組み合わせを選ぶ	直方体を組み合わせた図形の体積の求め方の説明と対応する図と式の組み合わせを考えることができる	第3学年D(2)ア 第5学年B(2)イ		○		○	○				○			75.2	1.2
	(1)	みさき	○	みさきさんの直方体を組み合わせた図形の体積の求め方にあてはまる図と式の組み合わせを選ぶ				○		○	○				○			80.2	1.2
	(2)		○	式をもとに、直方体を組み合わせた図形の体積をどのように求めたのか、考え方を書く		第3学年D(2)ア 第5学年B(2)イ		○		○	○					○		3.2	31.5
5	(1)		○	直方体の辺アイに平行な辺の数を書く	直方体の辺に平行な辺を理解している	第4学年C(2)イ			○			○			○			56.8	1.1
	(2)		○	直方体を組み立てたとき、面㊦に垂直な面をすべて書く	展開図で示された直方体の面に垂直な面を理解している	第4学年C(2)イ			○			○			○			56.1	2.7
6			○	緑のテープの長さの2.4倍が15mの白いテープの長さになるとき、緑のテープの長さとの関係を表す図を選び、緑のテープの長さを求める式を書く	示された場面の数量関係を図に表し、基準量を求めるために除法が用いられることを理解している	第3学年D(2)ア 第5学年A(3)ア	○			○		○			○			26.7	7.0
7	(1)	つ3いて	○	三角形の数が15個のときに、使うマッチぼうの数を求める式に示されている3の意味を書く	式に示された数の意味を理解している	第3学年D(2)ア 第5学年D(2)				○		○			○			31.5	8.9
	(1)	つ2いて	○	三角形の数が15個のときに、使うマッチぼうの数を求める式に示されている2の意味を書く						○		○			○			3.1	11.0
	(2)		○	三角形の数を□個、そのときに使うマッチぼうの数を○本として、□と○の関係を式に表す	伴って変わる二つの数量の関係における式の意味を理解し、□や○を用いて、式に表すことができる	第5学年D(2)				○		○			○			8.7	17.9
8	(1)		○	午前のタイムサービスと午後のタイムサービスとでは、どちらのほうがいくら安くなるかを書く	条件を基に代金を求めて、比較することができる	第3学年A(2)イ 第4学年A(2)	○				○				○			19.3	8.3
	(2)		○	5個のケーキを買うとき、与えられた条件から残り2個のケーキの買い方を選ぶ	問題の条件を整理して、筋道を立てて考えることができる	第3学年A(2)イ 第4学年A(2)	○				○				○			54.0	15.6
	(3)	わけ	○	お姉さんの見積りもりの仕方とお姉さんが1500円以内で買えると判断したわけを書く	目的に応じて計算の結果の見積りもりをし、計算の仕方や結果について判断することができる	第4学年A(2)ウ	○				○					○		12.3	30.6
	(3)	スタンプ	○	お姉さんとはのかさんがもらったスタンプの数を数える	必要な情報を整理して、筋道を立てて考えることができる	第2学年A(3)ア 第3学年A(3)イ 第5学年A(1)イ	○				○				○			25.4	19.4

「太字」 は、高知県正答率80%以上
「白抜き」 は、高知県正答率40%未満
「白抜き」 は、10ポイントをこえる高知県無解答率

(3) 小学校理科

今回の調査から見える 〇成果 ●課題
経年比較による ☆成果 ★課題

エネルギー

第5学年	高知県理科思考力問題集との関連
○2 (1) の正答率は 93.1%で、コイルに鉄心を入れて電流を流すと、鉄心が磁石になることについては、相当数の児童ができている。 ○2 (3) ②の正答率は 90.3%で、乾電池の極を変えると電流の流れが変わることについては、相当数の児童ができている。	小5－03【電流の働き】 児童が主体的に条件を考え、電磁石の強さを変える要因について確かめるための実験を行うことが大切です。

粒子

第5学年	高知県理科思考力問題集との関連
●4 (5) の正答率は 45.8%、無解答率は 17.6%で、空気の性質を説明することについては、課題が見られる。 ●4 (1) の正答率は 54.1%で、空気鉄砲に閉じ込めた空気の体積と前の玉が飛ぶ距離の関係を理解することについては、課題が見られる。	 理科思考力問題集を、思考を深めるための授業づくりにご活用ください。

生命

第5学年	高知県理科思考力問題集との関連
○1 (3) の正答率は 88.1%で、植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解することについては、相当数の児童ができている。 ★1 (5) の正答率は 25.1%で、植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その改善した理由を記述することについては、過去の全国学力・学習状況調査と同様に課題が見られる。(H242(5) : 県 33.4%) →P. 51「小学校理科指導改善のポイント」へ	小5－04【植物の発芽・成長・結実】 植物の受粉と結実の関係について、実際に観察した結果を基に、科学的な言葉や概念を理解させていくことが大切です。

地球

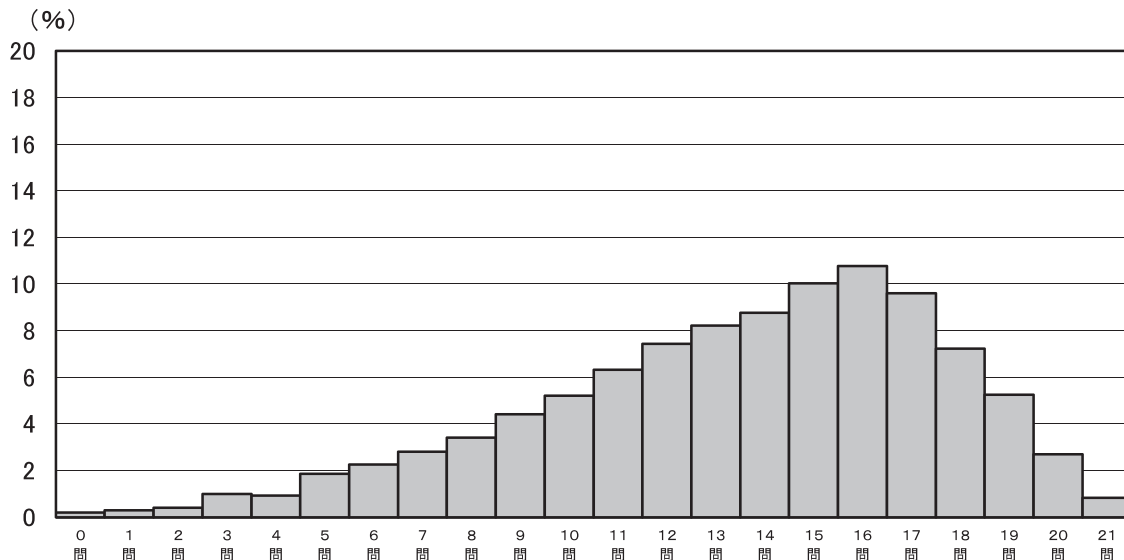
第5学年	高知県理科思考力問題集との関連
●3 (4) の正答率は 40.3%で、川の様子を観察した結果を基に、調べなければならない項目を考えることについては、課題が見られ、無解答率は 25.8%で、全設問の中で最も高い。 ●3 (3) の正答率は 48.8%、無解答率は 16.4%で、地面を流れる水と川の様子を観察した結果から、下流における川の特徴を対応させることについては、課題が見られる。	小5－06【流水の働き】 単に知識として理解させるのではなく、川の様子等を観察した結果から考察をして、概念を理解させていくことが大切です。

小学校第5学年 理科
【分類・区別の状況】

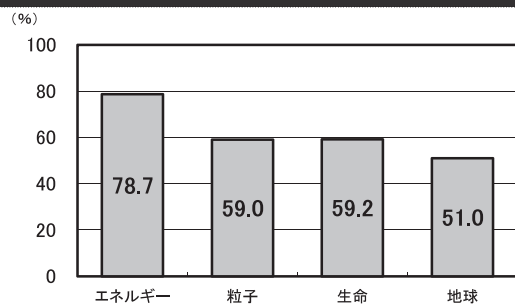
	児童数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,848	13.5 / 21	64.1

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.3
2問	0.4
3問	1.0
4問	0.9
5問	1.9
6問	2.3
7問	2.8
8問	3.4
9問	4.4
10問	5.2
11問	6.3
12問	7.4
13問	8.2
14問	8.8
15問	10.0
16問	10.8
17問	9.6
18問	7.2
19問	5.2
20問	2.7
21問	0.8

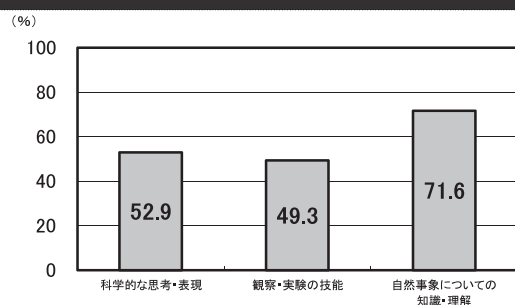
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



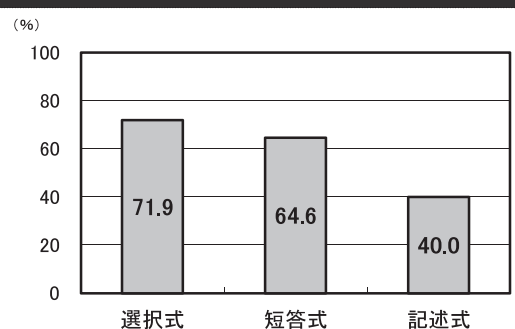
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○理科の平均正答率は、64.1%で、例えば、次のような課題が見られた。

・植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その改善した理由を記述すること

〔1(5) 正答率 25.1%、無解答率 3.5%〕

(5) 亜希さんは、おじいさんがメロンを育てている様子を見て、あることに気がきました。

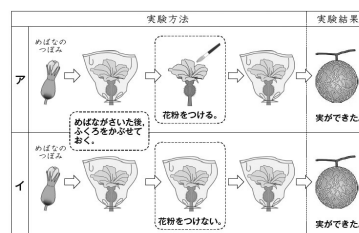


おじいさん、花に何をつけているの？

これは、花粉だよ。ここで育てているメロンには、実ができるように、花粉をめしべの先につけているんだよ。



亜希さんは、花粉がめしべの先につかないと実ができないことを確かめようと思い、下のような実験をしました。



※花粉をつけること以外の条件が、すべて同じになるように実験をしました。



花粉をつけないで育てたイのめばなにも実ができたよ。花粉をつけなくても実ができるのかな？



それはおかしいね。実験方法を見直して、もう一度やり直してみた方がいいよ。

亜希さんは、どのように実験をやり直せばよいでしょう。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを書きましょう。

- 1 アとイのめばなに、つぼみのときからふくろをかぶせておく。
- 2 アとイのめばなに、ふくろをかぶせない。
- 3 アとイのめしべの先に、花粉をつける。
- 4 アのめしべの先に花粉をつけ、アとイのめばなのふくろをはずす。

※学習シート等との関連

小学校5年生 高知県理科思考力問題集 小5-04

【設問別正答率】 小学校第5学年理科

問題番号			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学連 習指導要領との	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県		
大問	小問	エネルギー						粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	理解	自然現象についての知識・	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率		
1	(1)		○		かいぼうけんび鏡の使い方を正しい順にならべる	解剖顕微鏡の適切な使い方を身に付けている	第5学年 B（1）エ				○				○			29.6	0.2		
	(2)		○		アサガオとトマトの花に共通する花のつくりを選ぶ	花のつくりを理解している	第5学年 B（1）エ				○			○	○			82.6	0.5		
	(3)		○		「おしべの花粉がめしべの先につくこと」を表す言葉を書く	植物の受粉と結実の関係について、科学的な言葉や概念を理解している	第5学年 B（1）エ				○				○			88.1	4.2		
	(4)		○		アサガオやトマトの花のつくりとメロンの花のつくりのちがいを書く	植物の種類によって、花のつくりが異なることを理解している	第5学年 B（1）エ				○				○			70.7	4.3		
	(5)			○	メロンの受粉と結実の関係を正しく調べる実験について適切な実験方法を選び、選んだ理由を書く	植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その改善した理由を記述できる	第5学年 B（1）エ				○						○	25.1	3.5		
2	(1)		○		電磁石のコイルのしんとして適切な物質を選ぶ	コイルに鉄心を入れて電流を流すと、鉄心が磁石になることを理解している	第5学年 A（3）ア	○						○	○				93.1	0.8	
	(2)		○		かんいけん流計を直列につなぐ回路をかく	簡易検流計のつなぎ方を身に付けている	第5学年 A（3）ア	○									○		69.0	5.5	
	(3)	①	○		電池の極を逆につないだときのかんいけん流計のばりのふれを選ぶ	乾電池の極を変えると、検流計の針が逆にふれることを理解している	第5学年 A（3）ア	○							○	○			66.3	1.1	
		②	○		電池の極を逆につないだとき、電磁石の極が逆になる理由を選ぶ	乾電池の極を変えると、電流の流れが変わることを理解している	第5学年 A（3）ア	○								○	○			90.3	0.8
	(4)	①		○	電磁石の力の強さとコイルの巻き数の関係を調べるための実験条件を選ぶ	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験を、条件を制御しながら考えることができる	第5学年 A（3）イ	○						○				○		79.3	0.9
		②		○	電磁石の力の強さと直列につないだ電池の数の関係を調べるための実験条件を選ぶ	電磁石の強さを変える要因について確かめる実験を、条件を制御しながら考えることができる	第5学年 A（3）イ	○						○				○		77.9	0.9
	(5)			○	棒磁石やU字型磁石と電磁石の特徴について正しいものを選ぶ	棒磁石やU字型磁石と電磁石の特徴の違いについて理解している	第3学年 A（4） 第5学年 A（3）ア	○							○	○				75.0	2.5
3	(1)		○		仁淀川の4か所の石や川の様子をのちがいを調べる	川の上流と下流について、川原の石の大きさ及び川の様子の違いを理解している	第5学年 B（3）イ					○				○	○			44.5	2.2
	(2)		○		仁淀川河口大橋の赤い石のスケッチを選ぶ	川の上流と下流について、川原の石の大きさや形の違いを理解している	第5学年 B（3）イ					○				○	○			70.3	2.4
	(3)			○	実験の結果が実際の川の様子を表していると考えた理由を書く	地面を流れる水と川の様子を観察した結果から、下流における川の特徴を対応させることができる	第5学年 B（3）ア											○		48.8	16.4
	(4)			○	赤い石が仁淀川から桂浜に運ばれて来たかどうかを確かめる方法を書く	川の様子を観察した結果を基に、調べなければならない項目を考えることができる	第5学年 B（3）ア					○	○					○		40.3	
4	(1)			○	4つの空気でっぽうの中から、前の玉が5mより遠く飛ぶものを選ぶ	空気鉄砲に閉じ込めた空気の体積と前の玉の飛び距離の関係を理解している	第4学年 A（1）ア				○					○	○			54.1	2.6
	(2)			○	空気でっぽうの空気を水にかえたときの前の玉の飛び方のちがいを調べる	閉じ込めた水は押し縮められないので、押し返す力はないことを理解している	第4学年 A（1）イ				○						○	○		66.9	2.9
	(3)			○	空気を入れたピストンと水を入れたピストンをおしたときのピストンの動きを調べる	閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを理解している	第4学年 A（1）イ				○						○	○		62.7	3.5
	(4)			○	ふん水から水が飛び出す仕組みの説明として、当てはまる言葉を書く	閉じ込めた空気は押し縮められるが、水は押し縮められないことを噴水から水が飛び出す仕組みに当てはめることができる	第4学年 A（1）アイ				○							○		65.6	6.0
	(5)				○	「こわれやすいものなどを包むシート」は、とじこめた空気のどんな性質を利用しているかを書く	閉じ込めた空気の性質を利用した製品を基に、その性質を説明することができる	第4学年 A（1）ア				○								○	45.8

「太字」は、高知県正答率80%以上

「白抜き」は、高知県正答率40%未満

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

(4) 中学校国語

今回の調査から見える 〇成果 ●課題
経年比較による ☆成果 ★課題

話すこと・聞くこと

第1学年	第2学年
○[8]一の正答率は79.2%で、話合いの方向を捉えて、的確に発言をすることについては、相当数の生徒ができています。	●[7]一の正答率は42.8%で、効果的なスピーチをするために話し方を工夫することについては、課題が見られる。 ★[10]二の正答率は15.9%で、資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に説明することについては、過去の全国学力・学習状況調査と同様に課題が見られる。(H22B[2]三：県39.7%)

書くこと

第1学年	第2学年
○[9]二の正答率は90.9%で、伝えるべき内容を整理して書くことについては、相当数の生徒ができています。 ●[11]三の正答率は41.7%で、資料に書かれている内容を基に、自分の考えを具体的に書くことについては、課題が見られ、無解答率は27.0%で、全設問の中で最も高い。 →『平成23年度学力定着状況調査報告書指導改善のポイント』P.8参照	☆[8]の正答率は38.1%で、目的に応じて根拠の明確な文章を書くことについては、正答率は低いものの、過去の全国学力・学習状況調査と比べてやや改善傾向にある。(H23B[1]三：県32.6%)

読むこと

第1学年	第2学年
●[10]三の正答率は22.5%で、文章の内容と関連させ、自分の考えを根拠を明確にして書くことについては、課題が見られる。(H23B[3]三：県39.4%) →『平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査結果の概要』P.22・23参照	☆[5]の正答率は一71.9%、二62.5%で、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読んだり、古文と現代語訳とを対応させて内容を捉えたりすることについては、過去の全国学力・学習状況調査と同様に定着が見られる。(H21A[8]五1：県71.7%、2：県62.6%) ★[9]一の正答率は0.1%で、文章の内容を正確に捉えることについては、昨年度調査と同様に課題が見られる。(H24[9]一：0.6%) ●[9]三の正答率は2.9%で、今までの自分の体験と結び付けて、文章に書かれている内容を説明することについては、課題が見られ、無解答率は44.4%で、全設問の中で最も高い。 →P.53「中学校国語指導改善のポイント」へ

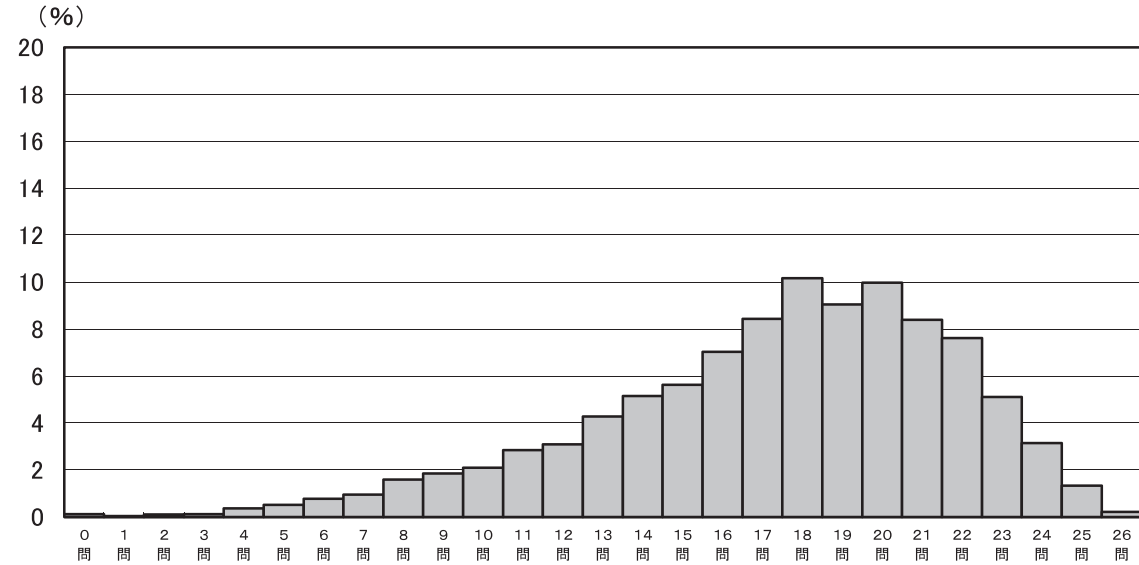
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

第1学年	第2学年
○[2]の正答率は一96.7%、二93.8%で、文脈に即して漢字を正しく読むことについては、相当数の生徒ができています。 ☆[4]の正答率は75.1%で、比喻を用いた表現について理解することについては、過去の全国学力・学習状況調査と比べて改善傾向にある。(H24A[3]二：28.9%) ●[5]二の正答率は12.6%で、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係を捉えることについては、課題が見られる。	○[2]の正答率は一86.6%、二98.2%で、文脈に即して漢字を正しく読むことについては、相当数の生徒ができています。 ●[3]の正答率はア34.9%、イ45.3%で、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、課題が見られる。(H21A[8]三7：県47.1%)

中学校第1学年 国語
【分類・区分別の状況】

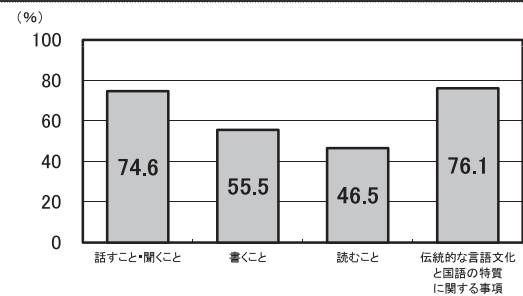
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,025	17.3 / 26	66.7

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

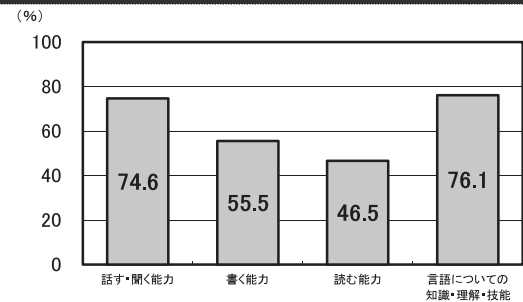


正答数 (割合(%))
0問 0.1
1問 0.0
2問 0.1
3問 0.1
4問 0.4
5問 0.5
6問 0.8
7問 1.0
8問 1.6
9問 1.9
10問 2.1
11問 2.8
12問 3.1
13問 4.3
14問 5.2
15問 5.6
16問 7.0
17問 8.4
18問 10.2
19問 9.1
20問 10.0
21問 8.4
22問 7.6
23問 5.1
24問 3.1
25問 1.3
26問 0.2

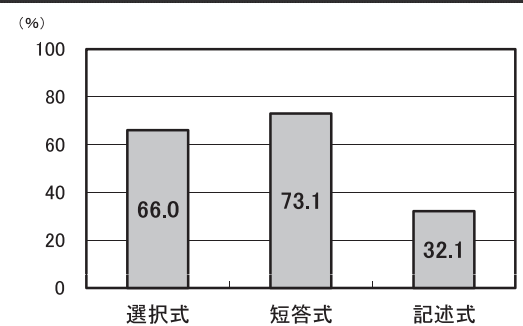
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式

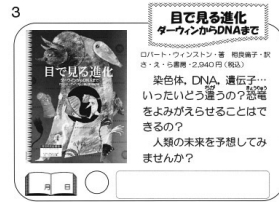
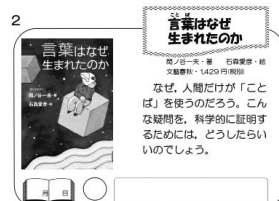


○国語の平均正答率は66.7%で、例えば、次のような課題が見られた。

・文章の内容と関連させ、自分の考えを根拠を明確にして書くこと

[10三 正答率22.5%、無解答率5.5%]

条件1 本を選んだ理由が、「動物の睡眠と暮らし」の内容と関連していること。
条件2 五十文字以上、七十文字以内で書き、理由を表す言葉を用いること。「〜から」「〜ため」など。



(高知県教育委員会発行「きっとあるキミの心にひびく本」による)

「本を紹介した資料」

三 この「動物の睡眠と暮らし」の文章を読んだあとで、あなたがもう一冊本を読むとしたら、次の「本を紹介した資料」にある1から3のどの本を選びますか。(どの本を選んでもかまいません) 選んだ本の番号と、その本を選んだ理由を、あとの条件1と条件2にしたがって書きなさい。

※学習シート等との関連
国語学習シート No.4・23・45・66・67

【設問別正答率】 中学校第1学年国語

問題番号		主として「知識」「読解」の問題	主として「活用」「読解」の問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との 関連	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
大	小						話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語の特質に 関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語について の知識・技能	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率
1	1		○	漢字を書く（高知城をハイケイに写真をとった）	文脈に即して漢字を正しく書く	第1学年 伝(1)ウ(4)				○				○	○			78.0	9.4
	2		○	漢字を書く（商店をイトナむ）	文脈に即して漢字を正しく書く	第1学年 伝(1)ウ(4)				○				○	○			80.8	10.2
2	1		○	漢字を読む（負担を軽減する）	文脈に即して漢字を正しく読む	第1学年 伝(1)ウ(4)				○				○	○			96.7	1.5
	2		○	漢字を読む（顔の汗をふく）	文脈に即して漢字を正しく読む	第1学年 伝(1)ウ(4)				○				○	○			93.8	1.6
3	ア		○	適切な語句を選ぶ（税金を納めることは、国民の義務です）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	第1学年 伝(1)イ(4)				○				○	○			83.7	0.2
	イ		○	適切な語句を選ぶ（運動会の後、冷たい水で、のどかわきをいやした）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	第1学年 伝(1)イ(4)				○				○	○			92.6	0.2
	ウ		○	適切な語句を選ぶ（「弟はじっと窓の外を見た」は、五文語の文である）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う ※単語の類別	第1学年 伝(1)イ(4)				○				○	○			80.2	0.6
4			○	歌詞の中から比喩を用いている部分を抜き出す	比喩を用いた表現について理解する	第1学年 伝(1)イ(4)				○				○	○			75.1	2.5
5	一		○	漢字の音読みと訓読みの説明として適切なものを選ぶ	漢字の音読みと訓読みについて理解する	第1学年 伝(1)ウ(4)				○				○	○			62.1	1.3
	二		○	漢和辞典の「意味」の中から、「風流」の「風」の意味として適切なものを選ぶ	語句の説書的な意味と文脈上の意味との関係に注意し、語感を磨く	第1学年 伝(1)イ(4)				○				○	○			12.6	4.7
6	一		○	「竹取物語」の冒頭部分の文章に句点をつける	古文の中のまとまりをつかむ	第1学年 伝(1)ア(4)				○				○	○			92.0	1.6
	二		○	歴史的仮名づかいを現代仮名づかいに直したときの正しい組み合わせを選ぶ（うつくしうて、あたり）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む	第1学年 伝(1)ア(4)				○				○	○			68.1	0.7
7			○	行書で書かれた漢字を楷書で書いたときの総画数を選ぶ（絵）	漢字の楷書と行書との違いを理解して書く	第1学年 伝(2)イ				○				○	○			73.6	0.4
8	一		○	話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選ぶ	話し合いの方向を捉えて、的確に発言をする	第1学年 A(1)オ	○			○				○				79.2	0.7
	二		○	話し合いでの発言の特徴について説明したものとして適切なものを選ぶ	目的に沿った話し合いになるように、適切な発言をする	第1学年 A(1)オ	○			○				○				70.0	0.8
9	一		○	案内文の最初に書かれる時候の挨拶を選ぶ	案内文の形式を理解して書く	第1学年 B(1)イ		○			○			○				66.7	1.1
	ア		○	案内文に必要な項目の名称を書く	伝えるべき内容について整理して書く	第1学年 B(1)イ		○			○			○				53.2	7.1
	イ		○	案内文に必要な項目の名称を書く	伝えるべき内容について整理して書く	第1学年 B(1)イ		○			○			○				90.9	5.9
	三		○	小学生に向けた案内文となるように適切な文を書く	相手に応じて表現を工夫して書く	第1学年 B(1)ウ		○			○			○				58.0	9.1
10	ア		○	文章をもとに、動物の睡眠についてまとめた表の「ネズミの寝方」に当てはまるものを抜き出す	目的に応じて必要な情報を読み取る	第1学年 C(1)イ			○			○		○				71.9	7.5
	イ		○	文章をもとに、動物の睡眠についてまとめた表の「ソウ、キリンなどの寝方の理由」に当てはまるものを抜き出す	目的に応じて必要な情報を読み取る	第1学年 C(1)イ			○			○		○				57.8	11.9
	二		○	文章の全体の構成や内容の説明として適切なものを選ぶ	文章の内容や展開の仕方を捉える	第1学年 C(1)エ			○			○		○				52.9	2.6
	三		○	文章の内容と関連させて【本を紹介した資料】の中から読みたい本を一冊選び、その本を選んだ理由を書く	文章の内容と関連させ、自分の考えを根拠を明確にして書く	第1学年 B(1)ウ 第1学年 C(1)オ		○	○			○	○			○		22.5	5.5
11	一		○	二枚のはがき新聞の構成の特徴として共通する点を書く	文章の構成や表現の特徴を捉える	第1学年 C(1)エ			○			○		○				28.7	10.0
	二		○	それぞれのはがき新聞の記事の見出しとして適切なものを選ぶ	目的に応じて文章を要約する	第1学年 C(1)イ			○			○		○				50.3	3.3
	三		○	「村岡さんへのインタビュー」を読んで、村岡さんから学んだことを書く	資料に書かれている内容を基に、自分の考えを具体的に書く	第1学年 B(1)ウ 第1学年 C(1)オ		○	○			○	○			○		41.7	27.0

「太字」は、高知県正答率80%以上
「白抜き」は、高知県正答率40%未満
「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

【設問別正答率】 中学校第2学年国語

問題番号			主として「活用」に属する問題	主として「知識」「読解」に属する問題	問題の内容	出題のねらい	学習指導要領との 関連	学習指導要領の領域等			評価の観点					問題形式			高知県	
大	小	問						話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	話す・書く・読むの言語文化と国語の特質に関する事項	話す能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・技能	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率
1	1		○		漢字を書く（道を <u>オウフク</u> する）	文脈に即して漢字を正しく書く	第2学年 伝(1)ウ(4)				○				○	○			60.3	11.4
	2		○		漢字を書く（ありが砂糖に <u>ム</u> がる）	文脈に即して漢字を正しく書く	第2学年 伝(1)ウ(4)				○				○	○			66.0	22.0
2	1		○		漢字を読む（ <u>蓋</u> 名な作家）	文脈に即して漢字を正しく読む	第2学年 伝(1)ウ(4)				○				○	○			86.6	3.8
	2		○		漢字を読む（ <u>わ</u> らを <u>虫</u> ねる）	文脈に即して漢字を正しく読む	第2学年 伝(1)ウ(4)				○				○	○			98.2	0.5
3	ア		○		適切な語句を選ぶ（彼女は、小学校のときから仲良しの <u>気</u> が置けない友達です）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	第1学年 伝(1)イ(4)				○				○	○			34.9	0.6
	イ		○		適切な語句を選ぶ（急いでいるときは、靴をはくのも <u>もどかしい</u> ）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う	第1学年 伝(1)イ(4)				○				○	○			45.3	0.5
	ウ		○		適切な語句を選ぶ（「辞書で調べ」の「調べる」は下二段活用動詞である）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う ※単語の活用	第2学年 伝(1)イ(4)				○				○	○			45.9	1.2
4			○		国語辞典で調べたことをもとに、文の意味として適切なものを選ぶ	辞書を活用して、文の意味を理解する	第1学年 伝(1)イ(4)				○				○	○			53.5	0.5
5	一		○		歴史的仮名づかいを現代仮名づかいに直す（むかひて）	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む	第1学年 伝(1)ア(4)				○				○	○			71.9	2.2
	二		○		「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す（よしなしごと）	古文と現代語訳とを対照させて内容を捉える	第1学年 C(1)ア			○				○		○			62.5	3.4
6			○		文字を読みやすくなるための改善点を選ぶ	文字の大きさや配列・配置を考えて書く	第2学年 伝(2)ア				○				○	○			68.5	0.7
7	一		○		スピーチの工夫の効果を書く	効果的なスピーチをするために話し方を工夫する	第1学年 A(1)ウ	○				○					○		42.8	12.5
	二		○		スピーチの特徴について説明したものとして適切なものを選ぶ	効果的なスピーチをするために話の展開の仕方を工夫する	第2学年 A(1)エ	○				○				○			51.6	1.0
8			○		標語のよさを説明する文章を書く	目的に応じて、根拠の明確な文章を書く	第2学年 B(1)ウ		○				○				○		38.1	22.0
9	一		○		本文中で筆者が述べていることの理由について、条件に基づき説明する	文章の内容を正確に捉える	第2学年 C(1)ウ			○			○				○		0.1	12.9
	二		○		本文中で筆者がニュートンを取り上げた理由として適切なものを選ぶ	文章の展開の仕方を捉える	第2学年 C(1)イ			○			○			○			63.4	4.5
	三		○		自分が今までに体験したことと関連付けて、感動について筆者が述べていることを書く	今までの自分の体験と結び付けて、文章に書かれている内容を説明する	第2学年 B(1)ウ 第2学年 C(1)エ		○	○			○	○			○		2.9	44.4
10	一		○		提示する資料に、説明したい内容を簡潔に書く	資料から必要な情報を集め、資料に表れている工夫を自分の表現に役立てて書く	第2学年 B(1)ウ 第1学年 C(1)カ		○	○			○	○			○		33.3	15.3
	二		○		説明する資料に追加する写真を選び、選んだ理由と追加した順番の理由を書く	資料の提示の仕方を工夫し、その理由について具体的に説明する	第2学年 A(1)ウ 第1学年 B(1)ウ	○	○			○	○				○		15.9	19.3

「太字」は、高知県正答率80%以上

「白抜き」は、高知県正答率40%未満

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

(5) 中学校社会

今回の調査から見える ○成果 ●課題
経年比較による ☆成果 ★課題

世界の様々な地域

第1学年	第2学年
☆[5]の正答率は76.4%で、世界のおもな宗教の特色について、資料を基に読み取ることについては、昨年度調査と比べてやや改善傾向にある。 (H24[1](7) : 53.8%) ●[3]の正答率は2.9%で、世界の気候や自然環境などの分布を表した資料を基に、気候に影響を与えるものについて考察することについては、課題が見られる。 ●[4]の正答率は0.4%で、アジアに日本の企業が進出する理由について、資料から考察し、与えられた視点で表現することについては、課題が見られる。	●[1](4)①の正答率は21.7%で、正距方位図法による地図を用いて、方位を正しく読み取ることについては、課題が見られる。

日本の様々な地域

第1学年	第2学年
	☆[5](2)の正答率は㉔28.6%、㉕33.6%で、資料から考察し、視点をもってまとめることについては、昨年度調査(様々な資料を分類・考察し、視点をもってまとめること)と比べると、正答率が高くなっている。(H24[4](2) : A 4.4%、B 7.2%) →P.55「中学校社会指導改善のポイント」へ ★[1](4)④の正答率は9.2%で、時差の基本的な仕組みを活用し日本の時刻を求めることについては、昨年度調査とは問題形式や日本との位置関係が異なるものの昨年度よりも課題が見られる。 (H24[1](4) : 57.4%) ★2の正答率は1.8%で、日本の政府が沖ノ鳥島を保護した理由を「200 海里」「資源」の2つの語句を使って説明することについては、昨年度調査よりも課題が見られる。(H24[3](2) : 36.9%)

歴史のとらえ方

第1学年	第2学年
●[6]の正答率は(1)34.0%、(2)39.3%で、時代区分や年代の表し方を理解することについては、課題が見られる。	●[6](2)の正答率は3.5%で、江戸幕府の大名統制について、資料から読み取ったことを基に説明することについては、課題が見られる。 ●[6](4)の正答率は㉔16.7%、㉕9.0%、無解答率は㉔31.4%、㉕37.7%で、江戸幕府の鎖国政策の目的を複数の視点で捉えることについては、課題が見られる。

古代までの日本

第1学年	第2学年
●[7](2)②の正答率は24.8%で、複数の歴史書の内容から時代の流れを捉えることについては、課題が見られる。	●[7](3)の正答率は28.3%で、明治維新の改革を理解することについては、課題が見られる。

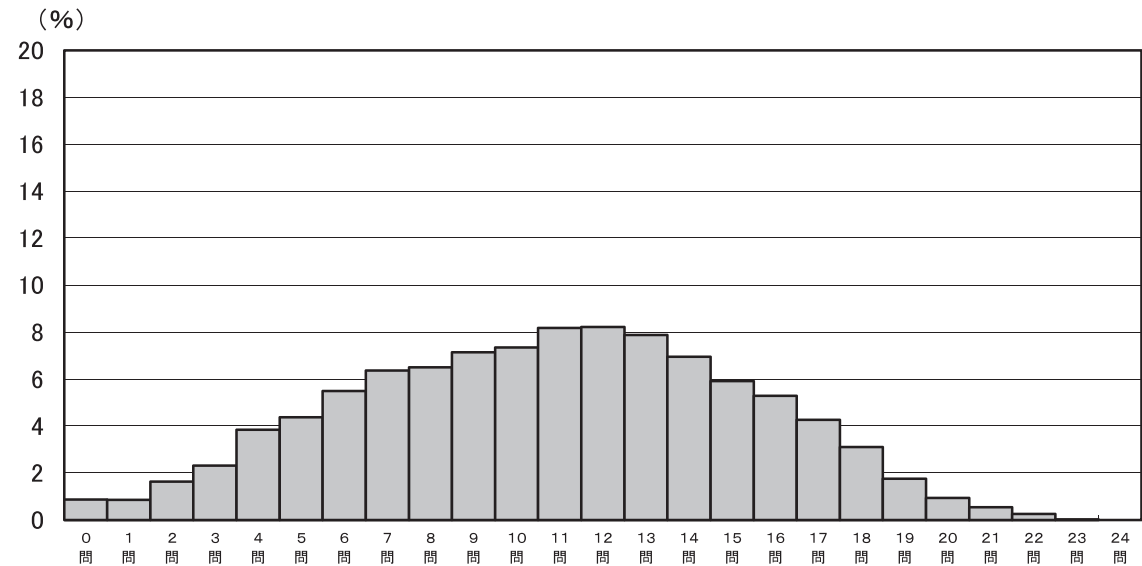
近代の日本と世界

中学校第1学年 社会
【分類・区分別の状況】

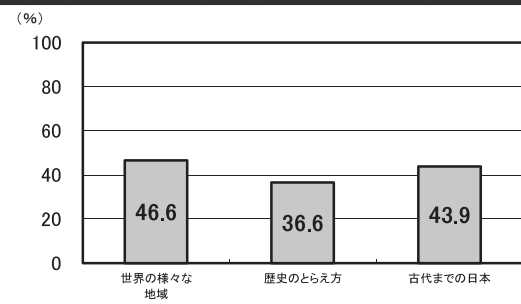
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,027	10.7 / 24	44.8

正答数 (割合(%))	
0問	0.9
1問	0.9
2問	1.6
3問	2.3
4問	3.8
5問	4.4
6問	5.5
7問	6.4
8問	6.5
9問	7.1
10問	7.3
11問	8.2
12問	8.2
13問	7.9
14問	6.9
15問	5.9
16問	5.3
17問	4.3
18問	3.1
19問	1.8
20問	0.9
21問	0.5
22問	0.3
23問	0.0
24問	0.0

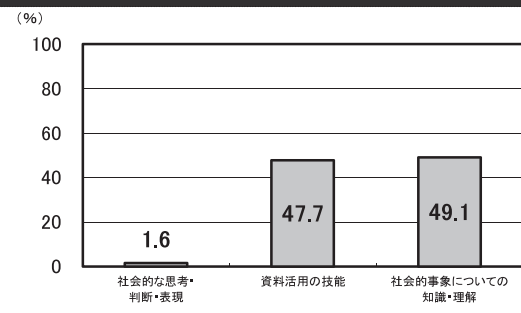
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



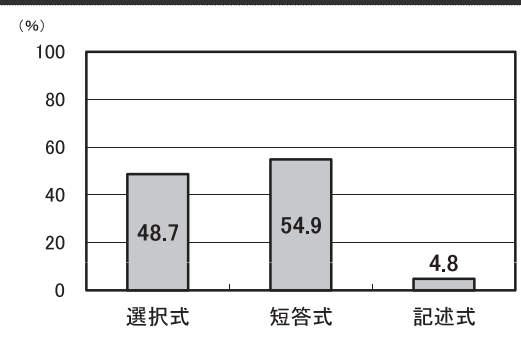
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○社会の平均正答率は44.8%で、例えば、次のような課題が見られた。

・世界の気候や自然環境などの分布を表した資料を基に、気候に影響を与えるものについて考察すること

[3 正答率2.9%、無解答率16.4%]

- ③ 山口さんは、3ページの【世界の気候帯の分布】を見て、「気がついたこと」や「疑問に思ったこと」から調べたいことを【ノート】に整理しました。そして、集めた資料の【資料Ⅰ】から【資料Ⅲ】を使って分かったことをまとめています。山口さんが確かめたかったことは、どのようなことですか。集めた資料から分かったことの⑥に当てはまる言葉を、簡潔に書きなさい。

①

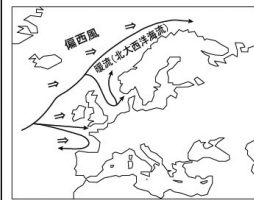
集めた資料

【資料Ⅰ】ロンドンと札幌の月別平均気温(1981年～2010年の平均値)(℃)

都市	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
ロンドン	5.8	6.2	8.0	10.5	13.9	17.0	18.7	18.5	16.2	12.4	8.5	5.7	11.8
札幌	-3.6	-3.1	0.6	7.1	12.4	16.7	20.5	22.3	18.1	11.8	4.9	-0.9	8.9

(『理科年表 平成25年』より作成)

【資料Ⅱ】ヨーロッパ周辺の海流と風の流れ



→ 海流 ⇒ 風の流れ

【資料Ⅲ】日本周辺の海流と風の流れ



→ 海流 ⇒ 風の流れ

集めた資料から分かったこと

【資料Ⅰ】の表から、

⑥

ことが分かる。

それは、【資料Ⅱ】、【資料Ⅲ】を見ると、ロンドンは、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響を受け、札幌は、寒流のリマン海流と季節風の影響を受けているからである。

このことから、緯度の高さ以外に海流や風が気候に影響を与えていると考えられる。

【設問別正答率】 中学校第1学年社会

問題番号			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学連 学習指導要領との	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式		高知県	
大問	小問	世界の様々な地域						歴史のとらえ方	古代までの日本	社会的な思考・判断・表現	資料活用 の技能	知識・理解 についての	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率		
1	(1)		○		地球儀をある方向から見た半球図に示された4つの大陸の名称の組み合わせとして、正しいものを選ぶ	地球儀をある方向から見た半球図に示された大陸の名称を理解している	地理的分野(1)ア	○				○	○				58.1	1.4	
	(2)		○		地球儀をある方向から見た半球図に示された赤道の位置を参考に、メルカトル図法による世界地図において、赤道を表す緯線を選ぶ	メルカトル図法による世界地図において、赤道の位置を理解している	地理的分野(1)ア	○				○	○				73.1	1.5	
	(3)		○		メルカトル図法による世界地図を見て、海洋の名称(大西洋)を書く	メルカトル図法による世界地図において、海洋の位置や名称を理解している	地理的分野(1)ア	○				○		○			62.2	4.0	
	(4)		○		地球儀をある方向から見た半球図とメルカトル図法による世界地図で、面積の関係を正しく表しているものを選ぶ	地球儀とメルカトル図法による世界地図の特色を読み取ることができる	地理的分野(1)ア	○				○		○			59.8	5.8	
2	(1)		○		世界の気候帯の分布や学習メモを見て、㊦に当てはまる気候帯の名称(乾燥帯)を書く	世界の気候の分布や気候の特色に関連付けて、気候帯を理解している	地理的分野(1)イ	○				○			○		69.2	6.2	
	(2)	X	○		冷帯の特色を選ぶ	冷帯の特色を理解している	地理的分野(1)イ	○				○	○				29.4	2.7	
		Y	○		熱帯の特色を選ぶ	熱帯の特色を理解している	地理的分野(1)イ	○				○	○				74.0	2.7	
	(3)		○		地中海性気候に当てはまる気温と降水量のグラフを選び、その特色を説明する	気候の特色について、気温と降水量のグラフに関連付けて読み取ることができる	地理的分野(1)イ	○				○			○	11.1	9.2		
	(4)	①	○		衣装についての説明をもとに、世界の気候の分布から写真①の人が住んでいる都市を選ぶ	自然的条件と関連付けて、世界の人々の生活を読み取ることができる(高山気候)	地理的分野(1)イ	○				○		○			33.3	5.5	
		②	○		衣装についての説明をもとに、世界の気候の分布から写真②の人が住んでいる都市を選ぶ	自然的条件と関連付けて、世界の人々の生活を読み取ることができる(砂漠気候)	地理的分野(1)イ	○				○		○			56.7	5.1	
3			○		集めた資料から、ロンドンと札幌の冬の気温を比較して説明する	世界の気候や自然環境などの分布を表した資料を基に、気候に影響を与えるものについて考察することができる	地理的分野(1)イ	○			○				○	2.9	16.4		
4				○	資料を見て日本の企業がアジアに進出する理由を「資金」と「人口」の2つの視点で書く	アジアに日本の企業が進出する理由について、資料から考察し、与えられた視点で表現できる	地理的分野(1)ウの	○			○				○	0.4	26.1		
5				○	宗教分布とその宗教を信仰する人々に見られる習慣を示した資料に当てはまる宗教の組み合わせとして、正しいものを選ぶ	世界のおもな宗教の特色について、資料を基に読み取ることができる	地理的分野(1)イ	○				○		○			76.4	2.5	
6	(1)			○	資料にある原始から現代までの時代区分の視点として、適切なものを選ぶ	時代区分について理解している	歴史的分野(1)ア		○				○	○			34.0	2.7	
	(2)			○	年代の表し方をもとに、文に当てはまる数や語句の組み合わせとして正しいものを選ぶ	年代の表し方について理解している	歴史的分野(1)ア		○				○	○			39.3	2.6	
7	(1)	①	○		聖徳太子が制定した役人の心得(十七条の憲法)を書く	聖徳太子が行った政治について理解している	歴史的分野(2)イ			○			○		○		61.2	20.7	
		② 記号	○		系図を見て、藤原氏がどのように勢力をのびたのかを正しく説明しているものを選ぶ	藤原氏の行った政治について、資料を基に読み取ることができる	歴史的分野(2)イ			○		○		○			72.0	7.2	
		② 語句	○		藤原氏が朝廷で高い地位につき、権力をにぎった政治(摂関政治)を書く	摂関政治について理解している	歴史的分野(2)イ			○			○	○			37.5	32.9	
	(2)	①	○		3～6世紀頃朝鮮半島などから日本に移り住んできた人々(渡来人)のことを表す語句を書く	中国や朝鮮から移り住んで文化や技術を伝えた人々について理解している	歴史的分野(2)ア			○			○		○		59.7	18.1	
		②	○		中国の歴史書の内容をもとに、資料を年代の古いものから順に並べかえたものを選ぶ	複数の歴史書の内容から時代の流れを捉えることができる	歴史的分野(2)ア			○		○		○			24.8	6.1	
		③	○		金印が送られた頃の日本のおもな地域の人々の暮らしとして、適切でないものを選ぶ	弥生時代の人々の生活の様子について理解している	歴史的分野(2)ア			○			○	○			36.9	5.7	
	(3)	①	○		天平文化が栄えた時代区分を選ぶ	天平文化が栄えた時代について理解している	歴史的分野(2)イ				○		○	○			33.6	5.4	
		②	○		菅原道真の意見によって廃止されることになった中国へ派遣されていた使者(遣唐使)を書く	日本の文化の国風化に影響を与えた出来事について理解している	歴史的分野(2)ウ				○		○		○		39.5	24.0	
		③	○		国風文化の特色である、かな文字を使った作品(古今和歌集)を選ぶ	国風文化の特色を理解している	歴史的分野(2)ウ				○		○	○			29.7	4.8	

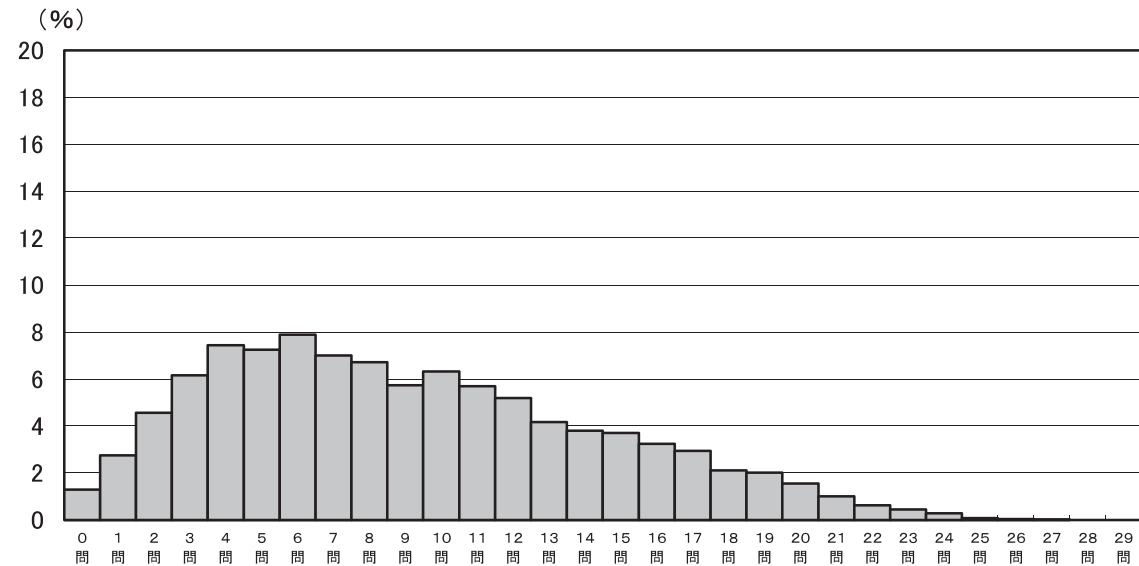
「白抜き」は、高知県正答率40%未満

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

中学校第2学年 社会
【分類・区分別の状況】

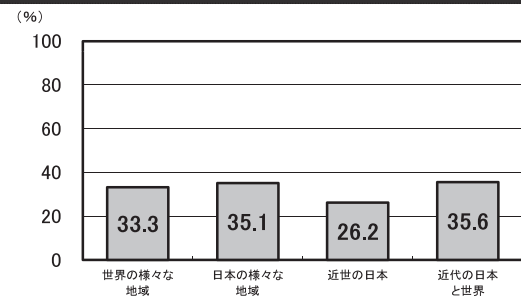
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	4,971	9.1 / 29	31.5

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)

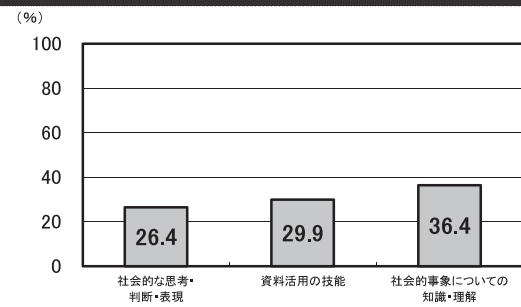


正答数 (割合(%))
0問 1.3
1問 2.8
2問 4.6
3問 6.2
4問 7.4
5問 7.2
6問 7.9
7問 7.0
8問 6.7
9問 5.7
10問 6.3
11問 5.7
12問 5.2
13問 4.2
14問 3.8
15問 3.7
16問 3.2
17問 2.9
18問 2.1
19問 2.0
20問 1.5
21問 1.0
22問 0.6
23問 0.4
24問 0.3
25問 0.1
26問 0.0
27問 0.0
28問 0.0
29問 0.0

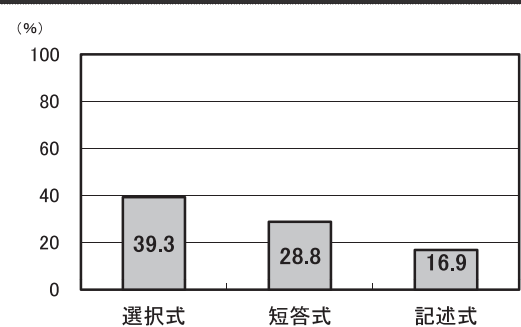
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○社会の平均正答率は31.5%で、例えば、次のような課題が見られた。

・人口減少を抑える取り組みについて、資料から考察し、視点をもってまとめ、表現すること

〔 5(2)正答率 28.6%、無解答率 27.9%
え 33.6%、え 29.3% 〕

⑤ 小松さんは、下の【新聞記事】を読んで、人口減少について関心をもち、自分の住む四国地方について調べることになりました。次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(2) 小松さんは、インターネットで各市町村の取り組みと現状を調べ、A町とB市の人口減少を抑える取り組みについて、調べたこと②に整理しました。その2つの取り組みから、それぞれの地域に定住し生活するための支援について、2つの視点でまとめました。下のまとめ②、③に当てはまる言葉を簡潔に書きなさい。

調べたこと②

市町村の人口減少を抑える取り組みと現状

(A町の取り組み)	(B市の取り組み)																																				
・地元にあるもみじや花を料理に添える「つまもの」として販売する会社をつくり、農家の高齢者が農協と協力して、収穫、選別、出荷、販売を行う。	・「わざわざ住みたい！」をキャッチフレーズに7つの支援策で移住者をバックアップする。																																				
・地元の会社で、企業体験できる制度をつくり、後継者につながる取り組みを進める。	・空き家情報などのきめ細かい支援制度を紹介する。																																				
・町外からの移住者のために住宅などを提供している。	・漁業や農業での自立を目指す希望者を支援し、仕事を確保する制度を整える。																																				
(現状) ・「つまもの」の販売が主要産業として成長した。自分の住む地域に、自信をもって生活している。	(現状) <table><tr><th colspan="2">[移住相談実績]</th><th colspan="5">2013.3.31現在</th></tr><tr><th rowspan="2">年度</th><th rowspan="4">区分</th><th>2008</th><th>2009</th><th>2010</th><th>2011</th><th>2012</th><th rowspan="2">計</th></tr><tr><td>12<td>30<td>32<td>64<td>80</td></td></td></td></td></tr><tr><td colspan="2">うち移住者数</td><td>5</td><td>5</td><td>3</td><td>13</td><td>18</td><td>44 (20%)</td></tr><tr><td colspan="2">うち移住人数</td><td>5</td><td>6</td><td>4</td><td>25</td><td>42</td><td>82 (人)</td></tr></table>	[移住相談実績]		2013.3.31現在					年度	区分	2008	2009	2010	2011	2012	計	12 <td>30<td>32<td>64<td>80</td></td></td></td>	30 <td>32<td>64<td>80</td></td></td>	32 <td>64<td>80</td></td>	64 <td>80</td>	80	うち移住者数		5	5	3	13	18	44 (20%)	うち移住人数		5	6	4	25	42	82 (人)
[移住相談実績]		2013.3.31現在																																			
年度	区分	2008	2009	2010	2011	2012	計																														
		12 <td>30<td>32<td>64<td>80</td></td></td></td>	30 <td>32<td>64<td>80</td></td></td>	32 <td>64<td>80</td></td>	64 <td>80</td>	80																															
うち移住者数		5	5	3	13	18	44 (20%)																														
うち移住人数		5	6	4	25	42	82 (人)																														
・町外の若者がIターンで移り住んできている。																																					

まとめ

A町、B市の取り組みから、それぞれの地域に定住し生活するための支援としては、②や③が、効果的であると考えられる。

【設問別正答率】 中学校第2学年社会

問題番号			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学連習指導要領との	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県	
大問	小問							世界の様々な地域	日本の様々な地域	近世の日本	近代の日本と世界	社会的な思考・判断・表現	資料活用	知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率
1	(1)		○		世界地図の読み取りとして、正しいものを選ぶ	世界地図から情報を適切に読み取ることができる	地理的分野(1)ア	○				○	○					44.5	1.0
	(2)		○		東京とニューヨークの最短ルートをメルカトル図法による地図に書き表したものと、最も適切なものを選ぶ	正距方位図法とメルカトル図法による地図を関連付けて、情報を地図の特色に留意し、読み取ることができる	地理的分野(1)ア	○				○	○					28.4	1.2
	(3)		○		適切な地図を選び、東京から北西の方向に地球を一周するときに通過する大陸の順番として、正しいものを選ぶ	目的に応じて適切な地図を用い、情報を読み取ることができる	地理的分野(1)ア	○				○	○					41.4	1.4
	(4)	①	○		資料の中から正距方位図法による地図を選び、東京から見たブラジリアの方位を選ぶ	正距方位図法による地図を用いることができる	地理的分野(1)ア	○				○	○					21.7	1.1
		②	○		サンパウロの位置を表すとき、緯度を表す語句(南緯)を書く	緯度、経度を使った位置の表し方を理解している	地理的分野(1)ア	○					○		○			30.3	15.7
		③	○		地図を見て、4つの都市から最も早く新年を迎える都市を選ぶ	時差の仕組みを理解している	地理的分野(2)ア		○				○	○				40.7	5.7
		④	○		サンパウロが6月12日午後5時のときの日本の日時を書く	時差の基本的な仕組みを活用し、時刻を求めることができる	地理的分野(2)ア		○			○			○			9.2	34.1
2	(1)		○		領土や領空、水域について述べた文の中から適切なものを選ぶ	領域と排他的経済水域について、理解している	地理的分野(2)ア		○				○	○				38.8	2.1
	(2)		○		日本の政府が沖ノ鳥島を保護した理由を「200海里」「資源」の2つの語句を使って説明する	日本の海洋国家としての特色を基に、領域や排他的経済水域について考えることができる	地理的分野(2)ア		○			○				○		1.8	18.7
3	(1)		○		日本が属する造山帯の名称(環太平洋造山帯)を書く	世界の造山帯の名称を理解している	地理的分野(2)イ(ウ)		○				○		○			35.5	24.8
	(2)	a	○		山地から平野に流れ出る川によって形成された地形の名称(扇状地)を書く	扇状地について理解している	地理的分野(2)イ(ウ)		○				○		○			44.5	24.2
		b	○		平野から海へ注ぐ川によって河口付近に形成された地形の名称(三角洲)を書く	三角洲について理解している	地理的分野(2)イ(ウ)		○				○		○			51.2	24.0
4	a～c		○		瀬戸内の気候の特色をまとめた文に当てはまる言葉の組み合わせを選ぶ	資料を基に、瀬戸内の気候の特色を捉えることができる	地理的分野(2)イ(ウ)		○			○	○					44.8	4.0
	d		○		瀬戸内の気候の気温と降水量のグラフとして正しいものを選ぶ	瀬戸内の気候の特色を理解している	地理的分野(2)イ(ウ)		○				○	○				51.4	8.7
5	(1)	あ	○		四国4県が全国と比べて高齢化が進んでいることを示すために、注目する数や語句をグラフから取り出して書く	年齢別人口割合のグラフから少子高齢化の傾向を読み取ることができる	地理的分野(2)ウ(エ)		○			○			○			48.2	14.9
		い	○		四国4県が全国と比べて高齢化が進んでいることを示すために、注目する数や語句をグラフから取り出して書く	年齢別人口割合のグラフから少子高齢化の傾向を読み取ることができる	地理的分野(2)ウ(エ)		○			○			○			28.3	20.9
	(2)	う	○		市町村の人口減少を抑える取り組みをまとめ、2つの視点を書く	人口減少を抑える取り組みについて、資料から考察し、視点をもってまとめ、表現できる	地理的分野(2)ウ(エ)		○			○				○		28.6	27.9
		え	○		市町村の人口減少を抑える取り組みをまとめ、2つの視点を書く	人口減少を抑える取り組みについて、資料から考察し、視点をもってまとめ、表現できる	地理的分野(2)ウ(エ)		○			○				○		33.6	29.3
6	(1)	①	○		太閤検地の内容として、正しくないものを選ぶ	太閤検地について理解している	歴史的分野(4)ア			○			○	○				36.8	2.9
		②	○		太閤検地や刀狩令が、近世に与えた影響を選ぶ	太閤検地や刀狩令が、近世の社会に与えた影響を捉えることができる	歴史的分野(4)ア			○		○			○			51.9	2.9
	(2)			○	資料をもとに、参勤交代の目的について説明する	江戸幕府の大名の統制について、財政の面から読み取り、説明することができる	歴史的分野(4)イ			○		○				○		3.5	30.8
	(3)	い	○		資料をもとに、大名配置をどのように行ったかを書く	江戸幕府の大名の配置の仕方について、資料を基に読み取ることができる	歴史的分野(4)イ			○		○			○			35.1	21.7
		う	○		資料をもとに、大名配置をどのように行ったかを書く	江戸幕府の大名の配置の仕方について、資料を基に読み取ることができる	歴史的分野(4)イ			○		○			○			23.2	22.3
	(4)	え	○		資料をもとに、幕府が行った鎖国政策の目的を書く	江戸幕府の鎖国政策の目的について、複数の視点で捉えることができる	歴史的分野(4)イ			○		○				○		16.7	31.4
		お	○		資料をもとに、幕府が行った鎖国政策の目的を書く	江戸幕府の鎖国政策の目的について、複数の視点で捉えることができる	歴史的分野(4)イ			○		○				○		9.0	37.7
7	(1)	ア	○		松平定信が行った政治改革の名称を書く	江戸の三大改革について理解している	歴史的分野(4)エ			○			○		○			14.0	45.6
		イ	○		水野忠邦が行った政治改革の名称を書く	江戸の三大改革について理解している	歴史的分野(4)エ			○			○		○			29.0	45.8
	(2)		○		江戸幕末から明治にかけての出来事について、年代の古い順に並べたものを選ぶ	日米修好通商条約の締結から明治政府の成立までの出来事の流れを捉えることができる	歴史的分野(4)エ(5)イ			○	○	○			○			42.8	4.9
	(3)		○		明治政府が行った地租改正と廃藩置県を年表に表すとき、組み合わせとして正しいものを選ぶ	明治維新の改革について理解している	歴史的分野(5)イ				○		○	○				28.3	5.3

「白抜き」は、高知県正答率40%未満

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

(6) 中学校数学

今回の調査から見える 〇成果 ●課題
経年比較による ☆成果 ★課題

数と式

第1学年	第2学年
○3(3)の正答率は82.0%で、方程式を解く際に用いられている等式の性質を理解することについては、相当数の生徒ができています。 ●2(2)の正答率は39.6%で、文字を用いた式の表し方にしたがって、式を表すことについては、課題が見られる。	★1(4)の正答率は36.4%で、等式を目的に応じて変形することについては、昨年度調査と同様の課題が見られる。 (H241(3):30.7%) ★6(3)②の正答率は21.4%、無解答率は40.0%で、事柄が成り立つ理由を説明することについては、過去の全国学力・学習状況調査と比べても課題が見られる。 (H23B2(3):県52.4%)

図形

第1学年	第2学年
○5(2)の正答率は84.7%で、対称移動した図形をかくことについては、相当数の生徒ができています。 ●5(1)の正答率は23.3%で、回転移動の意味を理解することについては、課題が見られる。	○4(4)の正答率は87.6%で、合同な三角形の対応する角の大きさを求めることについては、相当数の生徒ができています。 ★4(2)の正答率は57.5%で、三角形の1つの外角の求め方を理解することについては、過去の全国学力・学習状況調査と同様の課題が見られる。(H22A6(1):県65.7%)

関数

第1学年	第2学年
☆4(1)の正答率は25.7%で、yがxの関数であるものを選ぶことについては、課題があるものの、本年度の全国学力・学習状況調査における同様の問題の正答率に比べ10ポイント以上改善している。(A9:県14.4%) ●6(3)の正答率は32.4%で、グラフや表、式などを用いて方法を説明することについては、課題が見られ、無解答率は27.0%で、全設問の中で最も高い。 → P. 57「中学校数学指導改善のポイント」へ	☆3(3)の正答率は、64.2%で一次関数のグラフから、xとyの関係を式で表すことについては、過去の全国学力・学習状況調査における同様の問題の正答率に比べ15ポイント以上改善している。(H22A11(2):48.9%) ★3(5)②の正答率は4.7%で、ある区間の変化の様子を式などで表すことについては、昨年度調査と同様の課題が見られ、無解答率は49.3%で、全設問の中で最も高い。 (H243(5)①:4.1%)

資料の活用

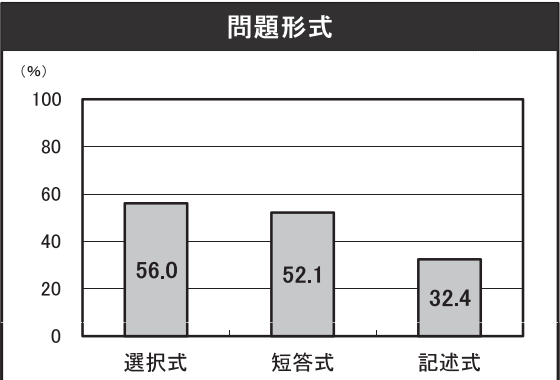
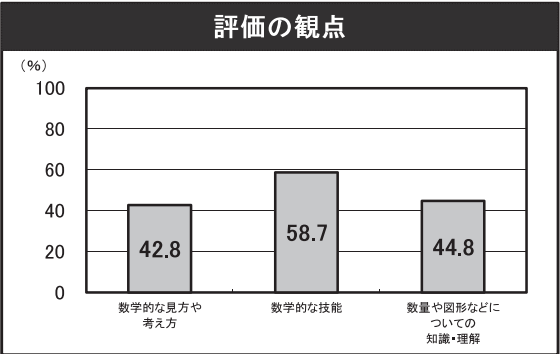
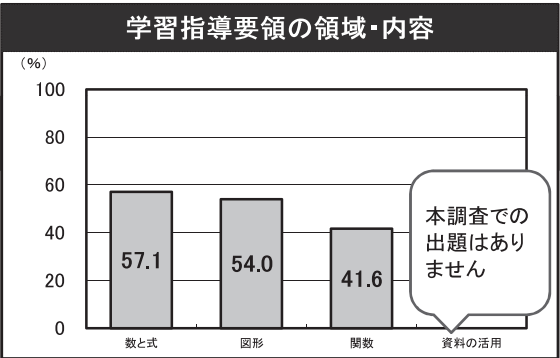
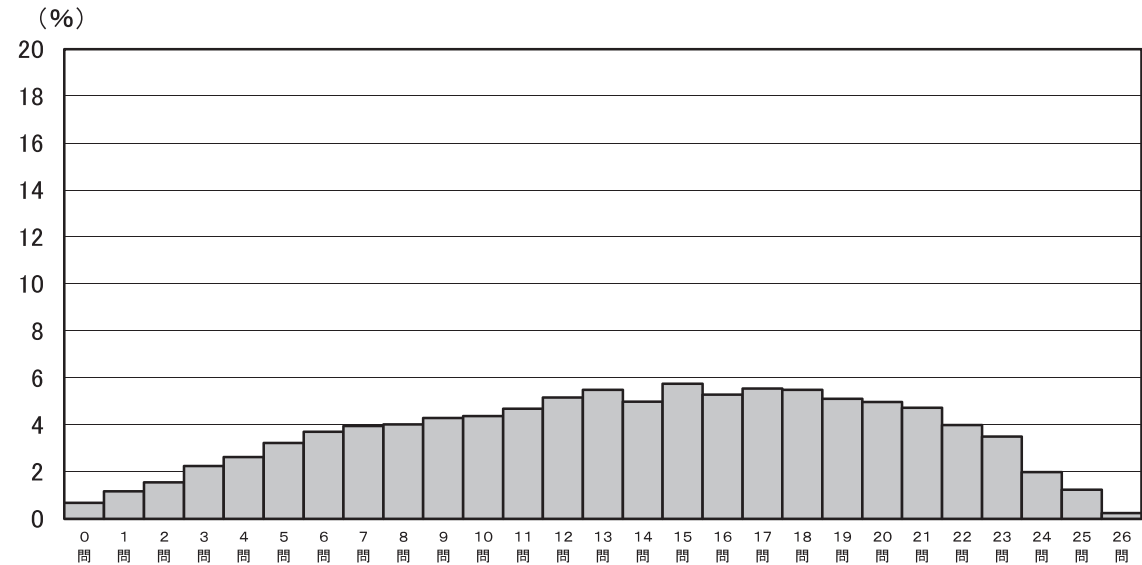
第1学年	第2学年
	●5(1)の正答率は27.8%で、表から中央値(メジアン)を求めることについては、課題が見られる。 ●5(2)の正答率は28.6%で、ヒストグラムから資料の傾向を読み取ることについては、課題が見られる。

中学校第1学年 数学
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,030	13.7 / 26	52.7

正答数 (割合(%))	
0問	0.7
1問	1.2
2問	1.6
3問	2.2
4問	2.6
5問	3.2
6問	3.7
7問	4.0
8問	4.0
9問	4.3
10問	4.4
11問	4.7
12問	5.2
13問	5.5
14問	5.0
15問	5.7
16問	5.3
17問	5.5
18問	5.5
19問	5.1
20問	5.0
21問	4.7
22問	4.0
23問	3.5
24問	2.0
25問	1.2
26問	0.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



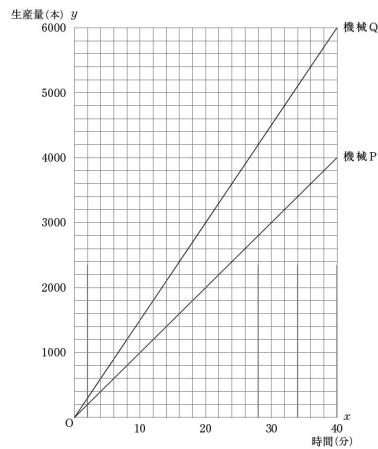
○数学の平均正答率は52.7%で、例えば、次のような課題が見られた。

・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

[6(3) 正答率32.4%、無解答率27.0%]

〔6〕ある会社では、海洋深層水から飲料水をつくっています。この会社には海洋深層水からペットボトル飲料を生産する2種類の機械P、Qがあります。2種類の機械P、Qについて、ペットボトル飲料を生産するときの時間と生産量の関係を、下のよう表とグラフに表しました。 x 分間に生産するペットボトル飲料の数を y 本として、次の(1)から(3)の各問いに答えなさい。

時間(分)	0	10	20	30	40	...
機械Pで生産されるペットボトル(本)	0	1000	2000	3000	4000	...
機械Qで生産されるペットボトル(本)	0	1500	3000	4500	6000	...



(3) 機械Qにおいて、タンボール100ケース(ペットボトル飲料2400本)を生産しました。このときの生産にかかる時間を求める方法を説明しなさい。ただし、実際に時間を求める必要はありません。

※学習シート等との関連

全国学力・学習状況調査数学B問題集
02-10-20-3、17-20-19-5、25-20-25-3

【設問別正答率】 中学校第1学年数学

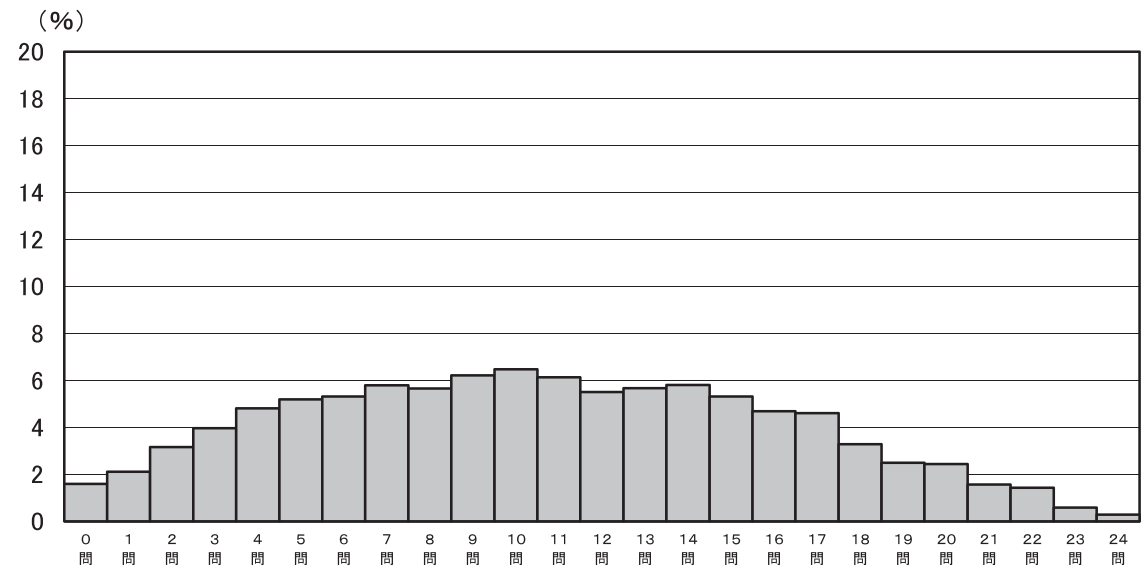
問題番号		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学連習指導要領との	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			高知県		
大	小						数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解 数量や図形などについての	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率	
1	(1)		○	$5 - (-7)$ を計算する	正の数と負の数の加法・減法の計算ができる	第1学年 A (1) ウ	○					○			○			70.3	1.8
	(2)		○	$(-3^2) \times (-2)$ を計算する	正の数と負の数の乗法・除法の計算ができる	第1学年 A (1) ウ	○					○				○		51.1	2.0
	(3)		○	$(-5) \times (1-3)$ を計算する	括弧を含む正の数と負の数の加減乗除の計算ができる	第1学年 A (1) ウ	○					○				○		81.6	3.0
	(4)		○	$4 - 10 \div 2$ を計算する	正の数と負の数の加減乗除の計算ができる	第1学年 A (1) ウ	○					○				○		77.6	3.2
	(5)		○	絶対値が3以下である整数の個数を答える	絶対値の意味を理解している	第1学年 A (1) ア	○						○			○		28.1	3.6
	(6)		○	a と b が整数のとき、 a と b の計算結果が整数とならないことがある計算を選ぶ	数の範囲を拡張することによって、四則計算の可能性が拡大されることを理解している	第1学年 A (1) イ	○						○	○				73.4	1.8
2	(1)		○	答えが $100x$ で表される問題を選ぶ	与えられた文字式を具体的な事象と関連付け、その意味を読み取ることができる	第1学年 A (2)	○					○			○			69.9	1.5
	(2)		○	$y \times (-1) \times x$ を計算する	文字を用いた式の表し方にしたがって、式を表すことができる	第1学年 A (2) イ	○					○				○		39.6	17.6
	(3)		○	$2(x+4) - 5(3x-2)$ を計算する	一次式の加法・減法の計算ができる	第1学年 A (2) ウ	○					○				○		43.5	10.8
	(4)		○	$a=3$ のとき、 $-2a+4$ の値を求める	文字に数を代入して、式の値を求めることができる	第1学年 A (2) エ	○					○				○		68.3	9.8
	(5)		○	1個70円のりんごを x 個買ったときの代金が500円より高いことを表している式を選ぶ	数量の大小関係を不等式に表すことができる	第1学年 A (2) エ	○						○		○			59.3	2.1
	(6)		○	1辺に n 個ずつ碁石を並べて正方形をつくるとき、碁石の個数が $4(n-2)+4$ で表される囲み方を選ぶ	数学的に表現された結果を事象に即して解釈することができる	第1学年 A (2) ア	○					○			○			53.2	3.8
3	(1)		○	一次方程式 $2x-7=3x-5$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	第1学年 A (3) ウ	○					○				○		62.6	9.2
	(2)		○	比例式 $2:3=x:8$ が成り立つときの x の値を求める	簡単な比例式を解くことができる	第1学年 A (3) ウ	○					○				○		36.1	13.2
	(3)		○	一次方程式を解くときに $0.3x=0.2x-0.7$ から $3x=2x-7$ へ式を変形してよい理由として正しいものを選ぶ	方程式を解く際に用いられている等式の性質を理解している	第1学年 A (3) イ	○						○	○			82.0	2.8	
	(4)		○	みかんを1人に5個ずつ配ると3個不足し、4個ずつ配ると7個余るとき、子どもの人数を x 人として方程式をつくる	2通りに表される数量に着目し、一元一次方程式をつくることができる	第1学年 A (3) ウ	○					○				○		42.3	22.7
	(5)		○	方程式の解が問題の答えとして適切なものであるかどうかを調べることにについて、正しい記述を選ぶ	一元一次方程式を活用して問題を解決する手順を理解している	第1学年 A (3) ウ	○						○	○				31.6	4.6
4	(1)		○	y が x の関数であるものを選ぶ	関数関係の意味を理解している	第1学年 C (1) ア				○				○	○			25.7	2.8
	(2)		○	反比例における比例定数が6のとき、 x の値とそれに対応する y の値の関係について正しいものを選ぶ	比例定数の意味を理解している	第1学年 C (1) イ				○				○	○			45.9	3.0
	(3)		○	関数 $y = \frac{1}{3}x$ のグラフを選ぶ	比例の式とグラフの関係を理解している	第1学年 C (1) エ				○				○	○			63.2	2.9
	(4)		○	反比例の表をもとに、 y を x の式で表す	反比例の表から式を求めることができる	第1学年 C (1) エ				○						○		38.6	11.5
5	(1)		○	$\angle B=90^\circ$ である二等辺三角形ABCを回転移動させた角度を求める	回転移動の意味を理解している	第1学年 B (1) イ			○				○		○			23.3	5.1
	(2)		○	三角形を対称移動した図をかく	対称移動した図形をかくことができる	第1学年 B (1) イ			○				○			○		84.7	3.5
6	(1)		○	2つの比例のグラフから機械Pのグラフについて、 y を x の式で表す	必要な情報を読み取り、事象を数学的に処理することができる	第1学年 C (1) オ				○			○			○		55.9	13.2
	(2)		○	機械Qのグラフが表す式 $y=150x$ の150が表している数量を答える	必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる	第1学年 C (1) オ				○				○				29.6	20.2
	(3)		○	機械Qについてペットボトル2400本を生産する時間を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	第1学年 C (1) オ				○		○					○	32.4	27.0

「太字」 は、高知県正答率80%以上
「白抜き」 は、高知県正答率40%未満
「白抜き」 は、10ポイントをこえる高知県無解答率

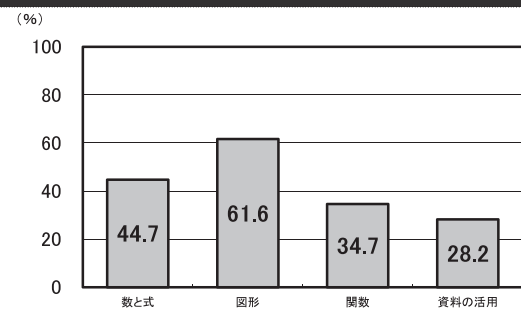
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	4,975	10.6 / 24	44.4

正答数 (割合(%))	
0問	1.6
1問	2.1
2問	3.2
3問	4.0
4問	4.8
5問	5.2
6問	5.3
7問	5.8
8問	5.6
9問	6.2
10問	6.5
11問	6.1
12問	5.5
13問	5.7
14問	5.8
15問	5.3
16問	4.7
17問	4.6
18問	3.3
19問	2.5
20問	2.4
21問	1.6
22問	1.4
23問	0.6
24問	0.3

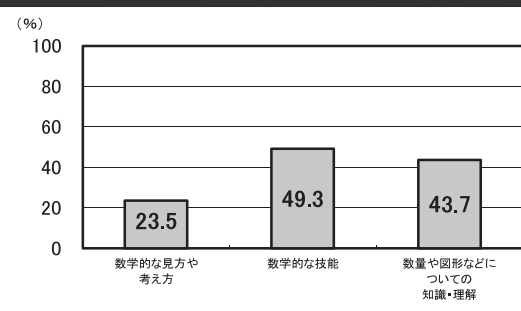
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



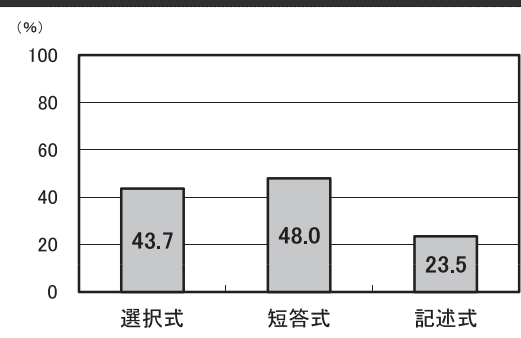
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○数学の平均正答率は44.4%で、例えば次のような課題が見られた。

- ①数量の関係や法則などを文字式で表すこと
- ②事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明すること

〔 6(3) 正答率①30.9%、無解答率①31.6%
②21.4%、②40.0% 〕

(3) 一平さんは、同じように連続する5つの自然数の和がどんな数になるかを考えてみたいと思い、いくつかの場合を調べました。

1, 2, 3, 4, 5 のとき $1+2+3+4+5=15$
2, 3, 4, 5, 6 のとき $2+3+4+5+6=20$
3, 4, 5, 6, 7 のとき $3+4+5+6+7=25$
4, 5, 6, 7, 8 のとき $4+5+6+7+8=30$

このことから、連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を偶数や奇数として考え、次のような予想を立てました。

一平さんの予想

連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を偶数としたとき、連続する5つの自然数の和は、10の倍数になる。

この予想がいつでも成り立つことを説明しました。前のページの健二さんの説明を参考に、①、②に当てはまる式や言葉を書き、説明を完成させなさい。

一平さんの説明

n を自然数とすると、
連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を $2n$ とすると、
連続する5つの自然数は、①と表される。
それらの和は、

②

したがって、連続する5つの自然数のもっとも小さい数を偶数としたとき、連続する5つの自然数の和は、10の倍数になる。

※学習シート等との関連

中学2年単元チェック単元1大問5
全国学力・学習状況調査数学B問題集
07-2A-19-2、10-2A-21-2、11-2A-22-2、
12-2A-23-2、14-2A-24-2

【設問別正答率】 中学校第2学年数学

問題番号		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学連習指導要領との	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			高知県	
大問	小問						数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方の活用	数学的な技能	知識・理解	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率
1	(1)		○	$2(x + 4y) - 5(3x - 2y)$ を計算する	整式の加法・減法の計算ができる	第2学年 A (1) ア	○					○				○		73.1	4.9
	(2)		○	$4ab \times (-3a^2)$ を計算する	単項式どうしの乗法・除法の計算ができる	第2学年 A (1) ア	○					○				○		59.5	7.5
	(3)		○	$x = -3, y = 2$ のとき、式 $(-10x^2y) \div 5x$ の値を求める	文字に数を代入して、式の値を求めることができる	第1学年 A (1) イ	○					○				○		45.0	15.3
	(4)		○	等式 $S = \frac{1}{2}ah$ を、 h について解く	等式を目的に応じて変形することができる	第2学年 A (1) ウ	○					○				○		36.4	26.7
2	(1)		○	連立方程式の解になっているかどうかを振り返るとき、適切なものを選ぶ	連立二元一次方程式の解の意味を理解している	第2学年 A (2) イ	○						○	○				67.5	3.9
	(2)		○	連立方程式 $\begin{cases} 2x + y = 2 \\ x - 3y = 15 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	第2学年 A (2) ウ	○					○				○		65.4	12.3
	(3)		○	22kmを2時間で走ったとき、時速12kmで x km、時速10kmで y km走ったとして、時間の関係を式で表す	数量の関係を捉え、連立二元一次方程式を立式することができる	第2学年 A (2) ウ	○						○			○		17.8	19.5
3	(1)		○	y が x の一次関数であるものを選ぶ	2つの数量の関係が一次関数になることを理解している	第2学年 C (1) ア			○				○	○				26.3	4.3
	(2)		○	一次関数 $y = 3x + 2$ のグラフの傾きを求める	一次関数 $y = ax + b$ の a が、グラフの傾きであることを理解している	第2学年 C (1) イ			○				○			○		54.4	15.5
	(3)		○	一次関数のグラフをもとに、 y を x の式で表す	一次関数のグラフから、 x と y の関係を式で表すことができる	第2学年 C (1) イ			○			○				○		62.4	11.2
	(4)		○	$2x + y = 8$ の解を座標とする点の全体を表したものを選ぶ	二元一次方程式の解とグラフの関係を理解している	第2学年 C (1) ウ			○				○	○				38.3	5.9
	(5)	①	○	2つの長方形が重なった部分の長さと重なった図形全体の面積の関係を表すグラフを選ぶ	与えられた事象における2つの数量の関係を表すグラフを指摘できる	第2学年 C (1) ア			○				○	○				22.0	7.0
		②	○	グラフが x 軸と平行になるときの式と変域を求める	具体的な事象を一次関数で捉え、ある区間の変化の様子を式で表すことができる	第2学年 C (1) アウ			○			○				○		4.7	49.3
4	(1)		○	四角形と五角形の外角の和について正しいものを選ぶ	多角形の外角の性質を理解している	第2学年 B (1) イ		○					○	○				64.1	2.4
	(2)		○	三角形の1つの外角を求める式を選ぶ	三角形の1つの外角と、それととなり合わない2つの内角の和の関係を理解している	第2学年 B (1) イ		○					○	○				57.5	2.2
	(3)		○	角の二等分線の作図が正しい理由を証明するとき、利用する三角形の合同条件を答える	証明を読み、用いられた三角形の合同条件を理解している	第2学年 B (2) ウ		○					○			○		59.4	14.3
	(4)		○	図で示された合同な三角形 ($\triangle ABC \equiv \triangle DEF$) において、対応する角の大きさを求める	合同な三角形の対応する角の大きさを求めることができる	第2学年 B (2) ウ		○				○				○		87.6	5.0
	(5)		○	二等辺三角形の2つの底角が等しいことの証明について、正しく述べているものを選ぶ	証明の意義について理解している	第2学年 B (2) イ		○					○	○				39.6	5.4
5	(1)		○	ハンドボール投げの記録から中央値（メジアン）を求める	表から中央値（メジアン）を求めることができる	第1学年 D (1) ア				○		○				○		27.8	16.5
	(2)		○	1ヶ月間の高知市の最高気温を表す2つのヒストグラムから読み取れる傾向として正しいものを選ぶ	目的に応じてヒストグラムから資料の傾向を読み取ることができる	第1学年 D (1) イ				○			○	○				28.6	4.7
6	(1)		○	連続する3つの自然数のうち、最も小さい数を奇数としたとき、連続する3つの自然数の和がどうなるかを予想する	発展的に考え、予想した事柄を説明することができる	第2学年 A (1) イ	○					○				○		25.6	34.6
	(2)		○	連続する3つの自然数のうち、最も小さい数を奇数としたとき、連続する3つの自然数を文字を使って正しく表したものを選ぶ	数量の関係や法則などを文字式で表したものを理解している	第2学年 A (1) イ	○						○	○				49.2	8.1
	(3)	①	○	連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を $2n$ としたとき、5つ連続する自然数を文字を使って表す	数量の関係や法則などを文字式で表すことができる	第2学年 A (1) イ	○					○				○		30.9	31.6
		②	○	連続する5つの自然数のうち、最も小さい数を 10 の倍数になることを説明する	事柄が成り立つ理由を、示された方針に基づいて説明することができる	第2学年 A (1) イウ	○					○				○		21.4	40.0

「太字」 は、高知県正答率80%以上

「白抜き」 は、高知県正答率40%未満

「白抜き」 は、10ポイントをこえる高知県無解答率

(7) 中学校理科

今回の調査から見える 〇成果 ●課題
経年比較による ☆成果 ★課題

エネルギー

第1学年	第2学年
●<u>4</u>(2)の正答率は39.1%で、実験結果を表した表を基にして、光が屈折するときの規則性を見いだすことについては、課題が見られる。 ●<u>4</u>(4)の正答率は1.8%で、光の進み方に関する身近な現象を、光の反射や屈折の実験結果から考察することについては、課題が見られ、無解答率は44.0%で、全設問の中で最も高い。	☆<u>4</u>(2)の正答率は34.2%で、電流計の読み方については、正答率は低いものの、昨年度調査と比べてやや改善傾向にある。(H24<u>4</u>(2):24.4%) ★<u>4</u>(3)の正答率は4.5%、無解答率は27.8%で、電熱線の並列つなぎなどに関する知識を活用して、実験方法を検討し、正しい実験方法を説明することについては、これまでの調査と同様に課題が見られる。(H24<u>2</u>(2):県4.9%、H24<u>4</u>(3):3.5%)

粒子

第1学年	第2学年
●<u>2</u>(1)の正答率は29.2%で、身の回りの物質の性質を基に、それらの性質に着目して物質を分類することについては、課題が見られる。 →P.59「中学校理科指導改善のポイント」へ ●<u>2</u>(3)の正答率は17.4%で、メスシリンダーの目盛りを読み、金属の体積を求めることについては、課題が見られる。	●<u>2</u>(2)の正答率は23.7%で、化学変化の前後で物質の質量が保存されることを理解することについては、課題が見られる。 ●<u>2</u>(4)の正答率は15.5%で、プラスチック容器内の酸素の体積を、メスシリンダーの水の体積を基に求めることについては、課題が見られる。

生命

第1学年	第2学年
○<u>1</u>(4)記号の正答率は91.3%で、タンポポの花のスケッチとして、適切なものを選ぶことについては、相当数の生徒ができています。 ●<u>1</u>(4)理由の正答率は19.7%で、2つのスケッチを比べ、その特徴と正しいスケッチのしかたを記述することについては、課題が見られる。	●<u>1</u>(2)の正答率は39.4%で、脊椎動物の分類名を共通する特徴を基に、整理することについては、課題が見られる。 ●<u>1</u>(6)の正答率は17.7%で、無脊椎動物と脊椎動物の体の特徴を比較し、共通する消化器官の働きを基に考察することについては、課題が見られ、無解答率は44.3%で、全設問の中で最も高い。

地球

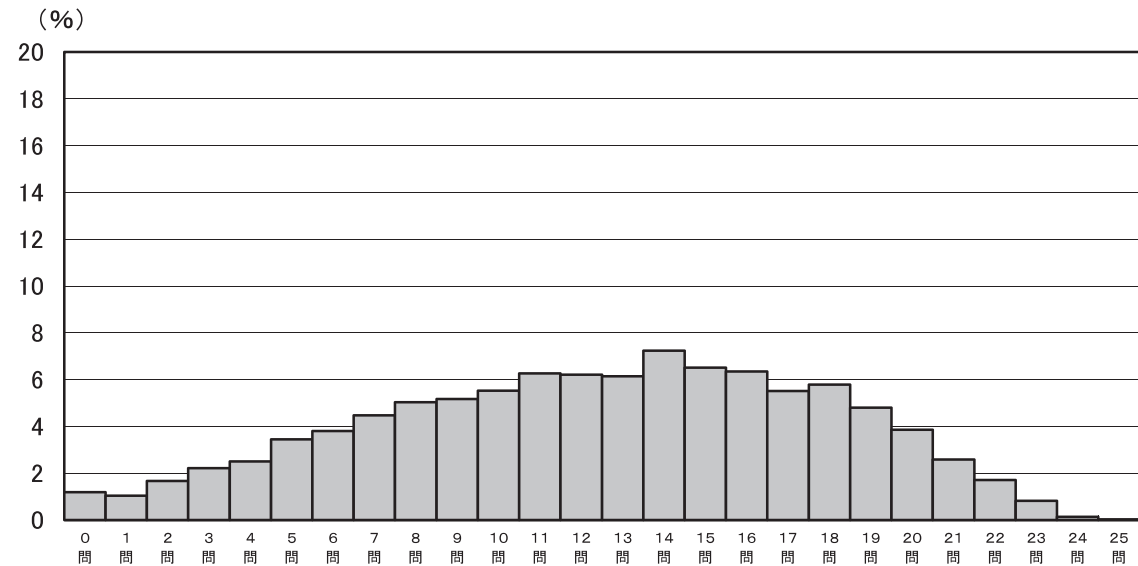
第1学年	第2学年
	☆<u>3</u>(2)の正答率は43.2%で、地層の広がりを考慮して地層の傾きを認識することについては、正答率は低いものの、昨年度の全国学力・学習状況調査と比べてやや改善傾向にある。(H24<u>3</u>(2):県32.8%) ★<u>3</u>(3)理由の正答率は2.7%で、地層観察の結果から、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察を検討し、回数の根拠を説明することについては、昨年度の全国学力・学習状況調査と同様に課題が見られる。(H24<u>3</u>(3):県7.0%)

中学校第1学年 理科
【分類・区分別の状況】

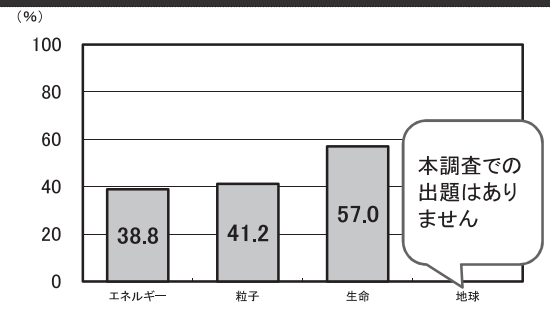
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,027	12.4 / 25	49.6

正答数 (割合(%))	
0問	1.2
1問	1.0
2問	1.7
3問	2.2
4問	2.5
5問	3.4
6問	3.8
7問	4.5
8問	5.0
9問	5.2
10問	5.5
11問	6.3
12問	6.2
13問	6.1
14問	7.2
15問	6.5
16問	6.3
17問	5.5
18問	5.8
19問	4.8
20問	3.9
21問	2.6
22問	1.7
23問	0.8
24問	0.1
25問	0.0

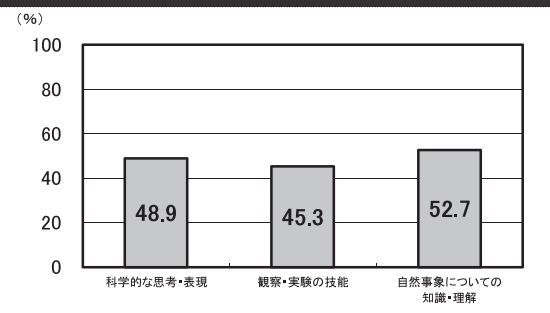
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



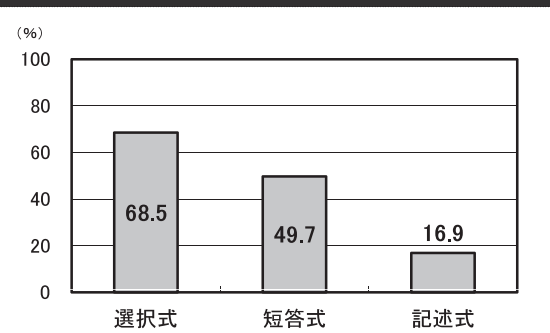
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○理科の平均正答率は49.6%で、例えば、次のような課題が見られた。

・身の回りの物質の性質を基に、それらの性質に着目して物質を分類すること

[2(1) 正答率29.2%、無解答率17.0%]

- ② 良太さんは、理科の授業で、「いろいろな物質を区別する方法を考えよう」という課題に取り組んでいます。先生が【準備した物質】は、下のとおりです。次の(1)から(5)の各問に答えなさい。

【準備した物質】

砂糖、ポリプロピレン、鉄、ポリエチレンテレフタレート、食塩、アルミニウム、銅、小麦粉

最初に、良太さんは先生が準備した物質の名称をヒントに、8種類の物質を次の3つに分類しました。

- ・白い粉…砂糖、食塩、小麦粉
- ・金属…銅、鉄、アルミニウム
- ・プラスチック…ポリプロピレン、ポリエチレンテレフタレート

そこで、良太さんはこれまでに学習した、白い粉(砂糖、食塩、小麦粉)の性質をまとめた表1を使って、3種類の物質を区別しようと考えました。

表1 砂糖、食塩、小麦粉の性質

方法	物質名	砂糖	食塩	小麦粉
色をみる	白	白	白	白
ルーペで観察する	結晶が見える	結晶が見える	結晶が見える	結晶が見えない
においをかぐ	ない	ない	ない	ない
水に少量とかす	とける	とける	とける	とけない
加熱した結果をみる	こげて炭になる	変わらない	変わらない	こげて炭になる

実験1 良太さんは、表1の方法の中から2つを選んで実験を行い、白い粉をそれぞれ砂糖、食塩、小麦粉に区別しました。

- (1) あなたなら、どのようにして白い粉を砂糖、食塩、小麦粉に区別しますか。表1の方法の中から2つを選んで、区別するための方法とその結果がわかるように書きなさい。

※学習シート等との関連

中学校1年生 高知県理科思考力問題集 中1-03

【設問別正答率】 中学校第1 学年理科

問題番号			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関連学習指導要領との	学習指導要領の領域等 エネルギー・粒子・生命・地球	評価の観点 科学的な思考・表現 観察・実験の技能 知識・理解 自然現象についての	問題形式			高知県	
大問	小問	選択式								短答式	記述式	正答率	無解答率	
1	(1)	ア	○	植物の生育場所の記録をもとに、環境を2つに分類する視点を表にあらはるよう答える	光と水の量に注目し、環境によって生育する植物の種類や生育状況に相違があることを見いだすことができる	第1学年2 (1) ア (ア)		○	○		○	75.1	6.0	
		イ	○	植物の生育場所の記録をもとに、環境を2つに分類する視点を表にあらはるよう答える	光と水の量に注目し、環境によって生育する植物の種類や生育状況に相違があることを見いだすことができる	第1学年2 (1) ア (ア)		○	○		○	77.2	6.2	
	(2)		○	植物の生育場所の記録をもとに、生育する植物を予想してその名称を答える	光と水の量に注目し、環境によって生育する植物の種類や生育状況に相違があることを見いだすことができる	第1学年2 (1) ア (ア)		○	○		○	72.9	9.2	
	(3)		○	取り出したタンポポの花を観察するときのルーペの使い方として、正しいものを選ぶ	観察器具（ルーペ）の適切な操作方法を身に付けている	第1学年2 (1) ア (ア)		○	○		○	64.4	1.3	
	(4)	記号	○	タンポポの花のスケッチとして、適切なものを選ぶ	観察記録の仕方の技能を身に付けている	第1学年2 (1) ア (ア)		○	○		○	91.3	3.5	
		理由	○	2つのスケッチを比べ、その特徴と正しいスケッチのしかたを答える	観察記録の仕方の技能を身に付けている	第1学年2 (1) ア (ア)		○	○			○	19.7	7.6
	(5)		○	資料の見え方の特徴を答える	観察器具（双眼実体顕微鏡）の適切な操作方法を身に付けている	第1学年2 (1) ア (ア)		○	○			○	33.7	12.6
2	(1)		○	砂糖、食塩、小麦粉の性質をもとに、分類方法とその結果を答える	身の回りの物質の性質を基に、それらの性質に着目して物質を分類することができる	第1学年1 (2) ア (ア)		○	○			○	29.2	17.0
	(2)		○	金属に共通する性質を答える	金属について、共通する性質があることを理解している	第1学年1 (2) ア (ア)		○			○	○	50.1	13.9
	(3)		○	メスシリンダーの読み方を読み、金属の体積を答える	実験器具（メスシリンダー）の読み方の技能を身に付けている	第1学年1 (2) ア (ア)		○		○		○	17.4	7.4
	(4)		○	質量と体積がわかっている金属の密度を求め、密度の表を使って金属の名称を答える	物質の密度に関する知識を身に付け、密度を基に物質を区別することができる	第1学年1 (2) ア (ア)		○	○			○	57.0	9.9
	(5)	物質	○	物質の密度の表を使って、水に浮いたプラスチックの名称を答える	物質の密度に関する知識を身に付けている	第1学年1 (2) ア (ア)		○			○	○	76.9	12.2
		理由	○	物質の密度をもとに、プラスチックが水に浮いた理由を答える	物質の密度に関する知識を身に付け、密度を基に物質を区別することができる	第1学年1 (2) ア (ア)		○	○			○	16.6	16.5
3	(1)		○	示された花の図にならって、アブラナの花のつくりを表した模式図を選ぶ	花のつくりの共通点や規則性に関する知識を活用して、アブラナの花のつくりを表しているものを選べる	第1学年2 (1) イ (ア)		○	○			○	61.9	2.1
	(2)	a	○	花のつくりの図と説明をもとに、おしべの先端部分の名称を答える	花のつくり（やく）を理解している	第1学年2 (1) イ (ア)		○			○	○	36.4	9.5
		b	○	花のつくりの図と説明をもとに、めしべのふくらんだ部分の名称を答える	花のつくり（めしべが柱頭、花柱、子房の3部分から成り立っていること）を理解している	第1学年2 (1) イ (ア)		○			○	○	57.4	11.1
	(3)		○	受粉後に種子になる部分の名称を答える	花の働きを理解している	第1学年2 (1) イ (ア)		○			○	○	59.2	13.7
	(4)		○	サクランボの花について、受粉とはどのようなことをいうかを答える	被子植物の花のつくりと働きについて理解している	第1学年2 (1) イ (ア)		○			○	○	23.3	19.1
	(5)		○	マツの花の図と特徴もとに、マツの雄花を選ぶ	裸子植物（マツ）の花のつくりを理解している	第1学年2 (1) イ (ア)		○				○	70.9	4.4
	(6)		○	優子さんが分類したものをとて、イチヨウがどのグループに入るかを選び、その理由となるイチヨウの花の特徴を選ぶ	花のつくりの共通点や規則性に関する知識を活用して、イチヨウを被子植物、裸子植物のいずれかに分類することができる	第1学年2 (1) イ (ア)		○	○			○	54.2	7.6
4	(1)		○	光が空気中から水中へ進む場合と水中から空気中へ進む場合のそれぞれの実験結果をもとに、入射角と反射角の大きさの関係を答える	実験結果を基にして、光が空気と水の境界面で反射するときの規則性を見いだすことができる	第1学年1 (1) ア (ア)	○		○			○	52.8	23.1
	(2)		○	光が水中から空気中へ進む場合の実験結果をもとに、入射角と屈折角の大きさの関係を答える	実験結果を基にして、光が空気と水の境界面で屈折するときの規則性を見いだすことができる	第1学年1 (1) ア (ア)	○		○			○	39.1	16.7
	(3)	①	○	光が水中から空気中へ進む場合の実験結果をもとに、入射角が49度よりも小さいときに光がどのように進んでいるのかを答える	光の屈折において、入射角と屈折角の関係を理解している	第1学年1 (1) ア (ア)	○				○	○	52.3	10.4
		②	○	光が、水中から空気中へ進むことができず、水面で反射する現象を答える	光の屈折において、入射角が大きくなると全反射が起こることを理解している	第1学年1 (1) ア (ア)	○				○	○	48.3	19.4
	(4)		○	水そうを上から見たときに、水そうの底が実際の深さよりも浅いところにあるように見える現象を、実験結果と図をもとに説明する	光の進み方に関する身近な現象を、光の反射や屈折の実験結果から考察することができる	第1学年1 (1) ア (ア)	○		○				○	1.8

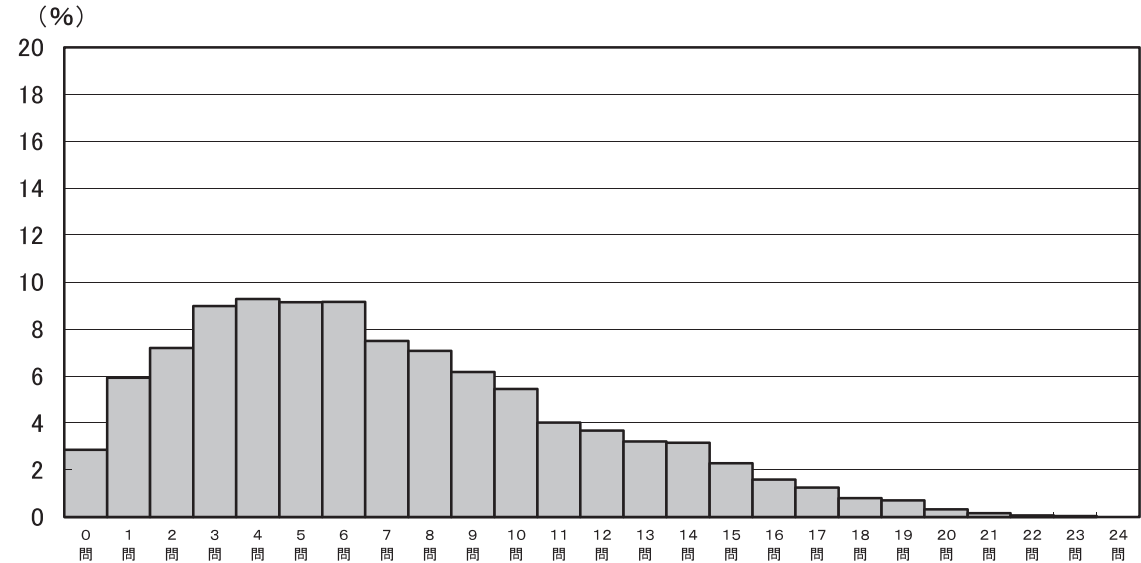
「太字」は、高知県正答率80%以上
「白抜き」は、高知県正答率40%未満
「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

中学校第2学年 理科
【分類・区分別の状況】

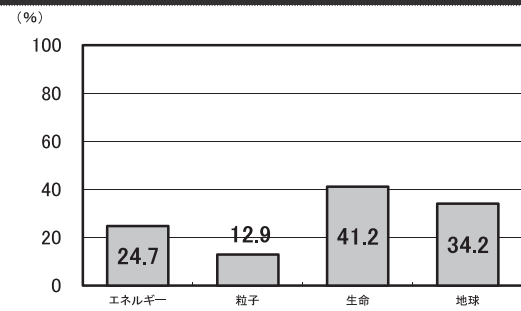
	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	4,977	7.0 / 24	29.1

正答数 (割合(%))	
0問	2.9
1問	5.9
2問	7.2
3問	9.0
4問	9.3
5問	9.1
6問	9.2
7問	7.5
8問	7.1
9問	6.2
10問	5.4
11問	4.0
12問	3.7
13問	3.2
14問	3.2
15問	2.3
16問	1.6
17問	1.2
18問	0.8
19問	0.7
20問	0.3
21問	0.2
22問	0.1
23問	0.0
24問	0.0

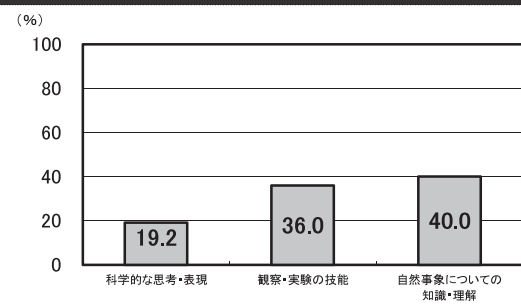
正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



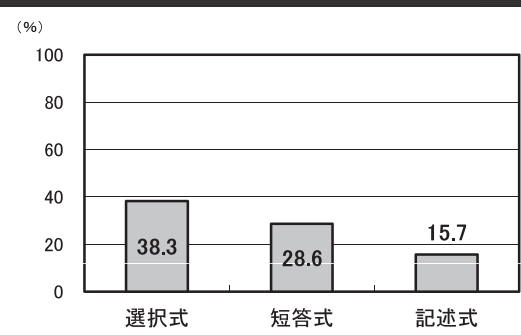
学習指導要領の領域・内容



評価の観点



問題形式



○理科の平均正答率は29.1%で、例えば、次のような課題が見られた。

- ・火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察すること
- ・火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察し、根拠を示して、改善した考察を説明すること

〔 3(3)記号 正答率 23.1%、無解答率 5.3%
理由 正答率 2.7%、無解答率29.3% 〕

- (3) 火山活動が活発だった時期の回数は、少なくとも何回と考えられますか。最も適切なものを下のアからオまでの中から1つ選び、その記号を書きなさい。また、回数をそのように考えた理由を、図4をもとにして書きなさい。

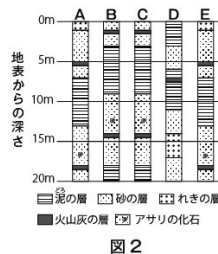


図2

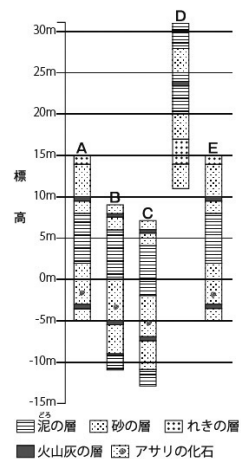


図4

ア 2回 イ 3回 ウ 4回 エ 5回 オ 7回

※学習シート等との関連

中学校1年生 高知県理科思考力問題集 中1-10

【設問別正答率】 中学校第2学年理科

問題番号		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学 連 習 指 導 要 領 と の	学習指導要領の領域等				評価の観点		問題形式			高知県			
大	小						エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率	
1	(1)		○	セキツイ動物と無セキツイ動物を区別するための特徴を答える	脊椎動物と無脊椎動物に関する知識を身に付けている	第2学年2 (3)ウ(ア)			○			○		○		57.6	14.9		
	(2)		○	セキツイ動物の分類名を共通する特徴をもとに、並べかえたものを選ぶ	脊椎動物を体の特徴を基に、表にまとめることができる	第2学年2 (3)ウ(ア)			○		○					39.4	1.5		
	(3)		○	無セキツイ動物のカニやエビの分類名を答える	節足動物に関する知識を身に付けている	第2学年2 (3)ウ(イ)			○			○				54.4	11.4		
	(4)		○	解剖ばさみの丸くなっている方をイカの体の中に入れて使う理由を答える	観察器具（解剖ばさみ）の適切な操作方法を身に付けている	第2学年2 (3)ウ(イ)			○			○				41.4	21.3		
	(5)		○	イカの呼吸器官の名称を答える	軟体動物（イカ）の体のつくりの特徴を理解している	第2学年2 (3)ウ(イ)			○			○				36.5	20.5		
	(6)		○	イカやアジの肝臓が大きいことは、泳ぎ続けることに役立っていると考えた理由を、ヒトの肝臓のはたらきをもとに説明する	無脊椎動物と脊椎動物の体の特徴を比較し、共通する消化器官の働きを基に考察することができる	第2学年2 (3)イ(ア)			○		○					17.7	44.3		
2	(1)	I	○	割りばしを燃やすと塩化コハロイド紙を桃色（赤色）に変化させる気体が発生することから、割りばしをつくっている原子を求め、原子の記号を答える	物質を酸化する実験を行い、結果を分析して解釈し、酸化して生成した物質から元の物質をつくっている原子を推定し、原子の記号を使って表すことができる	第1学年1 (2)ア(ア) 第2学年1 (4)ア(イ)		○			○			○		10.7	29.8		
		II	○	割りばしを燃やすと石灰水が白くにごる気体が発生することから、割りばしをつくっている原子を求め、原子の記号を答える	物質を酸化する実験を行い、結果を分析して解釈し、酸化して生成した物質から元の物質をつくっている原子を推定し、原子の記号を使って表すことができる	第1学年1 (2)ア(ア) 第2学年1 (4)ア(イ)		○			○			○		11.7	25.9		
	(2)		○	化学変化の前後で質量がどのように変化するかを答える	化学変化と質量の保存について理解している	第2学年1 (4)ウ(ア)		○				○			○		23.7	13.0	
	(3)		○	カイロが入ったプラスチック製の容器がつぶれる理由を、気圧という言葉を使って説明する	大気圧について理解している	第1学年1 (1)イ(イ)	○						○			○		27.9	19.0
	(4)		○	プラスチック容器内の酸素の体積を、メスシリンダーの水の体積をもとに答える	質量変化の規則性を基に、メスシリンダーの読みを読む技能を使って、容器内に含まれていた酸素の体積を求めることができる	第1学年1 (2)ア(ア) 第2学年1 (4)ウ(イ)		○			○					○		15.5	26.0
	(5)		○	容器内に入った水の体積をもとに、空気中に含まれる酸素の体積の割合を答える	実験結果を基に、空気中に含まれる酸素の割合を求めることができる	第2学年1 (4)ウ(イ)		○				○				○		3.0	40.3
3	(1)	①	○	野外観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能において、着目する事象を答える	野外観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能を身に付けている	第1学年2 (2)イ(ア)				○		○			○		51.3	24.3	
		②	○	野外観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能において、観察器具の名称を答える	野外観察で、「地層のつながりや広がり方」と「地層の成因」を調べるための技能を身に付けている	第1学年2 (2)イ(ア)				○		○			○		42.6	12.8	
	(2)		○	地層観察の結果から、観察地における地層のつながり方を考察し、地層の傾いている方向を選ぶ	観察地における地層の広がりに方について、観察地の図と観察結果から分析して解釈し、地層の傾きを認識して、その傾きの方向を指摘することができる	第1学年2 (2)イ(ア)				○	○			○		43.2	4.0		
	(3)	記号	○	柱状図から、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察を検討し、適切な回数を選ぶ	火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察することができる	第1学年2 (2)イ(ア)				○			○			○		23.1	5.3
		理由	○	柱状図から、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察を検討し、適切な回数を選び、その根拠を説明する	火山や地層、堆積岩の知識を活用し、過去の火山活動が活発だった時期の回数について考察し、根拠を示して改善した考察を説明することができる	第1学年2 (2)イ(ア)				○	○				○		2.7	29.3	
	(4)	水溶液	○	石灰石を見分ける技能において、そのとき使用する水溶液の名称を答える	「石灰岩（石灰石）にうすい塩酸をかけると二酸化炭素が発生する」という石灰岩の見分け方に関する技能を身に付けている	第1学年1 (2)ア(イ)				○		○				○		47.6	6.9
説明	○	石灰石を見分ける技能において、使用した水溶液で起こる現象を説明する	「石灰岩（石灰石）にうすい塩酸をかけると二酸化炭素が発生する」という石灰岩の見分け方を説明することができる	第1学年1 (2)ア(イ)				○	○					○		28.6	27.3		
4	(1)		○	回路図をもとに、電源装置、電流計、電圧計、電熱線を導線でつなぐ	回路図を基に、回路を完成させることができる	第2学年1 (3)ア(ア)	○					○			○		19.9	9.2	
	(2)		○	電圧が4.0Vのときの電流計の図から、電流計の大きさを読みとり答える	電流計の読み方の技能を身に付けている	第2学年1 (3)ア(ア)	○					○			○		34.2	7.5	
	(3)		○	1つの回路で、2つの実験と同じ結果を得るための測定方法を説明する	電熱線の並列つなぎなどに関する知識を活用して、実験方法を検討し、正しい実験方法を説明することができる	第2学年1 (3)ア(ア)	○				○				○		4.5	27.8	
	(4)		○	電熱線に加えた電圧の大きさとそのときに流れる電流の大きさの表をもとに、グラフをかく	電圧と電流の関係の表を基に、グラフをかくことができる	第2学年1 (3)ア(ア)	○					○			○		48.3	23.5	
	(5)		○	電熱線に加えた電圧の大きさとそのときに流れる電流の大きさの表をもとに、抵抗の直列回路において、電源にかかる電圧を求め、選ぶ	電熱線の直列回路の電圧・電流の関係を利用して、電圧の大きさを求めることができる	第2学年1 (3)ア(ア)	○				○				○		13.7	9.2	

「白抜き」は、高知県正答率40%未満

「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

(8) 中学校外国語(英語)

今回の調査から見える ○成果 ●課題
経年比較による ☆成果 ★課題

聞くこと

第1学年	第2学年
○1 (1) の正答率は96.1%で、単語(book)の発音と綴りの関係に気付き、正しく書くことについては、相当数の生徒ができています。 ●3 (2) の正答率は69.2%で、質問や依頼など(ダイアログ)を聞いて適切に応じる(Yes, she does.)ことについては、課題が見られる。	○1 の正答率は(1)97.6%、(2)92.8%で、自然な口調で話されたり読まれたりする英語(モノログ)を聞いて、キーワードとなる語句を正確に聞き取ることについては、相当数の生徒ができています。

読むこと

第1学年	第2学年
○6 の正答率は77.1%で、説明文の大切な部分(各部活動の部員数を表したグラフの項目)などを正確に読み取ることについては、相当数の生徒ができています。 ●5 (3) の正答率は31.1%で、対話文に入る適切な語句(his)を選ぶことについては、課題が見られる。	○8 (1) ②の正答率は83.8%で、まとまりのある英語(招待状)を読んで、概要を読み取ることについては、相当数の生徒ができています。 ☆4 (3) の正答率は71.8%で、対話文に入る適切な語句(because)を選ぶことについては、昨年度調査と比べて改善傾向にある。 (H244(3) : 56.8%) ●6 の正答率は39.2%で、まとまりのある英語(対話文)を読んで、それを要約した文にあてはまる英語を選ぶことについては、課題が見られる。

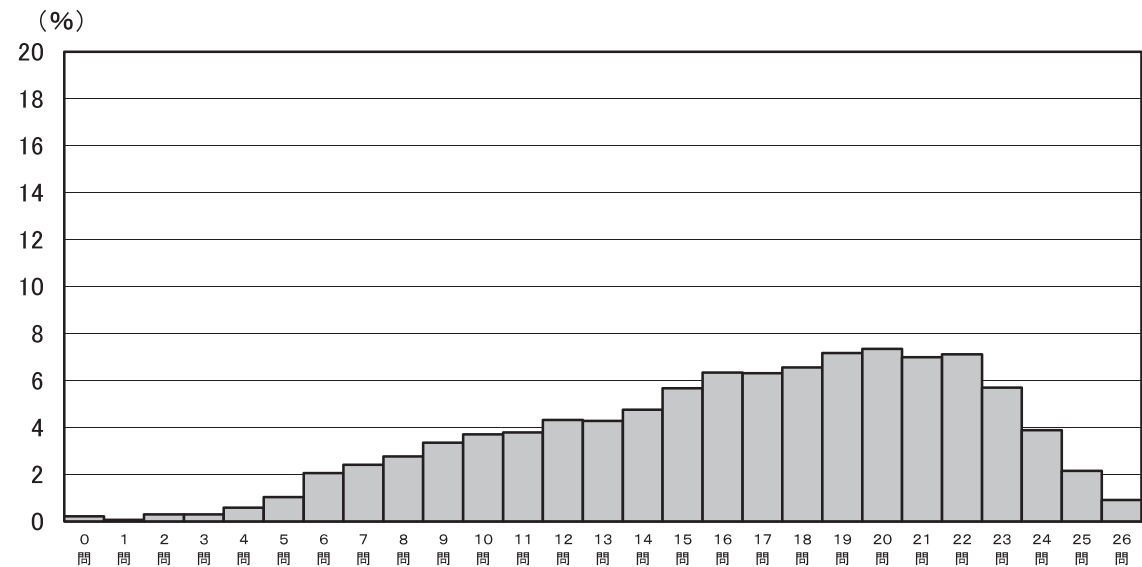
書くこと

第1学年	第2学年
○9 (3) の正答率は76.9%で、語と語のつながりに注意して正しく文(Do you have any)を書くことについては、相当数の生徒ができています。 ●10 ③の正答率は25.4%で、資料(自己紹介メモ)を基に、語と語のつながりに注意して相手に質問をすることについては、課題が見られ、無解答率は19.3%で、全設問の中で最も高い。	☆9 (1) の正答率は18.9%で、語と語のつながりに注意して、正しい語順に並べかえる問題(疑問詞+名詞から始まる疑問文)については、昨年度調査と比べてやや改善は見られるが、まだ十分な定着状況とは言えない。 (H249(1) : 9.8%) ★11 (3) の正答率は9.9%で、条件に基づいて、英文を書くことについては、昨年度調査と同様に課題が見られる。 (H2411(2) : 10.5%) →P. 61「中学校外国語指導改善のポイント」へ

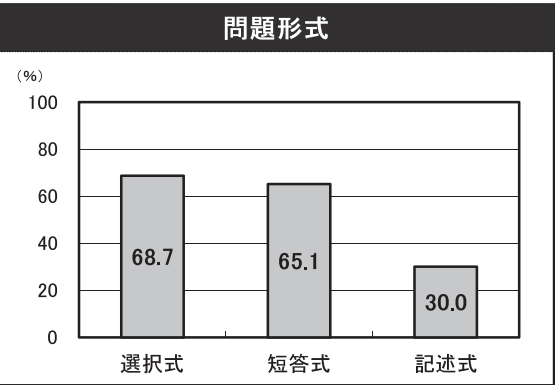
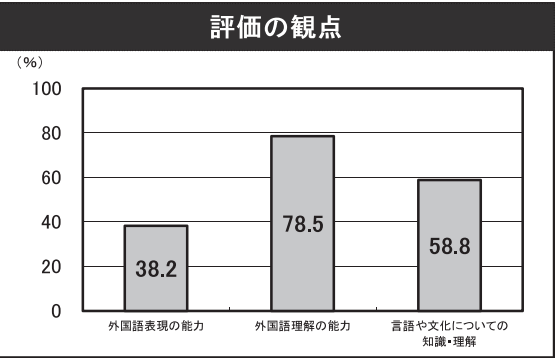
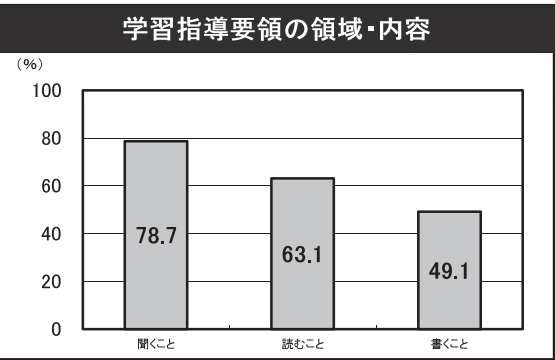
中学校第1学年 外国語(英語)
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	5,024	16.4 / 26	63.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.1
2問	0.3
3問	0.3
4問	0.6
5問	1.0
6問	2.1
7問	2.4
8問	2.8
9問	3.3
10問	3.7
11問	3.8
12問	4.3
13問	4.3
14問	4.8
15問	5.7
16問	6.3
17問	6.3
18問	6.5
19問	7.2
20問	7.3
21問	7.0
22問	7.1
23問	5.7
24問	3.9
25問	2.1
26問	0.9



○外国語(英語)の平均正答率は63. 2%で、例えば、
次のような課題が見られた。
・資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書くこと

10①②③

正答率①31. 1%、無解答率①14. 3%
②33. 6%、②18. 3%
③25. 4%、③19. 3%

10 山田さんと田中さんは、留学生のナンシー(Nancy)に、自己紹介をするようになりました。下は、山田さんと田中さんの【自己紹介メモ】です。あなたは、2人のうち、どちらか1人を選び、その人自身になったつもりで自己紹介をするしたら、どのように自己紹介をしますか。解答用紙にある「選んだ人」の2人のうち、1人を選んで○で囲みなさい。また、その選んだ人について【自己紹介文の原稿】の④から⑥について、それぞれ英語で書き、【自己紹介文の原稿】を完成させなさい。 ◎◎◎

【自己紹介メモ】

山田 恵里 Yamada Eri ・高知出身 ・動物が好き・・・・・・・・① ・犬を一匹飼っている・・・・② ・①、②に関連したことを、ナンシーに対して質問する(例えば、動物や犬に関連して質問する英文)・・・・③	田中 明 Tanaka Akira ・高知出身 ・国語が好き・・・・・・・・① ・毎日、本を読む・・・・② ・①、②に関連したことを、ナンシーに対して質問する(例えば、国語や本を読むことに関連して質問する英文)・・・・③
--	--

【自己紹介文の原稿】

選んだ人	山田 恵里 (Yamada Eri) ・ 田中 明 (Tanaka Akira) ※選んだ人を○で囲みなさい。
Hello, Nancy. My name is (Yamada Eri または Tanaka Akira) . I'm from Kochi.	
①	_____
②	_____
③	_____

※解答は、必ず解答用紙に書きなさい。

※学習シート等との関連
英語ライティングシート Ⅲテーマ作文編

【設問別正答率】 中学校第1学年外国語（英語）

問題番号		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学連 学習指導要領との	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県	
大問	小問						聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語・文化についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率
1	(1)		○	発音される単語（book）を聞いて、つづりを完成させる	発音と綴りの関係に気付き、正しく書く	聞くこと	○				○			○		96.1	0.6
	(2)		○	発音される単語（cap）を聞いて、つづりを完成させる	発音と綴りの関係に気付き、正しく書く	聞くこと	○				○			○		75.7	1.0
2	(1)		○	語句（a dog and two cats）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	聞くこと（イ）	○				○			○		95.4	0.3
	(2)		○	語句（guitar on the bed）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	聞くこと（イ）	○				○			○		77.6	0.3
	(3)		○	語句（six forty）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	聞くこと（イ）	○				○			○		78.6	0.4
3	(1)		○	対話を聞いて、適切に responding しているもの（ Yes, I am. ）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に反応する	聞くこと（ウ）	○				○			○		77.4	0.4
	(2)		○	対話を聞いて、適切に responding しているもの（ Yes, she does. ）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に反応する	聞くこと（ウ）	○				○			○		69.2	0.6
	(3)		○	対話を聞いて、適切に responding しているもの（ I have twenty. ）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に反応する	聞くこと（ウ）	○				○			○		75.5	0.7
4	(1)		○	対話の中の＜on Mondays and Thursdays＞を聞き取り、適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて概要や要点を聞き取る	聞くこと（オ）	○				○			○		74.4	0.5
	(2)		○	対話の中の＜play the guitar every day＞を聞き取り、適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて概要や要点を聞き取る	聞くこと（オ）	○				○			○		66.8	0.5
5	(1)		○	対話文に入る適切な語句（ How ）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などの知識を身に付けている	読むこと		○				○	○			73.9	0.9
	(2)		○	対話文に入る適切な語句（ plays ）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などの知識を身に付けている	読むこと		○				○	○			63.0	1.0
	(3)		○	対話文に入る適切な語句（ his ）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などの知識を身に付けている	読むこと		○				○	○			31.1	1.1
	(4)		○	対話文に入る適切な語句（ on ）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などの知識を身に付けている	読むこと		○				○	○			70.3	1.1
6			○	【説明原稿】を読んで、〔各部活動の部員数〕を表したグラフの中の項目として正しいものを選ぶ	説明文の大切な部分などを正確に読み取る	読むこと（ウ）		○			○			○		77.1	2.4
7	(1)		○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜ Where do you live? ＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く	書くこと			○	○				○		65.2	2.4
	(2)		○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜ Is it yours? ＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く	書くこと			○	○				○		35.7	2.6
8	(1)		○	必要に応じて大文字や符号を使用しながら正確に＜I'm a baseball player.＞と筆記する	文字、符号を識別し、語と語の区切りに注意して正しく書く	書くこと（ア）			○			○		○		53.0	7.0
	(2)	Jane	○	必要に応じて大文字や符号を使用しながら正確に＜Do you play soccer?＞と筆記する	文字、符号を識別し、語と語の区切りに注意して正しく書く	書くこと（ア）			○			○		○		65.4	8.7
		Mike	○	必要に応じて大文字や符号を使用しながら正確に＜No, I don't.＞と筆記する	文字、符号を識別し、語と語の区切りに注意して正しく書く	書くこと（ア）			○			○		○		54.6	9.2
9	(1)		○	＜Is it your new＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○			○		○		28.8	5.9
	(2)		○	＜How about you＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○			○		○		70.7	5.3
	(3)		○	＜Do you have any＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○			○		○		76.9	5.5
10	①		○	自己紹介メモをもとに、選んだ人物の自己紹介をする文を書く	資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○	○					○	31.1	14.3
	②		○	自己紹介メモをもとに、選んだ人物の自己紹介をする文を書く	資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○	○					○	33.6	18.3
	③		○	自己紹介メモに関連して、相手に質問をする文を書く	資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○	○					○	25.4	19.3

「太字」は、高知県正答率80%以上

「白抜き」は、高知県正答率40%未満

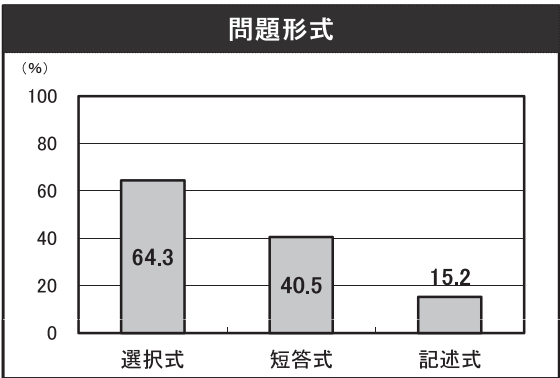
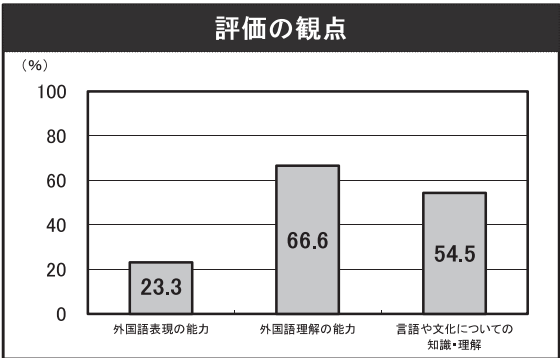
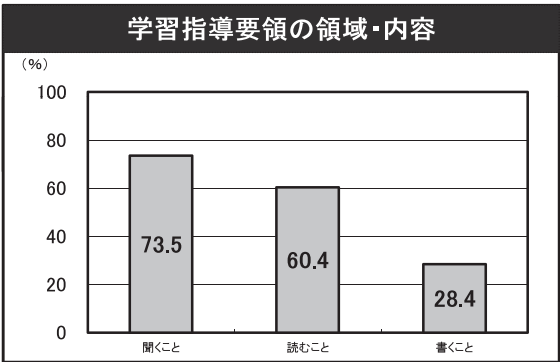
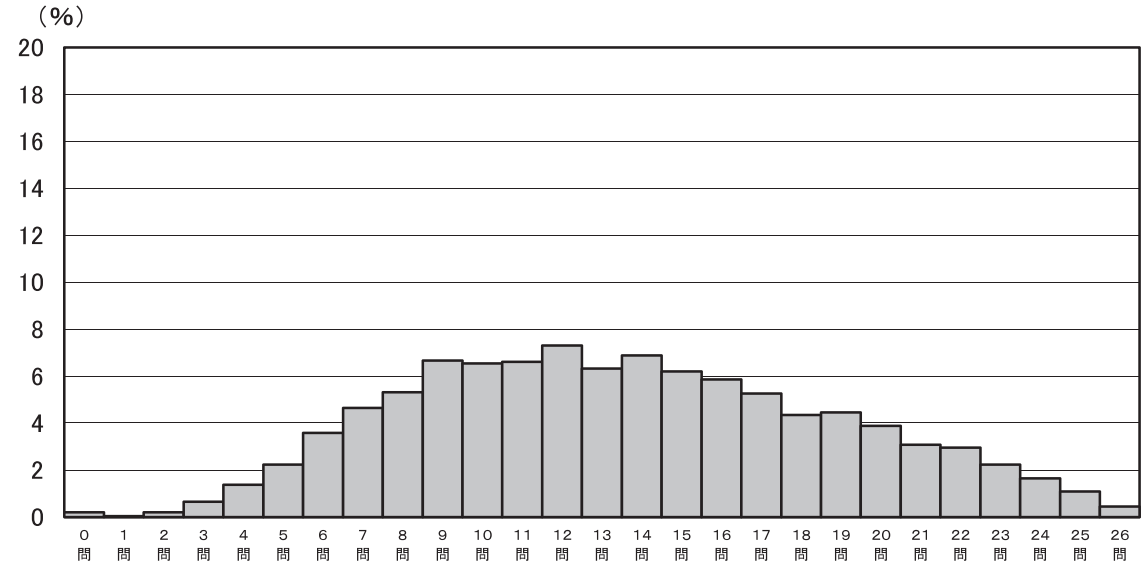
「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

中学校第2学年 外国語(英語)
【分類・区分別の状況】

	生徒数	平均正答数	平均正答率
高知県	4,968	13.6 / 26	52.1

正答数 (割合(%))	
0問	0.2
1問	0.0
2問	0.2
3問	0.6
4問	1.4
5問	2.2
6問	3.6
7問	4.6
8問	5.3
9問	6.7
10問	6.5
11問	6.6
12問	7.3
13問	6.3
14問	6.9
15問	6.2
16問	5.9
17問	5.3
18問	4.3
19問	4.4
20問	3.9
21問	3.1
22問	3.0
23問	2.2
24問	1.7
25問	1.1
26問	0.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数、縦軸:割合)



○外国語(英語)の平均正答率は52.1%で、例えば、次のような課題が見られた。
・資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書くこと

11(1)(2)(3)

正答率(1)26.8%、無解答率(1)16.2%
(2)12.3%、無解答率(2)20.2%
(3)9.9%、無解答率(3)23.3%

11 あなたの学級では、英語の授業で、新しいALTのジェイン (Jane) 先生に学級の友だちを紹介することになりました。下の【メモ】は、3人の友だちのことを簡単に紹介したものです。3人のうち、1人を選んで紹介するとしたら、どのように紹介しますか。解答用紙にある「紹介する友だち」の3人のうち、1人を選んで○で囲みなさい。また、その友だちのことを紹介する【メモ】(1)から(3)についてそれぞれ英語で書き、【発表原稿】を完成させなさい。

健太 (Kenta) の紹介 (1) 好きな教科 : 国語 (2) 得意なこと : サッカーをすること (3) 将来の夢 : サッカー選手になりたい	
真紀子 (Makiko) の紹介 (1) 好きな教科 : 英語 (2) 得意なこと : ピアノをひくこと (3) 将来の夢 : 中国に行きたい	
雄二 (Yuji) の紹介 (1) 好きな教科 : 数学 (2) 得意なこと : コンピュータを使うこと (3) 将来の夢 : 数学の先生になりたい	

【発表原稿】

紹介する友だち 健太 (Kenta) ・ 真紀子 (Makiko) ・ 雄二 (Yuji)
※ 選んだ人を○で囲みなさい。

I'll talk about (紹介する友だちの名前) .

(1) _____

(2) _____

(3) _____

※ 解答は、必ず解答用紙に書きなさい。

※学習シート等との関連
英語ライティングシート Ⅲテーマ作文編

【設問別正答率】 中学校第2学年外国語（英語）

問題番号		主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	問題の内容	出題のねらい	関学連 習指導要領との	学習指導要領の領域等			評価の観点			問題形式			高知県	
大問	小問						聞くこと	読むこと	書くこと	外国語表現の能力	外国語理解の能力	知識・理解 言語や文化についての	選択式	短答式	記述式	正答率	無解答率
1	(1)		○	語句（ cold ）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	聞くこと（イ）	○				○		○			97.6	0.3
	(2)		○	語句（ use, sit down ）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	聞くこと（イ）	○				○		○			92.8	0.4
	(3)		○	語句（ January thirteenth ）を聞き取り、適切なものを選ぶ	自然な口調で話されたり読まれたりする英語（モノログ）を聞いて、情報を正確に聞き取る	聞くこと（イ）	○				○		○			62.6	0.3
2	(1)		○	対話を聞いて、適切に responding しているもの（Yes, she does.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に答える	聞くこと（ウ）	○				○		○			70.2	0.4
	(2)		○	対話を聞いて、適切に responding しているもの（He's my brother.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に答える	聞くこと（ウ）	○				○		○			65.4	0.9
	(3)		○	対話を聞いて、適切に responding しているもの（Near the station.）を選ぶ	質問や依頼など（ダイアログ）を聞いて適切に答える	聞くこと（ウ）	○				○		○			61.5	0.8
3	(1)		○	対話の中の＜ March ＞を聞き取り、適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて概要や要点を聞き取る	聞くこと（オ）	○				○		○			64.2	0.5
	(2)		○	対話の中の＜ We start to study English when we are eight years old. ＞を聞き取り、適切なものを選ぶ	まとまりのある英語を聞いて概要や要点を聞き取る	聞くこと（オ）	○				○		○			74.1	0.6
4	(1)		○	対話文に入る適切な語句（ cooking ）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などの知識を身に付けている	読むこと		○				○	○			73.5	0.5
	(2)		○	対話文に入る適切な語句（ looks ）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などの知識を身に付けている	読むこと		○				○	○			60.1	0.7
	(3)		○	対話文に入る適切な語句（ because ）を選ぶ	「読むこと」に必要な語句や表現、文法などの知識を身に付けている	読むこと		○				○	○			71.6	0.6
5			○	伝言や手紙文を読んで、その内容にあてはまる日本語を選ぶ	伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に答える	読むこと（エ）		○			○		○			41.8	0.8
6			○	対話文を読んで、それを要約した文にあてはまる英語を選ぶ	まとまりのある英語を読んで、概要を読み取る	読むこと（ワ）		○			○		○			39.2	1.1
7			○	対話文を読んで、3人の参加するボランティア活動を選ぶ	まとまりのある英語を読んで、概要を読み取る	読むこと（ワ）		○			○		○			76.6	1.0
8	(1) ①		○	招待状を読んで、その内容にあてはまる英語を選ぶ	まとまりのある英語を読んで、概要を読み取る	読むこと（オ）		○			○		○			36.5	1.1
	(1) ②		○	招待状を読んで、その内容にあてはまる英語を選ぶ	まとまりのある英語を読んで、概要を読み取る	読むこと（オ）		○			○		○			83.8	1.1
	(2) ①		○	招待状を読み取り、【あなたの1月の予定の一部】を相手にメールの返事を書く	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどとする	書くこと（ウ）			○	○				○		13.2	26.2
	(2) ②		○	招待状を読み取り、【あなたの1月の予定の一部】を相手にメールの返事を書く	聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどとする	書くこと（ウ）			○	○				○		13.7	28.7
9	(1)		○	＜ What + 名詞 ＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○			○		○		18.9	3.2
	(2)		○	＜ to不定詞 ＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○			○		○		30.6	3.9
	(3)		○	＜ 疑問詞When ＞を使った表現を理解して、正しい語順に並べて書く	語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○			○		○		72.1	3.7
10	(1)		○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜ What time did you come? ＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く	書くこと			○	○				○		45.8	1.7
	(2)		○	対話の流れを考えて、意味が通るように＜ Where were you? ＞を選ぶ	文と文のつながりに注意して書く	書くこと			○	○				○		41.1	1.8
11	(1)		○	自分が紹介する友だちの好きな教科について、like, 教科名等を使って書く	資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○	○					○	26.8	16.2
	(2)		○	自分が紹介する友だちの得意なことについて、can等を使って書く	資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○	○					○	12.3	20.2
	(3)		○	自分が紹介する友だちの将来の夢について、want to ～等を使って書く	資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書く	書くこと（イ）			○	○					○	9.9	23.3

「太字」は、高知県正答率80%以上
「白抜き」は、高知県正答率40%未満
「白抜き」は、10ポイントをこえる高知県無解答率

調査結果の分析から授業改善へ



調査実施後すぐに	自校採点による 課題把握	☐ 調査が終わったら、すみやかに採点を行い、児童生徒の定着状況を把握する。 ☐ 教科全体や教科の観点別の正答率の状況を確認する。 ☐ 設問ごとに正答率を見て、どの設問に課題が見られるのかを確認する。	学級担任や教科担任だけでなく、学年団や学校全体で採点をし、子どもたちの実態を全体で把握する。 各教科で課題を抽出し、手立てを考える。
	検証・実践	☐ 自校採点の結果から、その要因について分析を行い、今後の授業等での取り組みを確認する。	学校全体で分析を共有し、全ての教科で今後の手立てを考え、取り組む。
	分析	☐ 正答率が高かった問題について、取り組みの「何に効果があったのか」という視点から分析を行う。 ☐ 正答率が低かった問題について、「なぜできなかったのか」「どこにつまずいているのか」という視点から解答類型を活用し、課題を分析する。	自校採点後に確認した手立て等を踏まえ、学校としての授業改善の方向性を校内研修等で確認する。
結果返却後	改善策	☐ 課題の見られる指導事項を定着させるため、「いつまでに・何を・どうするのか」ということを含む具体的な目標を設定する。 ☐ 指導方法や学習活動にどのような工夫をすればよいかを具体的に考える。	日々の授業の中ですぐに対応できるものについては、具体的な手立てを年間指導計画に反映させ、即時的に取り組む。
	実践	☐ 知識を定着させるために授業展開を工夫する。 ☐ 思考力・判断力・表現力等を身に付けさせるために指導方法を工夫する。	教科の枠を越え、各教科で課題に対応できるように取り組む。
日々の授業で	検証	☐ ノートやレポートへの記入状況から子どもたちの変容を分析する。 ☐ 評価問題として学力定着状況調査問題や学習シート等を使い、指導改善の取り組みの効果を分析する。	改善策の効果を分析し、指導内容の定着を捉える。
	年度末に 検証結果の 反映	☐ 実践の検証を踏まえ、次年度の年間指導計画を見直す。	即時的な対応が難しいものは、年間指導計画を見直し、継続して指導を行う。

上記の取り組みを参考に、短期的なPDCAサイクルを積み重ね、課題に対して迅速に、きめ細かく対応していきましょう。

次年度へ

各教科の指導改善のポイントについて

今回の調査問題を活用し、今後の指導改善を進めるためのポイントとして、以下の①～④の流れを示しました。また、P.47～62には、各教科における課題が見られる問題の指導改善のポイントと授業アイデア例を示していますので、ぜひ参考にしてください。

小学校国語 指導改善のポイント（第5学年）

○話すこと・聞くこと、読むこと
目的や意図に応じて、資料を読み取ったり情報を整理したりしながら、自分の考えをまとめて発表する言語活動の充実

【課題が見られる設問の例】 問題6

①《出題のねらい》
相手の話の内容を十分に聞き取った上で、発表原稿をまとめて直すことができるかどうかをみる。

②《学習指導要領における領域・内容》
A話すこと・聞くこと（第5学年及び第6学年）
(1)イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。《話すこと》
(1)エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。《聞くこと》

C読むこと（第5学年及び第6学年）
(1)ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえて、自分の考えを明確にしながらかんたんとすること。《説明的な文章の解釈》

【類似問題】問題9
一 イベント情報の一部と会話から、Tシャツアート展に参加する日を書く。
二 イベント情報の一部と会話から、イベント会場をまわる順番を選ぶ。

② 解答類型	反応率(%)	正答
1 3と解答しているもの	52.1	◎
2 1と解答しているもの	25.8	
3 2と解答しているもの	11.4	
4 4と解答しているもの	9.7	
9 上記以外の解答	0.1	
0 無解答	0.9	

○誤答として、「体力は上がってきている」との解答（解答類型2）が25.8%であることから、【発表原稿について】の話し合いの一部の内容を捉えることができていない。その要因としては、【資料】が走力における変化を表しているものであることの理解ができていないと考えられる。特に、島村さんの発言「【資料】は、50メートル走の結果だけを折れ線で表しているの、体力の変化について表したのではないと思う。走力がどのように変化しているかを表していると思う。」の部分が読み取れていないことになる。

③ 学習指導に当たって

(1) 図表や絵、写真などの資料を取り上げ、そこから読み取ったことを基にして話したり、聞いたりする学習活動を行う必要がある。
(2) 発表原稿の工夫と合わせて資料から読み取ったことやまとめたことなど、資料を提示しながら発表する学習活動を仕組むことが大切である。
(3) 発表原稿が、自分の意図や考え、思いが聞き手にわかりやすい内容になっているか、また、資料や数値に基づいたものであるかなど、推敲することが重要である。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート 8.4
「調べた結果をまとめよう」

【全国学力・学習状況調査との関連】
平成20年度 A[6] 平成21年度 B[2] 平成24年度 B[2]

指導改善のポイント

今回対象とした設問について、どのような活動を行うのか、どのような力を身に付けさせたいのかを記述しています。

①

調査問題の出題のねらいと学習指導要領における領域・内容を記述しています。

②

解答類型別反応率と児童生徒の解答状況から分析した誤答の傾向を記述しています。

③

課題解決を図る授業づくりの参考となるよう、学習指導におけるポイントを記述しています。このことを踏まえて、授業アイデア例を作成しています。

※1 単位時間あるいは1単元の指導において、注目・留意していただきたい点を示しています。

④

評価問題などとして活用できる学習シート等を示しています。

課題解決のための授業を实践し、改善策の効果を分析し、指導内容の定着を捉えましょう。

学力調査の結果を基に、課題を抽出・分析し、授業改善へとつなげることが重要です。

課題について、日々の授業の中で、すぐに対応できるものについては、具体的な手立てを単元ごとの指導計画に反映させ、即時的に取り組んでいきましょう。その際、「いつまでに・何を・どうするのか」ということを含む具体的な目標を設定することが、効果的な指導を行うことにつながります。



小学校国語 指導改善のポイント（第5学年）

○話すこと・聞くこと、読むこと

目的や意図に応じて、資料を読み取ったり情報を整理したりしながら、自分の考えをまとめて発表する言語活動の充実

【課題が見られる設問の例】 問題6

① 《出題のねらい》

相手の話の内容を十分に聞き取った上で、発表原稿をまとめ直すことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

A 話すこと・聞くこと（第5学年及び第6学年）

（1）イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。《話すこと》

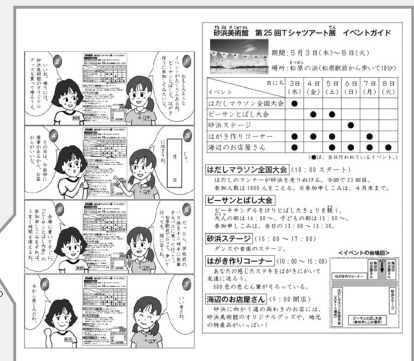
（1）エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。《聞くこと》

C 読むこと（第5学年及び第6学年）

（1）ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。《説明的な文章の解釈》

【類似問題】 問題9

- 一 イベント情報の一部と会話から、Tシャツアート展に参加する日を書く。
- 二 イベント情報の一部と会話から、イベント会場をまわる順番を選ぶ。



② 解答類型	反応率(%)	正答	○誤答として、「体力は上がってきている」との解答（解答類型2）が25.8%であることから、【発表原稿についての話し合いの一部】の内容を捉えることができていない。 その要因としては、【資料】が走力における変化を表しているものであることの理解ができていないと考えられる。 特に、島村さんの発言「【資料】は、50メートル走の結果だけを折れ線で表しているの、体力の変化について表したのではないと思う。走力がどのように変化しているかを表していると思う。」の部分が読み取れていないことになる。
1 3と解答しているもの	52.1	◎	
2 1と解答しているもの	25.8		
3 2と解答しているもの	11.4		
4 4と解答しているもの	9.7		
9 上記以外の解答	0.1		
0 無解答	0.9		

③ 学習指導に当たって

- （1）図表や絵、写真などの資料を取り上げ、そこから読み取ったことを基にして話したり、聞いたりする学習活動を行う必要がある。
- （2）発表原稿の工夫と合わせて資料から読み取ったことやまとめたことなど、資料を提示しながら発表する学習活動を仕組むことが大切である。
- （3）発表原稿が、自分の意図や考え、思いが聞き手にわかりやすい内容になっているか、また、資料や数値に基づいたものであるかなど、推敲することが重要である。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート 84
「調べた結果をまとめよう」

【全国学力・学習状況調査との関連】

平成20年度 A6 平成21年度 B2 平成24年度 B2

指導のねらい 伝えたい内容が、資料や数値に基づいてまとめられているか、聞き手にわかりやすい内容になっているかについて話し合ったことを踏まえて、発表原稿を推敲する指導の充実を図る。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

【単元を貫く言語活動】資料や数値を根拠に話し合ったことを踏まえて、発表原稿を推敲しよう

第一次 学習の目的を把握し、学習の見通しをもつ

「何のために伝えるのか」「誰に伝えるのか」「何を伝えるのか」を確認してみましょう。



何のために	体育委員会からのお知らせ
だれに	全校児童
何を	自校の走力の実態について

活動①【資料】「50メートル走の平均タイムの変化」を読み取る

活動② 読み取ったことを踏まえて、提示資料と発表原稿を作成する

※提示資料及び発表原稿の様式や分量について確認する。

第二次 発表原稿の内容が図表やグラフ等に基づいた適切な内容になっているかを話し合う

活動③【資料】からわかる事実をカードに書き、観点に即して整理する

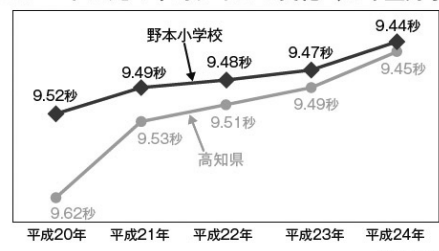
【資料の読み方】を確認する

- ①表題、調査時期、調査対象を確認する。
- ②横軸と関係付けながら、調査対象ごとに変化を読み取る。
- ③調査対象のタイムの差に着目して、全体を考察する。

わかる事実をカードに書く

【資料】

50メートル走の平均タイムの変化（5年生男子）



活動④ 整理したことを基に、発表原稿の内容について話し合う

資料からわかる事実と、発表原稿の内容が合っているかどうかについて、気付いたことを話し合ってみよう。



【資料】は、50メートル走の平均タイムが記されているので、走力の変化を表したものだね。



【資料】の中の野本小の折れ線は右上がり、毎年タイムもちぢまってきたよ。

高知県と野本小学校の平均タイムの差が、だんだんちぢまってきたけど、どちらも走力が上がってきているということだね。



伝えたいことが明確に伝わる構成になっているかな！？

活動⑤ 話し合いを踏まえて、発表原稿を書き直す



1年生にもわかる内容になっているかな！？

どんな言葉遣いで発表すると、全校児童に伝わるかな！？

活動⑥ 資料を提示しながら、伝えたい内容をわかりやすく発表する

小学校算数 指導改善のポイント（第5学年）

○数と計算

目的に応じて計算の結果の見積りをし、計算の仕方や結果について適切に判断する活動の重視

【課題が見られる設問の例】 問題8（3）

① 《出題のねらい》

目的に応じて計算の結果の見積りをし、計算の仕方や結果について判断することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第4学年 A数と計算

（2）概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにする。

ウ 目的に応じて四則計算の結果の見積りをすること。

第4学年 【算数的活動】（1）ア

目的に応じて計算の結果の見積りをし、計算の仕方や結果について適切に判断する活動

② 解答類型

		反応率 (%)	正答	(正答の条件) 次の①、②の全てを書いている。
見積りの 仕方と判 断したわけ	1 ①、②を書いているもの	12.3	◎	① それぞれの値段を大きめの概数にして、見積りをしていることを示す言葉や数
	2 ①を書いているもの 例 それぞれの値段を大きめの概数にして見積もって、合計が1500円になっているからです。	10.8		② 実際の合計金額は、見積りよりも安くなる（実際の合計金額は、見積もった合計金額よりも高くない）ことを示す言葉や数
	3 ②を書いているもの 例 実際の合計金額は、1500円よりも安くなるので、1500円以内で買えると判断することができます。	4.3		(正答例) (195円のカップケーキを200円、225円のシュークリームを300円、340円のマンゴープリンを400円と) それぞれの値段を大きめの概数(十の位を切り上げて、百の位までの概数)にして見積もり、合計が1500円になっています。
	9 上記以外の解答	41.9		だから、実際の合計金額は、1500円よりも安くなる(1500より高くない)ので、1500円以内で買えると判断することができます。
	0 無解答	30.6		

(誤答例) 類型番号2・9

正答の条件の①を書いているものが10.8%であり、正答の条件①②以外を書いているものが41.9%である。子どもたちの解答状況からは、目的に応じた見積りの仕方が身に付いていないことがわかる。

③ 学習指導に当たって

見積りを生活や学習場面で活用することができるようにする

第4学年では、概数の意味を理解し、数を手際よくとらえたり処理したりすることができるとともに、目的に応じて概数を用いることができるようにすることをねらいとしており、概数を用いると大きさがとらえやすくなることや、物事の判断や処理が容易になること、見通しを立てやすくなることなどのよさに気付くことができるように指導することが大切である。(「小学校学習指導要領解説 算数編」P.115による)

段階的に「計算の見積り」の指導をすること

第4学年では、和、差、積、商を概数で見積もることを指導する。和、差、積、商の見積りを行うことは、結果の見通しを立てたり、大きな誤りを防いだりするために大切であり、第4学年で指導を始めるのではなく、低学年から段階的に指導していくことが重要である。

学習指導要領解説で、第2学年の2位数までの加法及びその逆の減法において、「計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりするときなどに、計算の結果がおおよそどのくらいになるのか、何桁の数になるのか見積もることは、以降の計算指導において大切である。」と示されている。

段階的な指導について

第2学年

2位数のたし算及びひき算における和や差の見積りができる。

第3学年

3位数のたし算及びひき算における和や差の見積りができる。

第4学年

わり算の計算において商を見積もることができる。
目的に応じて、和、差を概数で見積もる。
目的に応じて、積、商を概数で見積もる。

目的に応じて概数を用いることができるようにすること

概数を用いるときは、その目的を明確にしなが、用い方を理解できるようにすることが大切である。日常生活の場面などにおいて概数を用いる場合には、その目的に応じてどの程度の概数にしたらよいかを判断することが大切である。(「小学校学習指導要領解説 算数編」P.116による)

指導に当たっては、加法、減法、乗法、除法を用いる具体的な問題の場面で、目的に応じて和、差、積、商を概数で見積もることができるよう指導する。目的に応じて用いるとは、何のために見当をつけるのか、そのねらいを明らかにし、ねらいに応じた概数にしたり、答えのおおよそを判断したりすることである。

指導のねらい 目的に応じた見積りの仕方を考えることができるようにする。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

記述の評価のポイント

下記の2つのポイントについて、言葉や数を使って適切に説明できているかどうかを評価していく。

①見積りの仕方

(例) 大きめの概数にして見積りをしている。

②判断したわけ

(例) 実際の合計金額は、大きめの概数で見積もった合計金額よりも高くない。だから、1500円以内で買えると判断することができる。

児童の記述の様子から、つまずきが見られる児童への支援の手立てを考えたいくようにしましょう。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

ステップ1

見積りの仕方について整理する。

見積りの仕方には、四捨五入や切り捨て、切り上げがありましたね。

ステップ2

お姉さんの見積りの仕方を考える。

お姉さんの見積りのしかた

195円が2こ → 200円が2こ
225円が1こ → 300円が1こ
340円が2こ → 400円が2こ

お姉さんは百の位までの概数にして表していますね。

では、お姉さんは、四捨五入、切り捨て、切り上げのうち、どんな見積りの仕方をしているのか、考えてみましょう。

十の位を四捨五入して、195円を200円にしているのかな。

でも、225円を十の位で四捨五入すれば200円だけど、300円になっているわ。

ステップ3

お姉さんが1500円以内で買えると判断したわけを考える。

お姉さんが1500円以内で買えると判断したのはなぜでしょうか。

実際の値段と十の位を切り上げた値段を比べてみよう。

実さいのねだんと十の位を切り上げたねだんをくらべてみると

〈実さいのねだん〉 〈見積りのねだん〉

195円	→	200円	……	実さいのねだんより5円多い
225円	→	300円	……	実さいのねだんより75円多い
340円	→	400円	……	実さいのねだんより60円多い

どれも実際の値段より多く見積もっていることがわかるわ。

大きめの概数で見積もって、1500円ということは、実際の値段は1500円より安くなることがわかるね。

なるほど。だから、1500円以内で買えるかどうかを考えるときは、切り上げて大きめの概数で見積もるといいんだね。

ステップ4

お姉さんの見積りの仕方と1500円以内で買えると判断したわけを言葉と数を使ってノートにまとめる。

ステップ5

いろいろな場面の見積りの仕方を考える活動を設定する。

例

10日(日)の午後3時に、なおやさんはお店に行き、195円の cupcakes を2こ、225円のシュークリームを2こ、310円のモンブランを3こ、買おうとしています。

場面1

なおやさんの買おうとしているものの代金の合計は、およそいくらになりますか。

およその代金を知りたいときは、どの見積りの仕方かで考えるといいのかな。

四捨五入で見積もる

場面2

そこで、なおやさんは、1500円以上の買い物をして、スタンプ3こをもらいたと考えました。なおやさんの買い方は、1500円以上になるかどうか、見積りをして考えましょう。

実際の値段を1500円以上にしたいときは、どの見積りの仕方かな。

切り捨てて少なめに見積もる

目的に応じて計算の結果の見積りをして、計算の仕方や結果について適切に判断できる活動などを位置付け、見積りを生活や学習の場面の中で活用することができる力を育てていきましょう。

TOSA洋菓子クラブ
オープンセール
(11月1日(金)～10日(日) 営業時間 午前10時～午後7時)

店舗おすすめはこれら!!

cupcake 195円	シュークリーム 225円	マンゴプリン 340円
ショートケーキ 320円	ゆずのチーズケーキ 320円	パイナップルケーキ 320円
ティラミス 350円	金魚のムース 400円	モンブラン 310円
安物のロールケーキ 320円		

オープンセール期間中のサービス

- ★タイムセール中
- ★年間100円以上お買い上げの方、お誕生日の方にはスタンプカードをプレゼント!
- ★1000円以上お買い上げの方には、スタンプカードのおポイントが3倍!

小学校理科 指導改善のポイント（第5学年）

- 観察・実験の結果を基に、実験方法を見直し、改善する指導の充実
- 新たな場面において、条件を制御しながら実験を構想する指導の充実

【課題が見られる設問の例】 問題1（5）

① 《出題のねらい》

植物の受粉と結実の関係を調べる実験について、結果を基に方法を改善して、その改善した理由を記述できるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第5学年 B 生命・地球（1）植物の発芽、成長、結実

植物を育て、植物の発芽、成長及び結実の様子を調べ、植物の発芽、成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり、花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり、実の中に種子ができること。

② 解答類型			反応率(%)	正答	（正答の条件） 番号を1と解答し、次の①、②の全てを記述している。 ①「おしべの花粉がめしべの先につく」など、受粉を示す趣旨で解答しているもの ②「風やこん虫などによって花粉が運ばれる」など、受粉の要因を示す趣旨で解答しているもの 誤答例としては、「虫とかを近づけさせないため。」「めしべがさいた後にふくろをかぶせても意味がないから。」（解答類型4）のような解答が多く見られた。実験方法を改善した理由を適切に表現することができていない。児童個人の考えや表現を他の児童と検討させる場面を設定し、問いに対して適切な表現をする指導を充実させましょう。
1	1と解答	①、②の全てを記述しているもの	2.7	◎	
2		①を記述しているもの	22.4	○	
3		②を記述しているもの	4.4		
4		類型1から3以外の解答、無解答	41.5		
5	2と解答		2.8		
6	3と解答		8.2		
7	4と解答		13.0		
9	上記以外の解答		1.5		
0	無解答		3.5		

③ 学習指導に当たって

観察・実験の方法や結果を予想や仮説と照らし合わせて見直し、振り返らせることは、科学的な見方や考え方をより確かなものにするために必要である。

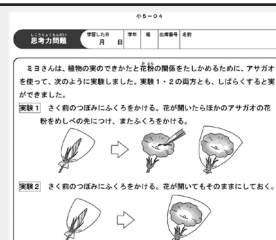
実験結果が児童の予想や仮説と一致しなかった場合、原因について考察させることが大切である。本問題では、実際の自然における受粉について考察させ、そこから実験方法を見直し、振り返らせることがポイントである。また、考察において、別の観点に気づかせたり、自分の考えが適切で他者に分かりやすい表現となっているかどうかを確認させたりするための話し合い活動も重要である。

このように、児童が自分の考えを絶えず見直し、再検討する態度を身に付けるとともに、観察・実験や様々な情報について、常に別の観点からその信頼性や妥当性を吟味することで、多面的に考察し、自分の考えを改善することができるように指導の工夫・改善を図ることが重要である。

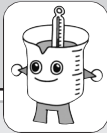
④ 【学習シート等との関連】



小学校5年生
高知県理科思考力問題集
小5-04



指導のねらい メロンの結実の要因を調べる条件について、実験結果を基に、実験方法を見直すことができるようにする。



◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

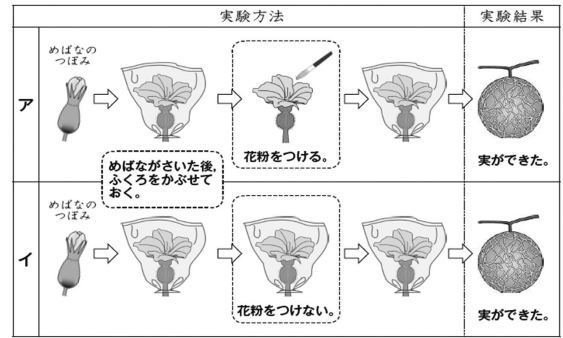
三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

メロンのめばながさいた後、ふくろをかぶせ、花粉をめしべの先につける場合とそうでない場合を比較し、結実に必要な条件を調べる実験を行った。

このメロンは両性花ではなく、自家受粉しないことを児童に知らせておきましょう。



めしべの先に花粉をつけなかった花にも実ができたのはどうしてだろう。

実ができるために必要な条件を調べる実験の方法を見直しましょう。

児童の発言から、本時の問題を導き、児童に目的意識をもたせましょう。

めしべの先に花粉をつけることと実ができることには、関係がないのかな。

めしべの先に花粉がつかなくても実ができるのでしょうか。おばなやめばながさいた後の様子を観察して、花粉をつけなくても実ができた原因を見つけみましょう。

めしべの先を顕微鏡で観察する

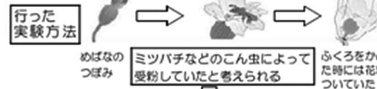
めしべの先に花粉がついているわ。

花がさいた後の様子を観察する

ミツバチなどの昆虫が花粉を運んでいるよ。

ふり回り（なぜ実ができたのか）

○めばながさいた後にふくろをかぶせた



○ミツバチなどの昆虫によって受粉するのを防ぐためには

見直した実験方法

つぼみのときにふくろをかぶせればよい

再実験の結果



めしべの先に花粉をつけなくても、風やこん虫、鳥などによって花粉がめしべの先につくことがあるみたいだね。

私たちが花にふくろをかぶせたのは、花がさいた後だったので、もうめしべの先に花粉がついていたのかもしれないね。つぼみのときからふくろをかぶせておけば、めしべの先に花粉がつくことはないかもしれないよ。

言語活動は、ねらいに向けた活動になるようにしましょう。

また、児童それぞれの考えや表現について、ペア・グループ学習で相互に確認させたり、発表内容を別の児童に補足させたりして、適切で他者に分かりやすい表現になるように指導しましょう。

つぼみのときからふくろをかぶせ、風や昆虫によってめしべの先に花粉がつかないようにしたら、花粉をつけたアだけに実ができたよ。実ができるためには、めしべの先に花粉がつく必要があるんだね。

別の単元や領域を学習する時に、本時で身に付けた見方や考え方を想起させ、科学的な見方や考え方を育成しましょう。

特に [] を意識した授業をしましょう。

中学校国語 指導改善のポイント（第2学年）

○読むこと 説明的な文章を教材にした「自分の考えの形成」の指導の充実

説明的な文章の内容を理解するだけでなく、書き手のものの見方や考え方について、自分の知識や体験と関連付けて自分はどう考えるかを明確にすることが重要である。

【課題が見られる設問の例】 問題9三

① 《出題のねらい》

今までの自分の体験と結び付けて、文章に書かれている内容を説明することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

B書くこと（第2学年）

（1）ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。 《記述》

C読むこと（第2学年）

（1）エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。

《自分の考えの形成》

② 解答類型

（正答の条件）

次の条件を満たして解答している。

①筆者が述べている感動について、自分自身が今までに体験したことを具体的に書いている。

②筆者が述べている感動について、「未知のもの(体験)」「変化(変わる)」などの意味の言葉を使い、筋道が通るように書いている。

③百四十字以上、百六十字以内で書いている。

※誤字・脱字は評価の対象としない。

（正答例）

・中学生になって初めてボランティアに参加して、苦労も多かったけれど、たくさんの人との出会いを通して泣いたり笑ったりした。そして、自分にも人を変える力があるかもしれないと自分に対する考え方が変わった。このように、未知な体験をして自分自身が変化する過程において脳が活発にはたらくことが感動だと言っている。(148字)

反応率(%)	正答	解説
		○本設問は、説明的な文章を読み、自分が今までに体験したことと関連付けて、感動について筆者が述べていることを説明するものであり、正答率は、2.9%である。
		○誤答についてみると、類型3が33.7%と多い。これは、字数の条件を満たして自分の体験を記述することはできているが、筆者の考えを的確に捉えることや、筆者の考えを自分の体験と関連付けて筋道が通るように書くことが不十分であったと考えられる。
2.9	◎	
0.5		
33.7		
0.6		
17.9		
44.4		

③ 学習指導に当たって

文章を読む際には、文章の内容を読み手が自分の問題として捉えることが重要である。指導としては、単に印象や感想を述べるにとどまらず、書き手の考えについて、自分の知識や体験に結び付けて説明したり、賛否を明らかにしたりする課題を与え、文章に書いて互いに交流し合う活動を取り入れることが有効である。その中で、表現の順序を考えたり、分かりやすい記述の仕方を工夫したりすることにも留意させる。このような活動によって、生徒は文章を主体的に読む態度を身に付けて、文章を読むことを通して、自分の考えをもち、ものの見方や考え方を深めることができるようになる。

④ 【学習シート等との関連】

国語学習シート

23 要約・要旨
45 確認テスト
66 確認テスト
67 確認テスト

国語学習シート
活用事例集

P. 13～16
「目的や意図に応じて短時間で要旨をとらえる場合の活用例」

全国学力・学習状況調査B問題では、「解釈や説明をする」記述式の問題が出題されています。授業づくりのイメージをもつために、活用しましょう。



指導のねらい 文章に表れているものの見方や考え方を、知識や体験と関連付けて捉える。

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

【単元を貫く言語活動】文章を読み、筆者の考えを、自分の体験と関連付けて捉える

学習の見通しをもつ

◇学習のねらいや単元全体の流れを確認する。

- ・学習のねらいと言語活動の内容を具体的に示し、学習の見通しをもたせる。※既習内容の確認

「感動する脳」(大問9)を通読し、話の展開や内容の大体をつかむ

◇初読の感想をもち、「何について書かれた文章か」「筆者のどのような考えが述べられているか」等、個人でまとめたことを学級で交流する。

◇文章のまとまりを捉え、課題に沿って意見を交流し、内容を理解する。

- ・初発の感想やこれまでの学習の中での意見を基に課題を設定する。

感動についての体験を交流する

◇これまでに自分自身が感動した体験を書き、グループで紹介し合う。

- ・学校生活、日常生活等を振り返り、自分の感動の体験を自由に書かせる。

筆者が述べている感動について、自分の体験と関連付けて考える

◇グループで紹介された感動した体験の中から、筆者の述べている感動に当てはまるものを吟味する。

- ・本文中の「感動というのは～」という部分に着目させる。
- ・交流を通して、筆者の考えを捉える際のキーワードを見つけさせる。
- ・分からない語句は辞書で調べたことを指示する。(例：活性化 等)



単に「感動した」ということだけでは、筆者の言っている感動ではないみたいね。

「未知のもの」や「変化」という言葉を使うと筆者の考えを説明しやすいね。



筆者が述べている感動について、体験と関連付けて説明する

◇グループで選んだ感動した体験と関連付けて筆者の考えを説明する。

- ・互いの説明の仕方について、意見を交流させる。

◇筆者の考えを分かりやすく説明するために、どのように表現したらよいかを考える。

- ・今までに学習した説明的な文章における論の展開を基に、分かりやすい説明の仕方を考えさせる。

☆根拠となる具体例を挙げた後、説明を付加すると分かりやすい表現になること等をおさえる。

例：「具体例」＋このように、「筆者の考え」

◇交流を基に、自分の体験から筆者の考えに当てはまるものを選び、それに関連付けて説明する。

- ・分かりやすい説明になっているかを互いに確認させる。

新聞コラム等を読み、その内容を、自分の体験と関連付けて説明する

◇複数のコラムを読み、その内容について、自分の体験と関連付けて書く。

- ・新聞コラムを複数準備し、書いたものを交流して様々な見方や考え方へとつなげる。

参考となる教科書作品等を使って

『高知県学力定着状況調査 中学校第一学年国語』
動物の睡眠と暮らし
『東京書籍』
食の世界遺産—鯉節
『三省堂』
循環型社会—とは何か
『光村図書』
五重の塔はなぜ倒れないか
君は「最後の晩餐」を知っているか
言葉の力

中学校社会 指導改善のポイント（第2学年）

○資料を活用して地域的特色を考察し、適切に表現する力を育成する指導の充実

【課題が見られる設問の例】 問題5（2）

① 《出題のねらい》

人口減少を抑える取り組みについて、資料から考察し、視点をもってまとめ、表現できるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

地理的分野（2）日本の様々な地域 ウ 日本の諸地域

日本を幾つかの地域に区分し、それぞれの地域について、以下の(ア)から(キ)で示した考察の仕方を基にして、地域的特色をとらえさせる。

(オ)人口や都市・村落を中核とした考察

地域の人口の分布や動態、都市・村落の立地や機能に関する特色ある事象を中核として、それを人々の生活や産業などに関連付け、過疎・過密問題の解決が地域の課題となっていることなどについて考える。

② 解答類型

(正答の条件)

支援の視点として、Ⅰ「仕事場」、Ⅱ「住居」の2つについて、③、④のいずれかに記述しているもの

			反応率(%)	正答
③	Ⅰ「仕事場」	(正答例) ・(地域に)仕事場を確保すること ・(地域に)仕事場をつくること		
	Ⅱ「住居」	(正答例) ・住居(家)を確保すること ・住居(家)の情報を提供すること		
	1	・Ⅰの視点で記述しているもの	5.5	◎
	2	・Ⅱの視点で記述しているもの	23.1	◎
④	9	・上記以外の解答	43.6	
	0	・無解答	27.9	
⑤	1	・③には③の類型1で記述しているもの ・④には視点Ⅱで記述しているもの	4.0	◎
	2	・③には③の類型2で記述しているもの ・④には視点Ⅰで記述しているもの	14.0	◎
	3	・③には③の類型1、2以外で記述しているもの ・④には視点Ⅰで記述しているもの	8.5	◎
	4	・③には③の類型1、2以外で記述しているもの ・④には視点Ⅱで記述しているもの	7.1	◎
	9	・上記以外の解答	37.1	
	0	・無解答	29.3	

○問題5は、「少子高齢化」を地域の問題として捉え、地域の人口の分布を人々の生活や産業などに関連付けながら多面的・多角的に追究していく学習活動例として設定したものである。本設問は、A町とB市の人口減少を抑える取り組みから共通点を見だし、2つの視点について⑤、⑥のいずれかに解答するものであり、正答率は⑤28.6%、⑥33.6%である。2つの視点をともに解答できた生徒は18.0%である。

○昨年度調査の日本の農業を活性化させるための工夫について、様々な資料をカテゴリーに分けて整理することと比べると、正答率は高くなっている。しかしながら、誤答についてみると、「町おこし」「市おこし」などと解答しているものが多くみられ、資料から適切に情報を取り出すまでいたっていないものと考えられる。

(H244 (2) : A 4.4%、B 7.2%)

③

学習指導に当たって

○資料を活用して社会的事象を考察し、適切に表現する力を育成する指導の充実のために

〈地域的特色を捉える〉

日常生活と関連のある具体的な課題を追究するために、収集した資料から、地域的特色について有用な情報を取り出し、それらを比較し、関連付けて考えさせることが重要です。その際、グラフや統計資料などの基本的な見方を指導していくことも大切です。

〈追究する過程や結果を表現する〉

地図を有効に活用して事象を説明したり、自分の解釈を加えて論述したり、意見交換したりするなどの学習活動を通して、観察や調査した結果を、地域の課題と関連付けてまとめる力、地図化するなどの工夫をして表現し、発表する力を高めていくよう指導することが重要です。その際、公正さに留意し、資料に基づいて考察する態度を身に付けさせることが必要です。

指導のねらい 資料を関連付けて考察し、その結果を共通する視点をもってまとめる力を育成する。

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

地理的事象を見いだす段階
時間

追究する段階（過疎化する地域・過密化する地域）
三時間

単元のまとめの段階
一時間

【単元のねらい】

中国・四国地方について、人口や都市・村落を中核として考察し、地域的特色を捉えさせる。

中国・四国地方における人口分布、都市部への人口流入と過密化、過疎化などについて、資料を基に、大きく捉え、特色を見いだす。

生徒がホームページ等で、調べた具体的な事例から問いを見いだすなど、主体的な活動を促す工夫が必要である。

1 学習課題を確認する。

過疎化する地域では、人口減少を抑えるために、どのような取り組みを行っているかを調べ、それぞれの地域の効果的な取り組みに共通していることを考えよう。

※「人口が少なくなる前」「人口が少なくなった頃」「現在」の3つの時期に分け、地域の現状や取り組みをまとめさせるために、資料を収集させる。

2 資料を基に、過疎化する地域のように読み取ったことを共有する。

過疎地域	立地	人口が少なくなる前	人口が少なくなった頃	現 在
馬路	山間	林業が中心 ゆずの生産	林業の不振 ゆずの生産が盛ん	ゆず加工品の生産販売 温泉やキャンプ場の整備による観光業
上勝	山間	林業と米・みかんの生産 が盛ん	林業の不振 みかんの木の被害	「つまもの」の生産販売 移住者のための住宅などを提供
大田	山間	銀の生産が盛ん	銀山の閉山と高度経済 成長による人口流出	銀山遺跡の世界遺産登録による観光業

※要点を自分の言葉で簡潔にまとめさせる。

※それぞれの地域の取り組みを比較、関連付けながら、共通点や関連性などを捉えさせる。

立地・人口が少なくなる前	人口が少なくなった頃	現 在
山に囲まれた地域で、自然豊かな地域。 自然環境を生かした産業が盛んであった。	安い輸入材に押され、林業では生活が成り立たなくなった。 仕事を求めて、人口が流出した。	地元の資源を生かした農作物を加工し、インターネットを活用して販売する。 自然環境を生かし、高齢者でも生産販売ができる職場づくりを行う。 移住者を受け入れるために、住居の提供を行う。

3 人口減少を抑える効果的な取り組みに共通していることを話し合う。

〔予想される生徒の反応〕

- ・その地域にあるものを生かし、地域の生活を維持、発展させている。
- ・地域を大切に、これからもその地域で生きていくことができるようにしている。

※効果的な取り組みとしての視点

- ①経済の活性化のために仕事場を確保し、UターンやIターンを行う移住者の受け入れに積極的であることを理解させる。【移住】
- ②自然や地元の食材など地域の特色を生かした仕事場を確保する取り組みが進められていることを捉えさせる。【仕事】

資料から読み取ったものや判断・考察したことを、根拠を基に話し、言葉や文章で相手に正確に伝えようとすることは、言語活動の充実にもつながる。

他の生徒と意見を交流することで、新たな視点に気づき、それを基に、自分の意見を整理し、まとめていく活動によって思考力を高めていく。

「人口」の視点において、中国・四国地方の地域的特色をまとめる。



追究した過程や結果を適切に表現するためのワークシートの活用
→これまで学習したことを活用し、中国・四国地方全体の地域的特色をまとめることができるよう配慮する。

○ワークシートを基に、自分の言葉を使って説明することが表現力を培うことにつながる。

中学校数学 指導改善のポイント（第1学年）

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する活動の充実

【課題が見られる設問の例】 問題6（3）

① 《出題のねらい》

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第1学年 C関数

- （1）具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。
 オ 比例、反比例を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。

② 解答類型	反応率 (%)	正答	
1 グラフを用いることと、用い方を記述しているもの	1.3	◎	誤答としては、「$y=2400$を代入してxの値を求める」や「グラフを見ればよい」など、「用いるもの」や「用い方」のいずれか一方のみを記述している解答の反応率が12.4%、類型9の解答の反応率が28.1%であった。また「$2400 \div 150 = 16$」など計算式を解答しているものもあった。方法の説明の最初の段階として計算式を考えることは大切であるが、次の段階として「用いるもの」、さらに「用い方」を考えさせるよう指導していく。 同様の問題である本年度の全国学力・学習状況調査B問題3(2)では、県平均正答率29.3%、無解答率は36.5%であったが、今回の調査では正答率32.4%、無解答率27.0%と改善傾向にあるものの、正答率は低い状況にあり、指導に当たってはさらなる工夫が必要である。
2 グラフを用いることを記述しているが、用い方の記述が不十分なもの	0.2	○	
3 グラフを用いることを記述しているが、用い方を記述していないもの	0.4		
4 式を用いることと、用い方を記述しているもの	8.2	◎	
5 式を用いることと、用い方を記述しているが、その記述が不十分なもの	1.0	○	
6 表や数値を用いることと、用い方を記述しているもの	19.3	◎	
7 表や数値を用いることと、用い方を記述しているが、その記述が不十分なもの	2.4	○	
8 表や数値、式を用いることを記述しているが、具体的に用いるものや、用い方について記述していないもの	12.0		
9 上記以外の解答	28.1		
0 無解答	27.0		

③ 学習指導に当たって

問題解決のために数学を活用する方法を考え、説明できるようにする。

様々な問題を解決する際、解決の方法に焦点を当て、表・式・グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について考え、問題解決の方法を説明できるように指導することは大切なことである。

例えば、本設問のように複数の解法がある場合は、その解法を弁別する活動を取り入れることが考えられる。その際、弁別するだけでなく、その解決の方法に焦点を当て、「どのような方法で解いたのか」をまとめることにより、新たな課題を解決する指標とすることができる。また、解法の「用いるもの」と「用い方」に注目させることで、よりの確に問題解決の方法の説明ができることにつながる。そして、数学を活用する場面では、新たな問題を解決するだけでなく、その問題解決の方法を見だし説明する機会を設定することで、学習したことを使えるよさを実感させ、数学に対する関心・意欲を高めるとともに思考力・判断力・表現力等を育むことができる。

④ 【学習シート等との関連】

全国学力・学習状況調査数学B問題集
第1学年 C数量関係（20年度）3

釘の本数を求める
方法を説明する

高知県平均正答率 41.3%
全国平均正答率 50.9%

容器に同じ種類の釘がたくさん入っています。このとき、釘の本数を求めようと思います。

この容器から釘を取り出して、釘全体の重さをはかったところ、約400gでした。



◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通

しをもたせるために、
授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通し

がわかるように板書
を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を

基に説明させたり、書
かせたりする。

四、話し合いや書く活動な

どを通して、学習した
ことを整理し、考えを
深めさせる。

五、学習したこと振り返

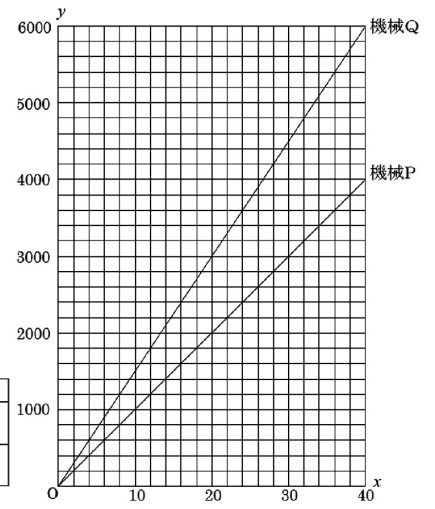
りの場を設定する。

ある会社では、海洋深層水から飲料
水をつくっています。この会社には海
洋深層水からペットボトル飲料を生産
する2種類の機械P、Qがあります。

2種類の機械P、Qについて、時間
と生産量の関係を表とグラフに表しま
した。

x 分間に生産するペットボトル飲料
の数を y 本とします。

時間(分)	0	10	20	30	40	...
機械Pで生産される ペットボトル(本)	0	1000	2000	3000	4000	...
機械Qで生産される ペットボトル(本)	0	1500	3000	4500	6000	...



◎機械Qでペットボトル2400本を生産する時間を求める

ペットボトル(2400本)を生産する時間の求め方を説明しよう

※時間の求め方を振り返り、その方法を記述させる

◎自分の考えを発表する

※生徒の考えを取り上げて、表現をよりよくするためのポイントを示す

$$\begin{aligned} y &= 150x \\ 2400 &= 150x \\ x &= 16 \end{aligned}$$

16分

【説明】
式を使って求める

どんな式を使ったのかな
(「用いるもの」を意識させる)

その式をどのように使ったのかな
(「用い方」を意識させる)

機械Qについて y を x で
表した式を使いました

y に 2400 を代入して時間
を求めました

用いるもの

用い方

【表現を見直す】

機械Qについて y を x の式で表し、その式に $y=2400$ を代入し x の値を求める

それぞれの求め方を「用いるもの」と「用い方」に着目して、
よりよい表現に直してみよう

※各自の表現をよりよいものに改めさせる

まとめ

方法の説明

- ・用いるもの(表、式、グラフ等)を明確にする
- ・用いるものに応じた用い方を、数学的な表現を使い説明する

評価問題

機械Pにおいて、ペットボトル3600本(150ケース)生産する時間を
求め、求め方を説明しましょう。

◎家庭学習の課題として、全国学力・学習状況調査数学B問題集(20年度)3に取り組む

中学校理科 指導改善のポイント（第1学年）

- 課題を解決するための観察・実験を計画する指導の充実
- 観察・実験における予想や考察など自分の考えを、書いたり説明したりする活動の重視

【課題が見られる設問の例】 問題2（1）

① 《出題のねらい》

身の回りの物質の性質を基に、それらの性質に着目して物質を分類することができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

第1学年 第1分野 （2）身の回りの物質

身の回りの物質についての観察、実験を通して、固体や液体、気体の性質、物質の状態変化について理解させるとともに、物質の性質や変化の調べ方の基礎を身に付けさせる。

ア 物質のすがた (ア) 身の回りの物質とその性質

身の回りの物質の性質を様々な方法で調べ、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだすとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付けること。

② 解答類型

	反応率(%)	正答	(正答の条件) 次の(a)、(b)のいずれかを満たしているもの (a) 次の①、②の順に区別をしているもの ①「ルーペで観察する」ことで結晶が見えないもの、または、「水に少量とかす」ことで水にとけないものが小麦粉であることを記述している。 ②「加熱した結果をみる」ことで変わらないものが食塩、こげて炭になるものが砂糖であることを記述している。 (b) 次の③、④の順に区別をしているもの ③「加熱した結果をみる」ことで変わらないものが食塩であることを記述している。 ④「ルーペで観察する」ことで結晶が見えないものが小麦粉、結晶が見えるものが砂糖であること、または、「水に少量とかす」ことで水にとけないものが小麦粉、水にとけるものが砂糖であることを記述している。
1 (a)または(b)を満たしているもの	24.7	◎	
2 (a)の②または、(b)の④において、1種類の物質についてのみしか記述がないもの	4.5	○	
3 (a)、(b)において、区別する方法は記述されているが、3つの物質を区別した根拠の記述がない、または、区別する方法しか記述していないもの	35.2		
4 (a)、(b)において、区別することができる物質に誤りがあるもの	1.4		
5 区別する方法として、「色を見る」、「においをかぐ」と記述しているもの	4.0		
6 表1の5つの方法以外の方法を記述しているもの	3.7		
9 上記以外の解答	9.5		
0 無解答	17.0		

誤答例としては、「ルーペで見て、加熱して結果を見る。」(解答類型3)のような解答が多く見られた。なぜ、ルーペを使うのか、また、加熱をするのかについて根拠を基にして考えたことを分かりやすく文章にすることができていない。十分でない説明に対しては、問い返すとともに、科学的な概念を使って、説明することができるように指導の徹底を図る。

③ 学習指導に当たって

学習指導において、観察・実験の際には、目的に沿った実験を計画させたり、根拠を示して考察させたりするなど、探究的な活動となるよう留意する。例えば、身の回りの物質の性質を調べる実験において、科学的な思考力や表現力を育成するために、予想や考察などで自分の考えを書かせたり、説明させたりする学習活動を行うことが考えられる。その際、実験結果を根拠に、科学的な概念を使わせながら、考えたことを分かりやすく文章に書かせたり、説明させたりして、身の回りの物質には固有の性質と共通の性質があること、それらの性質に着目すると物質を分類することができることを見いださせて、知識の定着を図る。

また、知識を活用した実験を計画させるなど、学習したことを普段の生活の中で活用することができないかを考えさせたり、説明させたりする機会を設定することも考えられる。

④ 【学習シート等との関連】

高知県理科
思考力問題集
中1-03
物質のすがた

本設問と関連のある問題

抵抗（電球、LED、電熱線等）の直列つなぎ、並列つなぎなどに関する知識を活用して、（他者の）実験方法を検討し改善して、正しい実験方法を説明する問題

H24 全国学力・学習状況調査 2 (2) 正答率 4.9%、無解答率 23.1%

H24 高知県学力定着状況調査 4 (3) 正答率 3.5%、無解答率 24.9%

H25 高知県学力定着状況調査（第2学年） 4 (3) 正答率 4.5%、無解答率 27.8%

観察・実験の目的を意識させるため、生徒の疑問を解決するような課題を設定し、観察・実験を計画させる授業展開を仕組みましょう。

指導のねらい 物質の性質についての知識を基に、混合物から純物質を取り出す実験方法を検討する。

◇ 授業アイディア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。



先生、食塩に間違えて砂糖を混ぜてしまったのですが、食塩と砂糖にわけすることはできませんか。

これまで学習したことを使って、実験方法を考えてみましょう。



生徒の疑問や発言から授業の課題を導き、授業(観察・実験)の目的意識をもたせる。

食塩と砂糖の混合物から食塩を取り出す方法を考えよう

食塩、砂糖の性質

	食 塩	砂 糖
色	白色	白色
水に溶かす	溶ける	溶ける
においをかぐ	ない	ない
加熱する	白色のまま燃えない	燃えて、二酸化炭素が発生し、炭が残る

ノートやレポートの記録を使って、考える機会や根拠を基にして発言する機会を意図的に仕組む。



加熱したらいいのかしら。

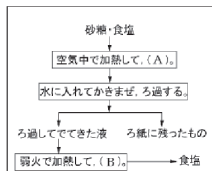
僕もそう思ったよ。食塩と砂糖の性質を調べた実験結果では、加熱をしたときだけ性質が違っていただけだね。



食塩と砂糖が混ざったものから、食塩を取り出す方法をノートに書いてみましょう。また、そのように考えた理由も書いてみましょう。



ヒントカード (例)



考えがまとまらない生徒には、ヒントカードを提示する。(※ヒントカードの空欄の場所を生徒の実態に合わせ、段階的に示す。)

ヒントカードを基にして、考えがまとまった生徒には、食塩を取り出す方法について、自分の言葉でノートに書くように指示する。

食塩を取り出す方法をグループ(全体)で説明しましょう。



考えを深めさせるために、ペアやグループによる学習を行う。



空気中で加熱した後、水に溶かせばいいと思うよ。

どうして、加熱した後は、水に溶かせばいいと思ったの。



これまで学習したことなど、根拠を基に考えたことを述べさせる。根拠が述べられていない場合は、根拠を聞き返す。最終的には、根拠を基に考えた一連の実験方法を生徒に述べさせる。必要に応じて、話形の提示やワークシートを用いる。



加熱すると、砂糖は燃えて炭になることと食塩は変化しないことを利用して、空気中で食塩と砂糖の混合物を加熱し、砂糖を燃やし炭にします。次に、食塩が水に溶けることを利用して、食塩と炭の混合物を水に入れてかきまぜ、食塩を水に溶かします。そして、その液をろ過し、炭を取り除きます。最後に、ろ液を弱火で加熱して、水を蒸発させると食塩を取り出すことができますと思います。

※下線部のように、これまで学習したこと等を根拠に発言させる。

食塩を取り出すための方法を、そう考えた理由とともにノートに整理し直しましょう。整理し終わったら、実際に食塩を取り出す実験をするので、準備物には何が必要かを考えてみましょう。



中学校外国語（英語） 指導改善のポイント（第2学年）

- 書くこと ・語と語のつながりなどに注意して正しく文を書く指導の充実
- ・誰に、何を伝えるのかの場面設定をし、目的をもって「書く」指導の充実

【課題が見られる設問の例】 問題11（1）

① 《出題のねらい》

資料を基に、語と語のつながりに注意して正しく文を書くことができるかどうかをみる。

① 《学習指導要領における領域・内容》

エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。

② 解答類型		反応率(%)	正答	本設問は、新しいALTに学級の友だちを紹介するために、友だちのことを紹介したメモを見て、発表原稿を完成させるものである。 (1)～(3)の正答率は、26.8%、12.3%、9.9%と「書くこと」の中でも特に低く、無解答率も16.2%、20.2%、23.3%と課題が見られる。
1	(正答の条件) 健太を選んだ場合 次の条件を満たして解答している。 ・「国語が好きだ」という内容で、文法的に正しく書いているもの (正答例) He likes Japanese. His favorite subject is Japanese. He loves Japanese. He is fond of Japanese. He likes to study / learn Japanese.	20.8	◎	
2	・上記の条件を満たしているが、下記の間違いがあるもの ○大文字（小文字）が間違っているもの ○ピリオドのないもの ○代名詞を使用していないもの	6.0	○	
3	・綴りが間違っているもの	1.6		
4	・代名詞が間違っているもの	7.7		
5	・冠詞が間違っているもの	0.3		
6	・動詞の活用が間違っているもの	12.0		
7	・be動詞と一般動詞を両方使用しているもの	4.5		
9	・上記以外の解答	30.9		
0	・無解答	16.2		

③

学習指導に当たって

各学年における到達目標の設定・系統的な指導計画の作成

- ・3年間で付けたい力を明確にし、各学年の「書くこと」における到達目標を設定し、系統的な指導を行う。

＜例＞ 第3学年 テーマに基づき、文構成やまとまりを考えながら、英文を書くことができる。

第2学年 テーマに基づき、理由を添えたり、他と比較したりしてまとまりのある英文を書くことができる。

第1学年 自分の身近なことについて、正しい文構造で、英文を書くことができる。

*「書くこと」の指導だけでなく、4技能別到達目標（CAN-DO リスト）を設定することが必要である。

- ・どの単元で、重点的に書く指導を行うのかを、言語材料や題材、時期等を考慮し、決定する。

目的・相手意識をもたせる

- ・単元のゴールの活動では、「書くこと」の必然性のある場面などを設定することによって、生徒が、「書きたい」「伝えたい」という意欲が高まる。
- ・一方的に伝えるのではなく、相手意識をもたせ、双方向の活動になるように仕組む。

スモールステップでの指導の工夫

- ・本設問のように、項目立てを行ったり、文の構成を考えながら書く手立てを行ったりする。そのことによって、ただ書くのではなく、まとまりのある文を意識して書くことができるようになる。

④

【学習シート等との関連】

英語ライティングシート III テーマ作文編

◇ 授業アイデア例

授業づくりのポイント

一、子どもに学習の見通しをもたせるために、授業のねらいを示す。

二、学習のねらい・見通しがわかるように板書を工夫する。

三、自分の考えを、根拠を基に説明させたり、書かせたりする。

四、話し合いや書く活動などを通して、学習したことを整理し、考えを深めさせる。

五、学習したことの振り返りの場を設定する。

単元の目標

＜第1学年2学期以降＞

新しく来た ALT の先生に友だちを紹介する発表原稿を書く。【言語材料：3人称単数現在形】



単元の目標は、「書くこと」で設定しているため、ここでの最終ゴールは、「書くこと」で評価をします。（ALT の先生への友だち紹介「話すこと」は評価には入れません）

1 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。

☆単元のゴールでどんな活動をし、3人称単数現在形を使って何ができるようになるのかを生徒に知らせ、学習の見通しをもたせる。モデル文を示したり、前年度の生徒作品（発表原稿）や録画しておいた映像等を見せたりして興味をもたせる。

場面設定をすることで、「書く」必然性が生まれ、生徒が「書きたい」「伝えたい」という意欲が高まりますね！



2 友だちのことを伝えるための語彙や3人称単数現在形の用法についての知識を深める。

☆単元のゴールに近い場面設定をしながら、絵カード等を使って、人物を紹介するデモンストレーションやパタンブракティス等のドリルを行う。

- ・第三者を説明するための、3人称単数現在形についての理解とその表現に慣れるための練習
- ・友だちのことを紹介するために必要な語彙をさせる練習

3 既習の語彙や表現を使って、友だちのことを伝えるためにインタビューをして、情報収集をする。

☆インタビューをする前に、マッピングやブレーンストーミング等を使って、友だちのどんなところを伝えるのかを考え、質問内容を整理させる。

【例】 I play tennis.
Do you play sports?
What sport do you play?
I like dogs.
Do you like animals?
What animal do you like? 等

相手のことを一方的に聞くのではなく、小学校で培ったコミュニケーション（相手意識）を大切にさせる。

既習の事項を使って質問させることで、既習表現の復習・スパイラルな学習になりますね。

調査問題にあるような項目立てのヒントを与えることで、生徒の発想を広げたいですね。

4 インタビューをした内容を整理し、書く順番を考え、原稿を書く。

☆学年ごとの到達目標に合わせ、書く力を高めるために、同じ内容の文を羅列するのではなく、つながりのある文を意識して書かせる。

☆辞書を活用させる。

インタビューをした内容を書く前に、第三者にまずは口頭で伝えることもいいですね。

5 書いた原稿を推敲し、完成させる。

☆個人で推敲したり、グループで確認したりさせる。

- ・文法的に正しく書いているか
- ・相手に伝えたい内容は伝わるのか

☆ALT に伝えるために、何が必要かを考えさせる。

「伝えるための方略」これがコミュニケーション能力です！

6 原稿をもとに、伝えたい内容を交流する。

☆グループ（全体）で共有し、相互評価をさせる。

11 あなたの学級では、英語の授業で、新しいALTのジェーン（Jane）先生に学級の友だちを紹介することになりました。下の【メモ】は、3人の友だちのことを簡単に紹介したものです。3人のうち、1人を選んで紹介するとして、どのように紹介しますか。解答用紙にある「紹介する友だち」の3人のうち、1人を選んで○で囲みなさい。また、その友だちのことを紹介する【メモ】（1）から（3）についてそれぞれ英語で書き、【発表原稿】を完成させなさい。

【メモ】

健太（Kenta）の紹介

- （1）好きな教科：国語
- （2）得意なこと：サッカーをすること
- （3）将来の夢：サッカー選手になりたい



真紀子（Makiko）の紹介

- （1）好きな教科：英語
- （2）得意なこと：ピアノをひくこと
- （3）将来の夢：中国に行きたい



雄二（Yuji）の紹介

- （1）好きな教科：数学
- （2）得意なこと：コンピュータを使うこと
- （3）将来の夢：数学の先生になりたい



【発表原稿】

紹介する友だち 健太（Kenta）・真紀子（Makiko）・雄二（Yuji）
※選んだ人を○で囲みなさい。

I'll talk about （紹介する友だちの名前）。

- （1）
- （2）
- （3）

※解答は、必ず解答用紙に書きなさい。

平成25年度高知県学力定着状況調査
外国語（英語）大問 11

調査結果等を活用した学力の定着を図る取り組み

工夫ある分析を基に 指導力の向上に取り組む事例

平成25年度 全国学力・学習状況調査結果による取組

☆結果返却後すぐに目標に対しての到達状況を確認する。

① 平均正答率(校内目標値:全国より+5p)

	本校	全国	本校ー全国
平均正答率			

課題の明確化

② 分類・区分別集計結果の概要

領域別では、……。評価の観点別では、……。問題形式別では、……。

③ 設問別集計結果の概要(校内目標値:全国より-5p未満の問題数15%以内)
数学Aは問題数32問で、全国より-5p未満の問題は、……。

校内目標値を未達成の問題と今後の対応			
設問番号	内容学年	全国比較	分析及び今後の対応(中心となる指導の場面と方法)
			今後の改善策

☆調査実施後すぐに行った自校採点との差を捉える。

分析力・指導力の向上

■自校採点と返却分採点で、正答率の差が3以上あった設問及び分析

設問番号	問題の内容	(自校ー返却) 相違の数	原因と対応(解答類型を踏まえて記載)

☆学力調査など客観的なデータから課題を捉え、学習指導案に前回の研究授業の課題や改善策を基に、授業参観の視点を明示するようにしています。

学力向上のための学習指導案(様式)

◇平成26年1月実施
高知県学力定着状況調査の結果より

- 1 前回の研究授業を受けて
- 2 研究授業で話し合っていたこと
- 3 単元名
- 4 単元の目標
- 5 本単元の評価規準
- 6 単元設定の理由
 - (1) 学習指導要領を受けて
 - (2) 研究主題との関連
 - (3) 生徒の実態
- 7 指導計画
- 8 本時の構想
 - (1) ねらい
 - (2) 展開

課題の明確化

つながり
提案性のある
研究授業

付けたい力の明確化

研究授業を大切に
した授業力の向上
を図る取り組みが
進められています。



調査問題等を活用して 授業改善に取り組む事例

調査結果を基に 学校全体で課題解決に取り組む事例

平成25年度高知県学力定着状況調査の結果について 理科

中学校	今回の結果の分析	今後の具体的な手立て	
		2・3月にすべきこと	春休み・4月以降にすべきこと
1年	二極化の傾向 無解答率が高い	課題を踏まえた授業改善 思考力を高める授業研究 定期テストの工夫	全体での読み取る力の育成 レポート作成等の取り組み
2年	思考に課題 授業で考える時間が少ない	評価問題の設定 学習用語の習得	…

※付せんて考えを整理している場面の一例

課題の明確化

今後の改善策

☆調査から見える子どもたちの姿から、授業や学校全体での手立てを考え、すぐに実行しようと工夫しています。

定着状況を基に、各教科の年間指導計画の見直しを行うことも大切です。



教育委員会単位での 研修会の様子



①調査問題を解いて、子どもたちに付けたい力を確認しています。

☆小中9年間における子どもたちの系統的な学びを考えています。



②調査結果を踏まえ、グループで今後の取り組みを考えています。



③グループで考えたことを全体で共有し、授業での工夫・手立てを確認しています。

調査問題を活用して 指導方法の工夫に取り組む事例

高知県教育委員会が作成した学習シート及び資料等

家庭学習に 活用できる学習シート等

基礎・基本の定着を図り、授業と家庭学習のサイクル化を大切にしましょう。



算数・数学シート
小4～中3



数学思考力問題集
中1～中3



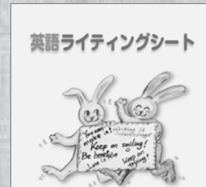
全国学力・学習状況
調査数学B問題集
中1～中3



国語学習シート
小1～中3



理科思考力問題集
小5～中3



英語ライティング
シート
中1～中3

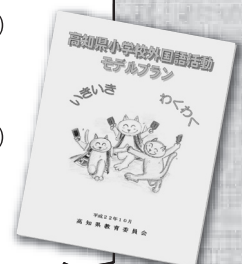


きつとある
キミの心に
ひびく本

授業づくりに 活用できる資料等

子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりを進めましょう。

- ・高知県国語指導改善資料集 (平成23年2月)
- ・高知県国語学習シート活用事例集 (平成24年1月)
- ・算数・数学学力定着事業単元テスト活用事例集 (平成22年3月)
- ・高知県算数・数学授業ガイドブック (平成23年3月)
- ・高知県小学校外国語活動モデルプラン (平成22年10月)
- ・高知県中学校外国語モデルプラン (平成23年11月)
- ・平成23年度学力定着状況調査報告書指導改善のポイント (平成23年10月)
- ・平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した希望利用調査結果の概要 (平成24年2月)
- ・平成24年度全国学力・学習状況調査結果の概要 (平成24年12月)
- ・平成24年度高知県学力定着状況調査結果の概要 (平成25年3月)
- ・高い『知』を目指した授業づくり (平成25年3月)
- ・平成25年度全国学力・学習状況調査結果の概要 (平成26年2月)



平成25年度 高知県学力定着状況調査結果の概要

平成26年3月
発行・編集
高知県教育委員会事務局小中学校課

